

仙台市天文台

SENDAI ASTRONOMICAL OBSERVATORY



年報

ANNUAL REPORT

第7号

2014年度

利 用 案 内

開 館 時 間 9：00－17：00（土曜日は21：30まで ※展示室は17：00まで）
 休 館 日 水曜日・第3火曜日（祝休日の場合はその直後の平日）
 ※ただし、上記の場合でも仙台市の学校長期休業中は開館
 12月29日－1月3日
 他に臨時休館日を設けることがある

利 用 料 金

		個 人	団 体
展示室	一般	600	480
	高校生	350	280
	小・中学生	250	200
プラネタリウム	一般	600	480
	高校生	350	280
	小・中学生	250	200
セット券	一般	1,000	800
展示室＋	高校生	600	480
プラネタリウム1回	小・中学生	400	320
天体観望会	一般・高校生	200	
	小・中学生	100	
年間パスポート	一般	3,000	
	高校生	1,800	
	小・中学生	1,200	

※団体は30名以上（30名につき1名無料）

プラネタリウム 投 映 時 間

	10：00－	11：30－	13：00－	14：30－	16：00－	18：00－
平 日				星空の時間	星空の時間	
土曜日	星空の時間	こどもの時間	星空の時間	星空の時間 天文の時間	星空の時間	音楽の時間
日曜・祝日 長期休業中	星空の時間	こどもの時間	星空の時間	星空の時間 天文の時間	星空の時間	

住 所 電 話 番 号 FAX 番 号 U R L 交 通 案 内

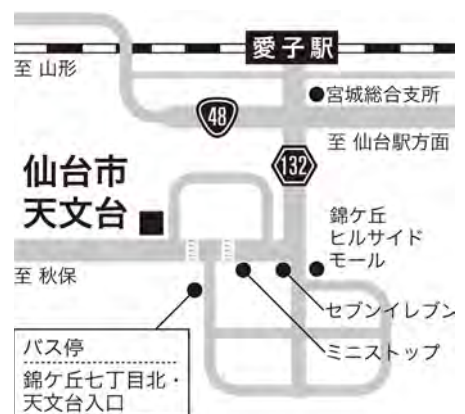
仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目29－32

022－391－1300

022－391－1301

www.sendai-astro.jp

- ・東北自動車道仙台宮城ICから国道48号線経由で約10分（駐車場125台）
- ・愛子観光バスにて、さくら野百貨店西向かいリッチモンドホテルプレミア前停留所から「錦ヶ丘行」で約30分「錦ヶ丘七丁目北・天文台入口」下車、徒歩5分
- ・タケヤ交通バス 仙台西部ライナーにて、仙台駅西口停留所から「かわさきまち行」で約25分「仙台市天文台」下車すぐ



目 次

利用案内

年報 2014 年度巻頭言	2
---------------	---

I 天文台概要

1 沿革とあゆみ	3
2 施設	7
3 運営方針	7
4 組織	8
5 管理運営費	9
6 施設の概要（平面図）	10

II 2014 年度事業報告

1 観測研究業務	11
2 教育支援業務	12
2-1 学校教育	12
2-2 生涯学習	15
3 天文普及業務	16
3-1 展示	16
3-2 プラネタリウム	21
3-3 望遠鏡	25
3-4 その他	27
4 資料収集業務	32
5 広報業務	33
6 活用促進業務	35
7 窓口業務	42
8 アンケート結果	43
9 利用状況	51

III 2014 年度事業報告 資料	52
--------------------	----

IV 資料

1 仙台市天文台条例	78
2 仙台市天文台条例施行規則	81
3 仙台市天文台望遠鏡機材占有利用に関する規約	84
4 仙台市天文台望遠鏡活用指針	87
5 仙台市天文台運営協議会委員	89
6 株式会社仙台天文サービスについて	90

年報 2014 年度巻頭言

本「年報」は、仙台市天文台（以下天文台）の2014年度（平成26年度）の活動の報告です。天文台は2008年に現在地錦ケ丘に移転して7年目を迎えましたが、旧天文台が仙台市青葉区西公園に開館してから60年になります。本年度も、「宇宙を身近に」をモットーに市民に親しまれる施設を目指し、仙台市から示された「要求水準」を着実に実施し、さらに社会教育・生涯学習施設として市民の皆様に活用して頂けるように工夫と努力を重ねてまいりました。毎年、仙台市による指定管理者の評価を受けておりますが（本年度の評価は次年度に発表されます）、2010年度以来「S」の評価を受け、この評価を落とさぬよう努めております。

来館者数については、9月8日に移転開館後、延べ200万人に達しました。想定よりかなり早期に到達しましたが、年間パスポートの販売数などから、多くのリピーターがいらっしゃることがうかがえます。また、連休などには県外からの来館者も多く、天文台に対する関心が県外にも広がっていることを実感します。

開館以来、市民の天文台を目指して、スタッフサポーターの養成を始め各種サポーターや市民の自主的活動の支援、地域の研究教育機関との連携協力などに努めてきましたが、この数年間にその成果が目に見えてきました。1月31日・2月1日に開催された天文台まつりでは、そのような市民の自主的な活動の成果が披露され、「市民天文台」としての姿が見られました。また、天文台まつりにあわせて、創立60周年を記念するささやかな祝賀セレモニーを開催しました。その中で、歴代の子ども台長4人が力を合わせて記念のくす玉を割ってくれましたが、それぞれに成長した姿が見られ楽しいサプライズでした。

天文台では毎年テーマを設定し、市民とともにテーマに沿った活動をしていますが、2014年は「光」、2015年は「起源」が選ばれました。これらのテーマを視覚化するためにデザインしたものをヴィジュアルアイデンティティ（VI）でも表現していますが、VIは天文台の一部として市民に親しまれるようになりました。天文台スタッフにとっても「宇宙を身近に」というミッションを再確認する大切なツールですが、本年度は創立60周年のVIが加わり、華やかな雰囲気醸成しています。

錦ケ丘に移転後7年が経過しましたが、天文台の内外に様々な変化が見られます。とりわけ、天文台周辺の宅地化が進み、来年度には天文台近くに錦ケ丘小学校が開校しますが、地域に溶け込みつつ、広く市民に対するサービスを向上させたいと考えております。

本「年報」は、皆様に本年度の活動の概要をご報告するとともに、天文台の今後の活動に生かしていきたいと考えております。今後とも皆様のご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

仙台市天文台 台長 土佐 誠

I 天文台概要

1 沿革とあゆみ

1954 年 (S29)	4 月	天文台建設発起人会，建設委員会結成，建設募金運動展開
	9 月	天文台建設着工（施工：橋本店）
	12 月	41cm 反射望遠鏡（西村製作所製）組立
1955 年 (S30)	2 月	開台，観覧業務開始 寄付金及び募金総額 238 万円 「仙台天文台」として建設委員会が運営にあたる
1956 年 (S31)	9 月	建設委員会から仙台市に寄付，採納
	10 月	初代台長に加藤愛雄就任
	11 月	仙台市天文台として観覧業務を開始（文化観光課所管）
1957 年 (S32)	7 月	移動天文教室実施
1960 年 (S35)	4 月	仙台市文化観光課から教育委員会指導室所管となる
	5 月	学校教育活動として，中学校の天文台実習開始
1963 年 (S38)	12 月	企画展「江戸時代仙台藩の天文数学展」開催
1964 年 (S39)	12 月	展示室新設
1968 年 (S43)	5 月	展示室竣工
	5 月	プラネタリウム館開館（プラネタリウムは前年河北新報社より寄付）
	5 月	企画展「望遠鏡展」開催
1969 年 (S44)	8 月	プラネタリウム幼児向け投映開始
1970 年 (S45)	2 月	天文台所蔵の渾天儀，象限儀，天球儀が市指定有形文化財となる
	10 月	第二代台長に小坂由須人就任
1971 年 (S46)	10 月	講義室，資料室，作業室竣工
1973 年 (S48)	12 月	41cm 反射望遠鏡の主鏡と凸面鏡を更新（木辺鏡） 41cm に同架されていた 10cm 屈折望遠鏡を 15cm 屈折望遠鏡に更新
1974 年 (S49)	1 月	プラネタリウム館内及び本体機器（五藤光学研究所製）に更新
1975 年 (S50)	5 月	開台 20 周年，プラネタリウム開館 7 周年記念式典挙行
	5 月	移動天文教室用自動車更新
	9 月	事務室増築
1976 年 (S51)	12 月	天文台ドーム，床取替え工事竣工
1978 年 (S53)	6 月	宮城県沖地震により 41cm 反射望遠鏡使用不能となり解体
1979 年 (S54)	2 月	41cm 反射望遠鏡（三鷹光器製）完成
1980 年 (S55)	5 月	プラネタリウム館，展示室増改築完成竣工
	5 月	企画展「望遠鏡展」開催
1981 年 (S56)	3 月	22 点の展示品設置
1982 年 (S57)	4 月	太陽面爆発観測装置（五藤光学研究所製）完成
1985 年 (S60)	3 月	開台 30 周年記念誌「30 年のあゆみ」発行
1986 年 (S61)	5 月	新型プラネタリウム導入（五藤光学研究所製），観覧席更新
1991 年 (H3)	4 月	第三代台長に岡崎三夫就任
1993 年 (H5)	3 月	移動天文車ベガ号導入（五藤光学研究所製 20cm クーデ望遠鏡搭載）
1998 年 (H10)	4 月	第四代台長に渡辺章就任

1999 年 (H11)	1 月	仙台市教育局内に「天文台のあり方に関する検討会」発足
	2 月	同上プロジェクトチーム発足
2001 年 (H13)	8 月	新仙台市天文台整備基本構想策定
	12 月	入館者数延べ 300 万人達成
2002 年 (H14)	6 月	新仙台市天文台整備基本計画策定
2003 年 (H15)	3 月	新仙台市天文台整備事業 PFI 手法導入可能性調査報告
	4 月	第五代台長に蓮池芳明就任
2004 年 (H16)	5 月	新仙台市天文台整備・運営事業に PFI 導入決定 (BOT 方式)
	11 月	新仙台市天文台整備・運営事業入札
2005 年 (H17)	1 月	開台 50 周年記念式典・講演会を国際センターにて開催
	2 月	新仙台市天文台整備・運営事業落札者決定
	3 月	事業者間協定・株主間協定締結
	4 月	株式会社仙台天文サービス (SPC) 設立
	4 月	事業契約書 (仮) 締結
	6 月	事業契約書 本契約へ移行 ・事業方式: BOT 方式 ・事業期間: 平成 17 年 6 月ー平成 50 年 3 月 ・事業範囲: 設計および建築設備, 特殊機材, 什器・備品等保有, 事業期間終了時までの施設の維持管理および運営業務
2006 年 (H18)	3 月	プロジェクト契約締結
	5 月	新・天文台工事着手
2007 年 (H19)	4 月	第六代台長に渡辺章就任
	12 月	錦ヶ丘に新・仙台市天文台竣工 西公園の仙台市天文台終了, 仙台市こども宇宙館閉館
2008 年 (H20)	1 月	PFI 方式による民間企業による維持管理開始
	4 月	PFI 方式による民間企業による運営開始
	4 月	第七代台長に土佐誠就任
	7 月	錦ヶ丘にリニューアルオープン
	7 月	ファンサポーター制度運用開始
	7 月	国立大学法人東北大学理学研究科と連携と協力に関する協定を結ぶ
	7 月	特別展「□ (スペース) のみた宇宙」開催
	8 月	スタッフサポーター養成講座開始
	12 月	「100 万人のキャンドルナイト」初開催
2009 年 (H21)	12 月	「ソラリスト」創刊
	3 月	企画展「日時計の楽しみ」開催
	4 月	スタッフサポーター活動開始
	6 月	リニューアルオープンから入館者数延べ 50 万人達成
	7 月	企画展「宇宙の謎を解き明かす」開催
	7 月	国立大学法人宮城教育大学と連携協力に関する協定を結ぶ
	7 月	ブレインサポーター制度運用開始
	11 月	企画展「仙台芸術遊泳 平野治朗の『137 億光年の旅』」開催
2010 年 (H22)	1 月	2010 年のテーマを「2010 年宇宙の旅」に設定
	2 月	第 1 回「天文台まつり」開催
	4 月	「スペシャルプラネタリウム」開始
	4 月	オーナーサポーター制度運用開始

2011 年 (H23)	7 月	企画展「ダンボールプラネット (平面から立体へ)」開催
	12 月	巡回企画展「はるかなる宇宙の旅」開催
		リニューアルオープンから入館者数延べ 100 万人達成
	1 月	2011 年のテーマを「はかる」に設定
	2 月	大型望遠鏡の愛称が「ひとみ」に決定
2012 年 (H24)	3 月	東日本大震災のため、12 日以降臨時休館 (－ 2011 年 4 月 15 日)
	3 月	仙台市生涯学習課天文台係による運営業務 (学校教育支援業務) に関する暫定措置終了
	7 月	企画展「はかる」開催
	1 月	2012 年のテーマを「たべる」に設定
	7 月	企画展「たべる」開催
2013 年 (H25)	9 月	天文台所蔵の渾天儀、象限儀、天球儀が国指定重要文化財となる
	10 月	リニューアルオープンから入館者数延べ 150 万人達成
	1 月	2013 年のテーマを「うつす」に設定
	3 月	仙台市生涯学習課天文台係による運営業務に関する暫定措置終了
	4 月	仙台天文同好会と連携協力に関する覚書を交わす 天文ボランティアうちゅうせんと連携協力に関する覚書を交わす
2014 年 (H26)	7 月	企画展「うつす」開催
	1 月	2014 年のテーマを「光」に設定 企画展「光の謎を解き明かせ！」開催
	7 月	「オーロラを体感しよう！」開催
	7 月	特別展示「富谷隕石がやってきた！」開催
	9 月	リニューアルオープンから入館者数延べ 200 万人達成
2015 年 (H27)	1 月	2015 年のテーマを「起源」に設定
	2 月	開台 60 周年

< 2014 年度 > の主な活動

2014 年	4 月 12 日	はらだかおるライブキャラストレーション「光のオーケストラ」開催
	4 月 12 日	宇宙物語 VI ～そらものがたり～開催 (6 月 29 日まで)
4 月 13 日・29 日		緒方早紀子ピアノラウンジ「あの日の夜の星をみつめて」開催
	4 月 19 日	八神純子プラネタリウムコンサート「ポーラーストーリー」開催
4 月 20 日		きみもあなたも「1 日子ども台長」になってみませんか？開催
4 月 26 日		アースデイ講演会「地球温暖化の現状 IPCC 第 5 次評価報告書より」開催
5 月 5 日		こどもの日まつり開催
5 月 24 日		東北大学 × 仙台市天文台 雷神 2 打ち上げパブリックビューイング開催
6 月 21 日		100 万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台開催
7 月 1 日		富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた！」開催 (11 月 3 日まで)
7 月 3 日		野草園 × 天文台コラボ企画展「のはらでキラキラ」開催 (8 月 26 日まで)
7 月 5 日		「オーロラを体感しよう！」開催 (9 月 27 日まで)
7 月 26 日・27 日		スタッフサポーターによる夏休み工作教室「投影型ミニプラネ ライト君」をつくろう！ 開催
	8 月 2 日	伝統的七夕「七夕さんの星見会」開催
8 月 9 日		トワイライトサロン 300 回達成記念「集まれ！未来の天文学者～土佐少年が天文 台長になるまで～」開催

2014 年	9 月 1 日	宇宙の日作文絵画コンテスト入賞作品展開催（9 月 30 日まで）
	9 月 8 日	リニューアルオープンから入館者数延べ 200 万人達成
9 月 13 日・14 日		遊佐未森天文台コンサート～銀河歌集 vol.5 ～開催
	9 月 21 日	宮城教育大学 & 仙台市天文台 PRESENTS ロビーコンサート in 仙台市天文台 vol.13 ～星に向かって天駆けるファンタジーの翼～開催
	9 月 28 日	宇宙の日作文絵画コンテスト表彰式・講演会開催
	10 月 8 日	特別観察会「皆既月食をみよう！！」開催
	10 月 11 日	星空茶会～お茶と宇宙を身近に～開催
	10 月 18 日	Star Ballad ～星降る夜の音語～開催
	11 月 1 日	シンセサイザーコンサート～隕石は宇宙のロマン～開催
	11 月 15 日	すばる望遠鏡公開講演会 2014 「すばる望遠鏡，宇宙へのまなざし。」開催
	11 月 15 日	宙（そら）のまたたき開催（1 月 18 日まで）
11 月 22 日～24 日		こどもの時間スペシャル「コックピットはエレクトーン!? Vol.2 ～音楽で宇宙探 検！キミも宇宙飛行士だ！～」開催
	11 月 29 日	宮城教育大学 × 仙台市天文台連携企画 スペースラボ in 仙台市天文台「天文台で宇宙の不思議に触れてみよう」 第 1 回「光の速さに近づくと…」開催
	11 月 30 日	宮城教育大学 × 仙台市天文台連携企画 スペースラボ in 仙台市天文台「天文台で宇宙の不思議に触れてみよう」 第 2 回「ぼくら不思議探検隊！ー光と地球と植物とー」開催
	12 月 13 日	宮城教育大学 & 仙台市天文台 PRESENTS ロビーコンサート in 仙台市天文台 vol.14 ～見えるよ冬のお星さま，聴こえるよお星さまのうた～開催
	12 月 14 日	宮城教育大学 × 仙台市天文台連携企画 スペースラボ in 仙台市天文台「天文台で宇宙の不思議に触れてみよう」 第 3 回「太陽電池を作ろう！」開催
	12 月 20 日	100 万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台開催
	12 月 20 日	宮城教育大学 × 仙台市天文台連携企画 スペースラボ in 仙台市天文台「天文台で宇宙の不思議に触れてみよう」 第 4 回「エネルギーってなんだろう？」開催
	12 月 21 日	プラネタリウム「全天周オーロラ映像」& スペシャルトーク 「オーロラとわたしたち生命」開催
	12 月 21 日～27 日	東北大学「もしも君が杜の都で天文学者になったら。。。」開催
2015 年	1 月 31 日・2 月 1 日	天文台まつり 2015 開催
	2 月 1 日	仙台市天文台開台 60 周年記念式典開催
	2 月 1 日	「仙台市天文台の日」認定（一般社団法人日本記念日協会）
	3 月	震災特別番組投映「星空とともに」開催 (7 日・9 日・10 日・12 日・13 日・14 日・21 日・28 日)

2 施 設

(1)所 在 地	宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目 29 番地の 32 北緯 38 度 15 分 22 秒 99 東経 140 度 45 分 18 秒 56 標高 165m
(2)面 積	敷地面積 25,039.76㎡ 建築面積 4,802.66㎡ 延床面積 6,056.24㎡
(3)構 造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造，一部屋根鉄骨造 地上 3 階
(4)主要施設	ひとみ望遠鏡観測室及び制御室，観察室及び制御室，観察デッキ，プラネタリウム，展示室，加藤・小坂ホール，学習室，資料室，メディアセンター，実験室，天文工房，天文ライブラリー，オープンスペース，ミュージアムショップ
(5)施 工	設計監理 NTT ファシリティーズ 建築工事 戸田・橋本共同企業体 望遠鏡工事 NTT ファシリティーズ プラネタリウム工事 五藤光学研究所 展示室工事 トータルメディア開発研究所
(6)駐 車 場	来館者用 120 台，身障者用 5 台，大型バス用 6 台，職員用 20 台
(7)建 築 費	建物（設計監理含） 2,128,763,000 円 備品等 46,000,000 円 望遠鏡類 600,000,000 円 プラネタリウム 500,000,000 円 展示室 480,000,000 円

3 運営方針

(1)基本理念

仙台市天文台は，市民の寄付により設立された市民による市民のための「市民天文台」です。また，このことを 1955 年の開台以来大切にしてきた社会教育施設でもあります。その精神は，PFI という手法により民間業者が運営することで，さらに継続・発展された形になりました。

つまり，宇宙や天体を通して市民が自然や科学を学び，仙台市の文化・教育水準の向上に貢献する理念が開台より継承されています。

(2)施設の使命

市民が宇宙や天体を通して自然や科学が学べるようにするとの理念を達成するため，施設及び職員は以下の使命を果たすことを約束します。

MIND IDENTITY

「宇宙を身近にします」

BEHAVIOR IDENTITY

1. 誰もが本物の宇宙と出会える「眼」になります。
2. くらしの中に宇宙を見つける，体験と情報をお届けします。
3. 市民がつくり，市民がふれあう。一人ひとりが主役の天文台へ。

VISUAL IDENTITY

仙台市天文台

「宇宙を身近にする矢印」



(3) 2014 - 2016 年度の中期目標

【ビジョン】

We ♥ 天文台

【成果】

- ・市民が宇宙に興味を持ち、更に興味を深めている
- ・天文台の認知度が上がっている

【テーマ】

光

4 組 織

<職員一覧>

台 長	土佐 誠	総 務（庶務・広報）	熊田 美波
ヘルプデスク	大友 次男	受 付	加藤みどり
副台長兼運営マネジャー	小野寺正己		中村 由佳
維持管理マネジャー	須藤 博		山中 麻希
マネジャー代理	長谷川哲郎		長崎いづみ
サブマネージャー（企画・交流）	大江 宏典		佐藤由美子
サブマネージャー（維持管理）	菊地 英信	維持管理	伊藤美恵子
	川上 直哉		石垣 智宏
企画・交流（プラネタリウム）	高橋 博子	警備員	松本 好弘
企画・交流（展示等）	佐々木瑞穂		鷲尾 肇
企画・交流（天体観察）	松下 真人		日諸 博
企画・交流	亀谷 光	清掃員	伊藤 宗子
	溝口小扶里		佐藤 春子
	松田 佳奈		千田 松美
	仲 千春		大友 尚子
	千田 守康	ショップ	桜井 紀幸
企画・交流（メディア制作担当）	立花沙由里		宇沼喜美子
情報・保守	阿部 秀昭		小林 明美
総 務（庶務）	奥津 美起	移動天文車運転手	山家 和弘
総 務（庶務・広報）	鈴木真理子		井上 浩

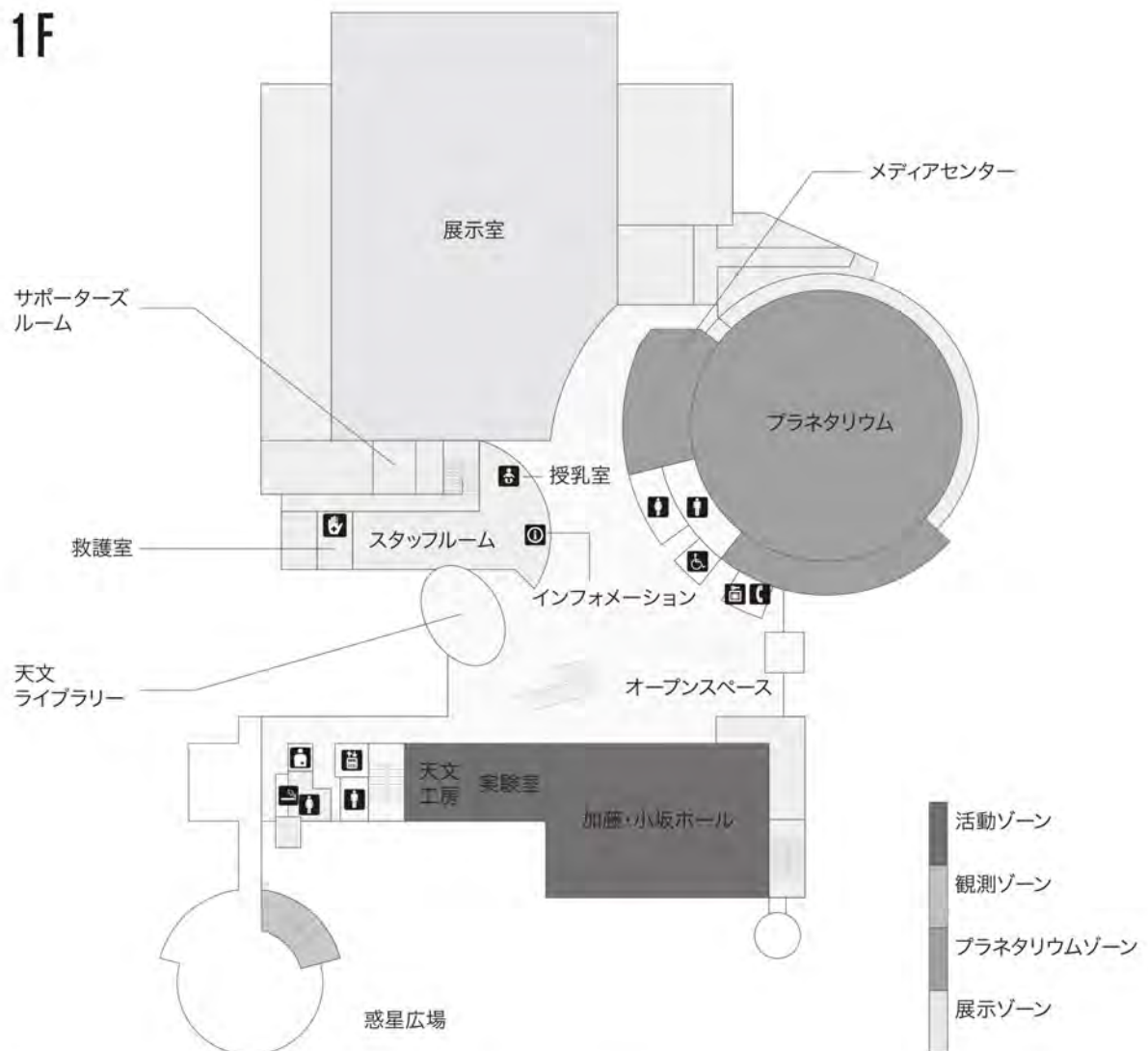
5 管理運営費

単位：千円

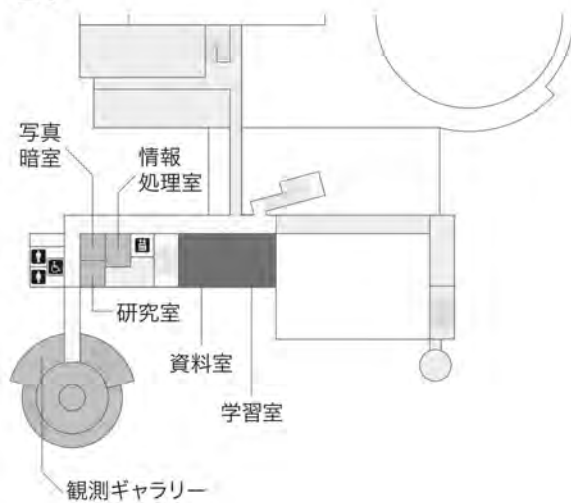
科 目		金 額
運営業務費（基幹業務）	天体観望会運営業務，観測業務 プラネタリウム運営業務，学校教育支援業務 団体利用対応業務，大型望遠鏡説明業務 サポーター活動支援業務，天文学普及啓発業務 観測機材等の館外貸出し業務	100,828
運営業務費（管理的業務）	管理業務，広報業務，情報システム運営業務 観覧料等徴収業務，案内・誘導業務，窓口業務 急病人等への対応業務	38,743
	清掃業務	7,982
	警備業務	8,143
	駐車場管理運営業務	2,309
維持管理業務	建築物維持管理業務	4,549
	建築設備維持管理業務	11,729
	情報システム維持管理業務	18,100
	特殊機材維持管理業務（望遠鏡）	17,164
	特殊機材維持管理業務（プラネタリウム）	13,502
	特殊機材維持管理業務（展示）	12,150
	備品等維持管理業務	2,586
	建築修繕	1,000
光熱水費		28,078
合 計		266,863

6 施設の概要（平面図）

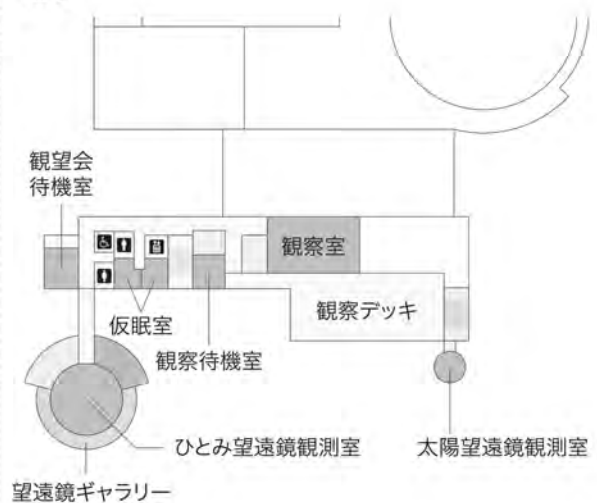
1F



2F



3F



Ⅱ 2014 年度事業報告

1 観測研究業務

(1)ねらい

市民の観測技術の向上を図る活動を行い、天文学に深く関わる人材育成を行う。更には、国内外の関係機関と連携を行い、その成果を公開することで天文学の発展に寄与する。

【中期目標】

観測リファレンス数の増加

(2)業務内容

①天文台スタッフ観測

- ・ひとみ望遠鏡観測機器の基礎データ取得と解析
- ・ひとみ望遠鏡観測機器の性能評価
- ・ブライトスターの分光観測
- ・V1280 Sco の測光観測
- ・いて座新星 No.2 分光観測

②市民観測員育成講習

- ・小中教員研修会での望遠鏡操作講習
- ・観測のための天文学講座（全6回）
- ・観測プロポーザル講習会

③天文学者体験観測

- ・宮城県仙台第一高等学校
「変光星の観測による、恒星の性質についての研究」
- ・オーストラリア パークス天文台
「海外電波望遠鏡操作体験」
- ・東北大学
「もしも君が杜の都で天文学者になったら。。。」

東北大学大学院理学研究科天文学専攻と共同開催し、2014年12月21日ー27日の間で合宿をしながら、東北大学理学部、仙台市天文台、せんだいメディアテークの各所を利用して実施した。全国各地から参加した高校生20名が5つのグループを作り、自らテーマを考え、大学院生や大学生の協力を得ながら天文学の実習として観測と解析を行い、研究発表までを行った。



＜「観測のための天文学講座」の様子＞



＜「海外電波望遠鏡操作体験」の様子＞



＜「もしも君が杜の都で天文学者になったら。。。」の様子＞

④市民観測員観測

- ・「市民観測員及び公募観測活動に関する規約」の策定

⑤共同研究観測，連携観測

- ・香川大学「超小型衛星 STARS- II の光学観測」
- ・東北大学「ひとみ望遠鏡観測装置の性能評価，及び，明るい星の分光」
- ・環境省水・大気環境局「星空公園による『夜空の明るさ観察』」

すべての詳細は観測研究業務事業一覧（P.56）参照。

2 教育支援業務

2-1 学校教育

(1)ねらい

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校における天文分野の教育を，より専門的，効果的に行うことにより，学校教育の支援を行うとともに天文学の普及啓発に寄与する。

【中期目標】

学ぶ場として天文台を多く利用してもらう

(2)業務内容

①幼児向けプログラム

幼稚園・保育所を対象に展示室見学，プラネタリウム投映，ひとみ望遠鏡見学を行った。

展示室見学では，先生向けの「展示解説シート」と幼児向けの「クイズシート」を用意し，活用していただけるようにした。プラネタリウム投映では，45 分間の生解説で幼児とやり取りをしながら季節の星座や話題を紹介する内容とした。また，5 歳児を対象とし，発達段階に合わせて幼児の創造力や好奇心を引き出すように構成した。ひとみ望遠鏡見学では，15 分程度でひとみ望遠鏡の大きさや動きを体感してもらえるようにした。

今年度は 135 団体 7,496 名の利用があった。詳細は天文台学習利用実績（P.52）を参照。



＜プラネタリウム投映の様子＞



＜展示見学の様子＞



＜館内での様子＞

②小学校天文台学習

学習指導要領に基づき、小学4年生と6年生を対象に学習プログラムを用意し、どちらも展示室・プラネタリウム・望遠鏡を用いた内容とした。

展示学習では、4年生と6年生用の天文台学習のしおりをそれぞれ作成し、記入しながら学習できるようにした。プラネタリウム学習では、4年生向けプラネタリウム学習「星と月の動き」(50分)を実施した。6年生向けには必修の「月の形と太陽」(30分)に加え「今夜の星空」と「宇宙開発」から事前を選択していただき、発展的な内容(20分)も実施した。望遠鏡学習(20分)は、ひとみ望遠鏡観測室でひとみ望遠鏡の解説を通して天体望遠鏡の仕組みを学習するほか、条件が良ければ、日中の惑星・恒星を実際に観察した。

今年度は310校、21,243名の利用があった。詳細は天文台学習利用実績(P.52)を参照。

③中学校天文台学習

仙台市内の中学校一年生を対象に、学習指導要領に基づいた天文台学習(悉皆)を実施した。

学習内容は、プラネタリウム学習(80分)・望遠鏡学習(20分)・展示学習(60分)で構成されている。望遠鏡学習では、観察室にて天体望遠鏡の仕組みを学習するほか、条件が良ければ、太陽の黒点を観察した。展示学習では、「学習のしおり」を用いて記入しながら、天文分野の学習を行った。プラネタリウム学習では、日周運動を中心にした必修内容の学習(60分)と、その後20分間は学校ごとに6テーマの中から1テーマを選ぶ選択学習とした。

今年度の天文台学習の利用者数は、73校9,754名だった。



<中学校展示学習の様子>

④その他の天文台学習

申し込みのあった高等学校や特別支援学校を対象に、天文台学習を行った。放映内容は、事前打合せを行い要望に合ったものとした。聴覚支援学校の利用の際には、プラネタリウム内にて手話通訳者が見えるようにしながら放映も行った。今年度は、9校193名の利用があった。



<聴覚支援学校プラネタリウム放映の様子>

⑤学習配布物作成

幼児向けに新しいクイズシートと小・中学生向けに天文台学習のしおりを作成した。幼児向けクイズシートは月をテーマにしたものを新たに作成し、これまでに作成したものと併せて3種類となった。また、先生向けの展示解説シートも昨年度に引き続き配布した。天文台学習のしおりは、小学4年生用・小学6年生用・中学1年生用の3種類作成した。クイズシート、展示解説シート、天文台学習のしおりを利用団体に配布することで、学校教育業務を円滑に進めることができた。

⑥学校団体受入

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校等の学校団体の来館に際し、受入担当を配置し、安全かつ円滑に館内での移動やスケジュールが進められるように配慮した。

⑦小中理科研修会

市内小中学校教諭を対象とした研修会（2014年8月7日実施、仙台市教育センター主催）として、天文に関する基礎講義、学校における天文学習、屈折望遠鏡の使い方などの研修を行った。

参加者は22名（小学校18名、中学校2名、教育センター職員2名）だった。

⑧講師派遣

県立高校から1件の依頼があり、学校に出向き1年生に対して進路に関する特別授業を行った。

また、市内小学校1校と連携し、小学4年生の「月や星の動き」の単元の授業を学校や天文台で行った。

⑨職場体験学習の受入

市内中学校1校2年生3名を受け入れ、生徒は天文台の多様な業務の体験（放送体験、プラネタリウム操作体験など）をした。（11月6、7日実施）



<職場体験の様子>

⑩博物館実習

八洲学園大学の学生1名に対して実習を行った。（7月24－30日）

⑪インターンシップ

宮城大学の学生2名に対してインターンシップを実施し、仙台市天文台の見どころガイドをそれぞれ1枚ずつ作成した。（12月20、21、23、27、28日）



<作成した見どころガイド>

⑫教科研究会

仙台市小学校教科研究会理科研究夏季研修会を8月22日に天文台で実施した。10名の参加者とともに展示室での児童への説明の方法、望遠鏡の操作方法の研修と天文学講義を行った。

また、仙台市中学校理科教育研究会第2回定例会を9月18日に天文台で実施した。128名の参加者があり、展示学習と課題解決学習の手法についての研修を行った。

2-2 生涯学習

(1)ねらい

「市民天文台」として宇宙・天文に興味を持つ市民はもとより、多くの市民が「宇宙の広場」として自身の興味や得意な分野において自発的・積極的な活動を行える場を提供する。

【中期目標】

学ぶ場として天文台を多く利用してもらう

(2)業務内容

①スタッフサポーター管理

【個人】サポーター養成講座を終了した個人が、年間登録をし、1年更新となる。

2014年度の登録者は58名。

【団体】活動内容に合わせた研修を受けた団体が、年間登録をし、1年更新となる。

2014年度の登録は宮城教育大学天文同好会。



＜スタッフサポーターの皆さん＞

②スタッフサポーター養成講座

初心者を対象としてスタッフサポーターを新規に養成する講座。活動に必要な知識や技術の基礎に関して、8月から3月までの毎月1回土曜日に実施（全8回）。受講生11名のうち9名が修了した。



＜養成講座の様子＞

③スタッフサポーターミーティング

個人スタッフサポーターについては、毎月ミーティングを行い、各自の活動の計画を立てたり、サポーター同士が交流したりする機会を設けた。また、スタッフが話題を提供し、天文台学習の展示学習のサポートのための学習やお客様とのコミュニケーションに関わる学習会などを行った。



＜ミーティングの様子＞

④天文愛好者の活動支援

天文愛好家として仙台天文同好会、天文ボランティアうちゅうせん、みやぎ近郊星なかまの集いの3団体に学習室等を貸出した。仙台天文同好会が12回、天文ボランティアうちゅうせんが11回、みやぎ近郊星なかまの集いが1回であった。

⑤社会教育支援

市民が宇宙や天体などをより身近なものとして捉え、天文学に興味関心を抱く機会や、天文学の知識を更に深める機会を提供することにより、天文学の普及振興に寄与する。

○7月：子ども天文教室「わく星を知ろう！」（広瀬図書館） 担当：仲

3 天文普及業務

3-1 展示

(1)ねらい

宇宙や科学を身近なものとして捉えられるような活動を行い、市民の宇宙に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。更には、天文学に興味の深い市民への支援も行い、自己研鑽の場の提供を行う。

【中期目標】

より多くの市民に利用してもらう

(2)業務内容

①展示室活用

○展示交流

天文台スタッフと来館者が「天文を通じた交流」の中で理解を深めることができるよう展示室内に担当を配置し、コミュニケーション活動の機会を提供した。また、「展示コミュニケーション活動とはどのようなことをすることか」を展示コミュニケーション活動にかかわるスタッフを対象に意見を収集し、KJ法にて分析を行った。

○みんなの見つけた四季

市民から季節を感じる風景写真の画像を募集し、展示室内の「みんなの四季」のコーナーに一定期間展示した。

○展示ツアー

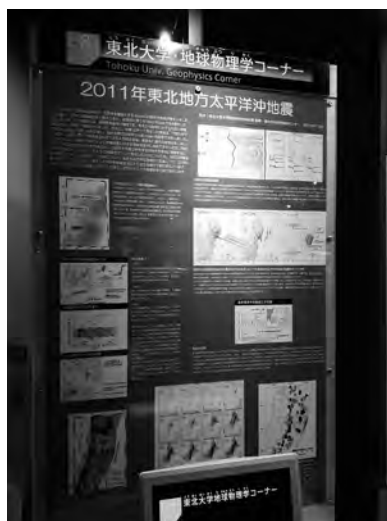
日曜、祝日の11時と13時30分には、テーマを決めて、展示を活用した解説を行った。開催回数は130回。総参加者数は1,762名だった。詳細は展示ツアー内容一覧（P.56）を参照。

○天文情報の掲示

最近の天文研究の内容や成果、そのほかの天文情報を掲示した。

・大学連携コーナー

連携協定団体である東北大学理学研究科に協力いただき、最新の地球及び天文研究に関する情報を展示した。



< E-8 東北大学・地球物理学コーナー
「解説：2011年東北地方太平洋沖地震」 >



< U-11 東北大学・天文学コーナー
「国際リニアコライダー (ILC)」 >

- ・画像アルバム

天文台ウェブサイトを更新されたものと同等のものを展示室の情報端末で公開した。

- ・惑星 pick up

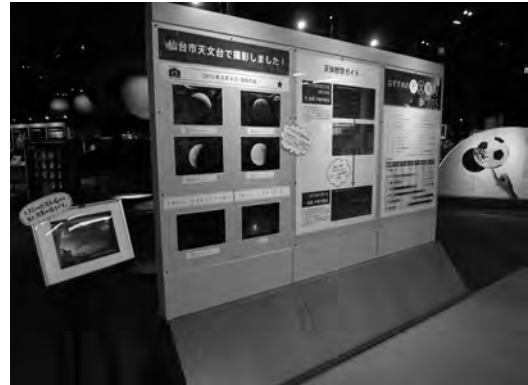
惑星の探査情報や惑星そのものについての研究成果を紹介した。

- ・2014 年の天文現象

見頃の天文現象の情報を事前に提供することで、天体観察のきっかけをつくるとともに、観察結果を掲示することでタイムリーな情報を提供した。



<「惑星 pick up」展示の様子>



<「2014 年の天文現象」展示の様子>

②ワークショップ

展示の作成に加わることで、天文台や宇宙との距離を身近に感じてもらうインタラクティブな普及活動として、以下のワークショップを開催した。詳細はワークショップ内容一覧（P.59）参照。

- 銀河系の星々（土曜日 15 時～）

参加者が星の位置や距離などを学びながら、銀河系の模型の中に新たに星を加えていく。

- 太陽の通り道をたどろう！～アナレンマのふしぎ～（毎月第 1 日曜日 11 時 45 分～）

継続的に同じ時刻の太陽の軌跡を記録し、少しずつ展示物を作っていく。

- 星座を立体的に見てみる（年 4 回 7 月 10 月 1 月 3 月）

空に見える星たちの距離がそれぞれ違うことを学び、星座の立体模型をつくり展示した。



<「銀河系の星々」の様子>



<「太陽の通り道をたどろう！」の様子>



<「星座を立体的に見てみる」の様子>

③企画展

2014年のテーマ「光」や、期間を限定して常設展示以外のテーマ等を扱う下記の企画展を行った。詳細は企画展・プレショーギャラリー展示一覧（P.60）参照。

○光の謎を解き明かせ！ 1/4 - 4/7



<「光の謎を解き明かせ！」展示の様子>

○企画展「オーロラ」 7/19 - 8/24



<「オーロラ」展示の様子>

○富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた！」 7/1 - 11/3



<「富谷隕石がやってきた！」展示の様子>

○企画展示コーナー

- ・4月－6月 「光色の木」
- ・7月－9月 「おめめ」
- ・10月－12月 「光が伝えるメッセージ」
- ・1月－3月 「錦ヶ丘の天文台 変遷レポート ~1階 ver.~」



<「光色の木」展示の様子>



<「おめめ」展示の様子>



<「光が伝えるメッセージ」展示の様子>



<「天文台 変遷レポート」展示の様子>

○観測ギャラリー展示

天文台で行われた観測結果を掲示した。

- ・スタッフ観測結果（学会発表ポスター）
「ひとみ望遠鏡による恒星分光観測」
「ひとみ望遠鏡の現状と性能評価の進捗」
- ・共同研究・連携観測結果
「もしも君が杜の都で天文学者になったら。。。」
発表ポスター掲示
「散開星団 M11 の測光と色等級図の作成」
仙台第一高等学校
「球状星団 M12 の測光と色等級図の作成」
仙台第一高等学校
「ペテルギウスの運命」

西武学園文理高校、宮城県立仙台向山高校

「系外惑星 WASP - 33b の生命存在の可能性」

○観望待機室ギャラリー展示

観望会中に待機しているお客様に対する情報提供として、月毎の主な観望天体を掲示した。

○望遠鏡ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡の特徴を Q&A で紹介した。

○プレショーギャラリー展示

2014 年度のテーマ「光」にちなんだコラボ企画の実施や天文愛好家の活動紹介など市民の天文への関心を高める場として以下の展示を行った。

詳細は企画展・プレショーギャラリー展示一覧 (P.60) を参照。



＜観測ギャラリー展示の様子＞



＜望遠鏡ギャラリー展示の様子＞



＜「宇宙物語VI」展示の様子＞



＜宇宙の日作文絵画コンクール作品展の様子＞



＜「宙のまたたき」展示の様子＞



＜「のはらでキラキラ」展示の様子＞

3-2 プラネタリウム

(1)ねらい

楽しみながら宇宙及び科学に触れることができる機会を提供し、宇宙や科学に関する興味・関心を喚起させ、学習支援を行う。また、安らぎや感動を得られるような空間演出を行い、余暇活用機会も提供する。

【中期目標】

より多くの市民に利用してもらう

(2)業務内容

①星空の時間

「今夜の星空散歩」と題し、星空の楽しみ方をスタッフが生解説で紹介した。仙台市天文台ならではの地元ネタや旬の話題を取り入れ、星空に興味関心を持ち、星空を見上げてみたいと思ってもらえるような投映を心がけた。とりあげる星座やテーマ・トピックは、スタッフによって異なる。詳細は星空の時間投映内容一覧（P.61）参照。

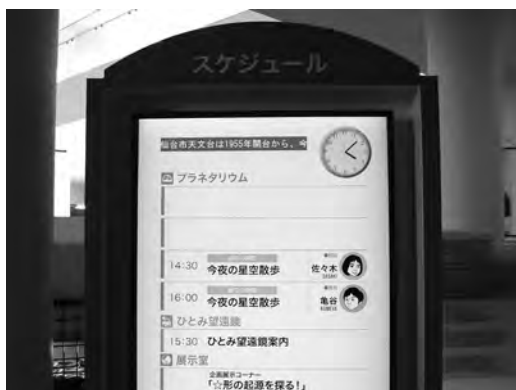
また、インフォメーションカウンター脇のデジタルサイネージで星空の時間の担当スタッフを似顔絵で紹介するとともに、天文台ウェブサイトにてその月の投映者と投映内容を紹介した。

曜日	10:00～	13:00～	14:30～	16:00～
5/17(日)	亀谷 KAMEYA	仲 BAKA	—	清口 WAKIGUCHI
5/18(月)	—	—	仲 BAKA	清口 WAKIGUCHI
5/19(火)	休館日			
5/20(水)	休館日			
5/21(木)	—	—	佐々木 SASAKI	大江 OOE
5/22(金)	—	—	高橋 TAKAHASHI	佐々木 SASAKI
5/23(土)	大江 OOE	長谷川 HASEGAWA	—	清口 WAKIGUCHI

<星空の時間投映者紹介 天文台ウェブサイトより>

★5月の担当者★	
投映者	投映内容
大江 OOE	今夜の星空案内とともに、春の夜空の大神「北斗七星」の魅力に迫ります。
亀谷 KAMEYA	今夜の星空と様々な星のつながりを見て星を紹介しします。星のつながりがある星たちとはどのような星たちなのでしょう？ちょっとロマンチックな星たちもあるようです。
佐々木 SASAKI	日の入りから日の出まで時間とともに移り変わるその日の星空を散歩。星空の地図「星図」を見ながら、季節の星座を探してみませんか。
高橋 TAKAHASHI	私と一緒に星空をのんびりと散歩しましょう。春を代表する星座のおとめ座に注目し、神話や神話がうまれた背景もさぐってみます。

<星空の時間投映内容紹介 天文台ウェブサイトより>



<デジタルサイネージ>

②天文の時間

本編の前後にスタッフによる解説、クイズや実験ショーなど、参加・体験しながら宇宙の理解を深めてもらうプログラムを行った。天文や宇宙に関心を持つ方を対象とした。詳細は天文の時間投映内容一覧（P.62）参照。

③こどもの時間

子どもたちを中心に、楽しみながら星や宇宙を好きになってもらえるファミリー向けのプログラムを行った。「プラネくんとあそぼう！」では、スタッフが天文台オリジナルキャラクター「プラネくん」とともに、星の世界を楽しく案内した。詳細はこどもの時間投映内容一覧（P.62）参照。

④音楽の時間

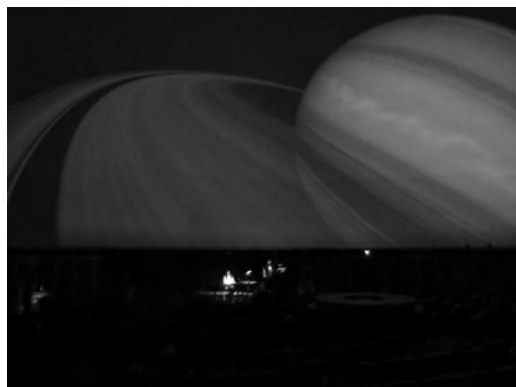
様々なジャンルやアーティストから厳選した曲を、満天の星とともに楽しんでいただくプログラムを行った。詳細は音楽の時間投映内容一覧（P.62）参照。

⑤独自事業

プラネタリウムでスタッフの企画、または持ち込みの企画に応じた投映を特別料金体系にて行った。詳細は独自事業 コラボショー一覧 (P.63)、シアターショー一覧 (P.63)、イベント一覧 (P.63) 参照。



＜仙台弁むかし話の星空おはなし会の様子＞



＜シンセサイザーコンサートの様子＞



＜ピアノラウンジの様子＞



＜クリスタルボウルの様子＞

⑥その他

○震災特別番組「星空とともに」

東日本大震災からちょうど4年となる3月に、震災の翌年に自主制作した「星空とともに」を投映した。今年度は仙台市天文台以外に、以下の施設でも投映された。

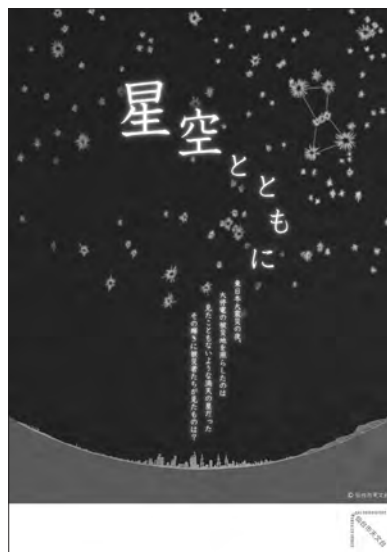
- ・釧路市こども遊学館（北海道）
- ・前橋市児童文化センター（群馬県）
- ・新潟県立自然科館（新潟県）
- ・さいたま市宇宙劇場（埼玉県）
- ・白井市文化センタープラネタリウム（千葉県）
- ・ギャラクシティ（東京都）
- ・東大和市立郷土博物館（東京都）
- ・平塚市博物館（神奈川県）
- ・山梨県立科学館（山梨県）
- ・和歌山大学観光学部観光デジタルドームシアター（和歌山県）
- ・伊丹市立こども文化科学館（兵庫県）
- ・人と科学の未来館サイピア（岡山県）
- ・ライフパーク倉敷科学センター（岡山県）
- ・島根県立三瓶自然館サヒメル（島根県）

また、投映に合わせ「星空とともにコーナー」を設置した。東日本大震災の記憶を星空とともに後世に伝えるため「星空と震災にまつわるエピソード」を募集するとともに、関連書籍や新聞等の展示を行った。

全てのプログラムの投映回数・入場者数はプラネタリウム投映記録 (P.54) を参照。



＜「星空とともにコーナー」の様子＞



AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY

DARK UNIVERSE

見えない宇宙を探る
ダークユニバース

天文の時間

2014 8/16 19:10-19:50

仙台市天文台 / プラネタリウム

TEL 022-391-1300

URL: http://www.spacelab.jp

スペシャルプラネタリウム & 震災特別番組

シアターショー

12月 自由席の観覧

19:30-19:45 19:45-20:00

1月 19:30-19:45 19:45-20:00

2月 19:30-19:45 19:45-20:00

★震災特別番組

3月 星とともに

14:30-15:15 15:15-16:00

16:00-16:45 16:45-17:30

17:30-18:15 18:15-19:00

19:00-19:45 19:45-20:30

20:30-21:15 21:15-22:00

22:00-22:45 22:45-23:30

23:30-24:15 24:15-25:00

25:00-25:45 25:45-26:30

26:30-27:15 27:15-28:00

28:00-28:45 28:45-29:30

29:30-30:15 30:15-31:00

31:00-31:45 31:45-32:30

32:30-33:15 33:15-34:00

34:00-34:45 34:45-35:30

35:30-36:15 36:15-37:00

37:00-37:45 37:45-38:30

38:30-39:15 39:15-40:00

40:00-40:45 40:45-41:30

41:30-42:15 42:15-43:00

43:00-43:45 43:45-44:30

44:30-45:15 45:15-46:00

46:00-46:45 46:45-47:30

47:30-48:15 48:15-49:00

49:00-49:45 49:45-50:30

50:30-51:15 51:15-52:00

52:00-52:45 52:45-53:30

53:30-54:15 54:15-55:00

55:00-55:45 55:45-56:30

56:30-57:15 57:15-58:00

58:00-58:45 58:45-59:30

59:30-60:15 60:15-61:00

61:00-61:45 61:45-62:30

62:30-63:15 63:15-64:00

64:00-64:45 64:45-65:30

65:30-66:15 66:15-67:00

67:00-67:45 67:45-68:30

68:30-69:15 69:15-70:00

70:00-70:45 70:45-71:30

71:30-72:15 72:15-73:00

73:00-73:45 73:45-74:30

74:30-75:15 75:15-76:00

76:00-76:45 76:45-77:30

77:30-78:15 78:15-79:00

79:00-79:45 79:45-80:30

80:30-81:15 81:15-82:00

82:00-82:45 82:45-83:30

83:30-84:15 84:15-85:00

85:00-85:45 85:45-86:30

86:30-87:15 87:15-88:00

88:00-88:45 88:45-89:30

89:30-90:15 90:15-91:00

91:00-91:45 91:45-92:30

92:30-93:15 93:15-94:00

94:00-94:45 94:45-95:30

95:30-96:15 96:15-97:00

97:00-97:45 97:45-98:30

98:30-99:15 99:15-100:00

100:00-100:45 100:45-101:30

101:30-102:15 102:15-103:00

103:00-103:45 103:45-104:30

104:30-105:15 105:15-106:00

106:00-106:45 106:45-107:30

107:30-108:15 108:15-109:00

109:00-109:45 109:45-110:30

110:30-111:15 111:15-112:00

112:00-112:45 112:45-113:30

113:30-114:15 114:15-115:00

115:00-115:45 115:45-116:30

116:30-117:15 117:15-118:00

118:00-118:45 118:45-119:30

119:30-120:15 120:15-121:00

121:00-121:45 121:45-122:30

122:30-123:15 123:15-124:00

124:00-124:45 124:45-125:30

125:30-126:15 126:15-127:00

127:00-127:45 127:45-128:30

128:30-129:15 129:15-130:00

130:00-130:45 130:45-131:30

131:30-132:15 132:15-133:00

133:00-133:45 133:45-134:30

134:30-135:15 135:15-136:00

136:00-136:45 136:45-137:30

137:30-138:15 138:15-139:00

139:00-139:45 139:45-140:30

140:30-141:15 141:15-142:00

142:00-142:45 142:45-143:30

143:30-144:15 144:15-145:00

145:00-145:45 145:45-146:30

146:30-147:15 147:15-148:00

148:00-148:45 148:45-149:30

149:30-150:15 150:15-151:00

151:00-151:45 151:45-152:30

152:30-153:15 153:15-154:00

154:00-154:45 154:45-155:30

155:30-156:15 156:15-157:00

157:00-157:45 157:45-158:30

158:30-159:15 159:15-160:00

160:00-160:45 160:45-161:30

161:30-162:15 162:15-163:00

163:00-163:45 163:45-164:30

164:30-165:15 165:15-166:00

166:00-166:45 166:45-167:30

167:30-168:15 168:15-169:00

169:00-169:45 169:45-170:30

170:30-171:15 171:15-172:00

172:00-172:45 172:45-173:30

173:30-174:15 174:15-175:00

175:00-175:45 175:45-176:30

176:30-177:15 177:15-178:00

178:00-178:45 178:45-179:30

179:30-180:15 180:15-181:00

181:00-181:45 181:45-182:30

182:30-183:15 183:15-184:00

184:00-184:45 184:45-185:30

185:30-186:15 186:15-187:00

187:00-187:45 187:45-188:30

188:30-189:15 189:15-190:00

190:00-190:45 190:45-191:30

191:30-192:15 192:15-193:00

193:00-193:45 193:45-194:30

194:30-195:15 195:15-196:00

196:00-196:45 196:45-197:30

197:30-198:15 198:15-199:00

199:00-199:45 199:45-200:30

200:30-201:15 201:15-202:00

202:00-202:45 202:45-203:30

203:30-204:15 204:15-205:00

205:00-205:45 205:45-206:30

206:30-207:15 207:15-208:00

208:00-208:45 208:45-209:30

209:30-210:15 210:15-211:00

211:00-211:45 211:45-212:30

212:30-213:15 213:15-214:00

214:00-214:45 214:45-215:30

215:30-216:15 216:15-217:00

217:00-217:45 217:45-218:30

218:30-219:15 219:15-220:00

220:00-220:45 220:45-221:30

221:30-222:15 222:15-223:00

223:00-223:45 223:45-224:30

224:30-225:15 225:15-226:00

226:00-226:45 226:45-227:30

227:30-228:15 228:15-229:00

229:00-229:45 229:45-230:30

230:30-231:15 231:15-232:00

232:00-232:45 232:45-233:30

233:30-234:15 234:15-235:00

235:00-235:45 235:45-236:30

236:30-237:15 237:15-238:00

238:00-238:45 238:45-239:30

239:30-240:15 240:15-241:00

241:00-241:45 241:45-242:30

242:30-243:15 243:15-244:00

244:00-244:45 244:45-245:30

245:30-246:15 246:15-247:00

247:00-247:45 247:45-248:30

248:30-249:15 249:15-250:00

250:00-250:45 250:45-251:30

251:30-252:15 252:15-253:00

253:00-253:45 253:45-254:30

254:30-255:15 255:15-256:00

256:00-256:45 256:45-257:30

257:30-258:15 258:15-259:00

259:00-259:45 259:45-260:30

260:30-261:15 261:15-262:00

262:00-262:45 262:45-263:30

263:30-264:15 264:15-265:00

265:00-265:45 265:45-266:30

266:30-267:15 267:15-268:00

268:00-268:45 268:45-269:30

269:30-270:15 270:15-271:00

271:00-271:45 271:45-272:30

272:30-273:15 273:15-274:00

274:00-274:45 274:45-275:30

275:30-276:15 276:15-277:00

277:00-277:45 277:45-278:30

278:30-279:15 279:15-280:00

280:00-280:45 280:45-281:30

281:30-282:15 282:15-283:00

283:00-283:45 283:45-284:30

284:30-285:15 285:15-286:00

286:00-286:45 286:45-287:30

287:30-288:15 288:15-289:00

289:00-289:45 289:45-290:30

290:30-291:15 291:15-292:00

292:00-292:45 292:45-293:30

293:30-294:15 294:15-295:00

295:00-295:45 295:45-296:30

296:30-297:15 297:15-298:00

298:00-298:45 298:45-299:30

299:30-300:15 300:15-301:00

301:00-301:45 301:45-302:30

302:30-303:15 303:15-304:00

304:00-304:45 304:45-305:30

305:30-306:15 306:15-307:00

307:00-307:45 307:45-308:30

308:30-309:15 309:15-310:00

310:00-310:45 310:45-311:30

311:30-312:15 312:15-313:00

313:00-313:45 313:45-314:30

314:30-315:15 315:15-316:00

316:00-316:45 316:45-317:30

317:30-318:15 318:15-319:00

319:00-319:45 319:45-320:30

320:30-321:15 321:15-322:00

322:00-322:45 322:45-323:30

323:30-324:15 324:15-325:00

325:00-325:45 325:45-326:30

326:30-327:15 327:15-328:00

328:00-328:45 328:45-329:30

329:30-330:15 330:15-331:00

331:00-331:45 331:45-332:30

332:30-333:15 333:15-334:00

334:00-334:45 334:45-335:30

335:30-336:15 336:15-337:00

337:00-337:45 337:45-338:30

338:30-339:15 339:15-340:00

340:00-340:45 340:45-341:30

341:30-342:15 342:15-343:00

343:00-343:45 343:45-344:30

344:30-345:15 345:15-346:00

346:00-346:45 346:45-347:30

347:30-348:15 348:15-349:00

349:00-349:45 349:45-350:30

350:30-351:15 351:15-352:00

352:00-352:45 352:45-353:30

353:30-354:15 354:15-355:00

355:00-355:45 355:45-356:30

356:30-357:15 357:15-358:00

358:00-358:45 358:45-359:30

359:30-360:15 360:15-361:00

361:00-361:45 361:45-362:30

362:30-363:15 363:15-364:00

364:00-364:45 364:45-365:30

365:30-366:15 366:15-367:00

367:00-367:45 367:45-368:30

368:30-369:15 369:15-370:00

370:00-370:45 370:45-371:30

371:30-372:15 372:15-373:00

373:00-373:45 373:45-374:30

374:30-375:15 375:15-376:00

376:00-376:45 376:45-377:30

377:30-378:15 378:15-379:00

379:00-379:45 379:45-380:30

380:30-381:15 381:15-382:00

382:00-382:45 382:45-383:30

383:30-384:15 384:15-385:00

385:00-385:45 385:45-386:30

386:30-387:15 387:15-388:00

388:00-388:45 388:45-389:30

389:30-390:15 390:15-391:00

391:00-391:45 391:45-392:30

392:30-393:15 393:15-394:00

394:00-394:45 394:45-395:30

395:30-396:15 396:15-397:00

397:00-397:45 397:45-398:30

398:30-399:15 399:15-400:00

400:00-400:45 400:45-401:30

401:30-402:15 402:15-403:00

403:00-403:45 403:45-404:30

404:30-405:15 405:15-406:00

406:00-406:45 406:45-407:30

407:30-408:15 408:15-409:00

409:00-409:45 409:45-410:30

410:30-411:15 411:15-412:00

412:00-412:45 412:45-413:30

413:30-414:15 414:15-415:00

415:00-415:45 415:45-416:30

416:30-417:15 417:15-418:00

418:00-418:45 418:45-419:30

419:30-420:15 420:15-421:00

421:00-421:45 421:45-422:30

422:30-423:15 423:15-424:00

424:00-424:45 424:45-425:30

425:30-426:15 426:15-427:00

427:00-427:45 427:45-428:30

428:30-429:15 429:15-430:00

430:00-430:45 430:45-431:30

431:30-432:15 432:15-433:00

433:00-433:45 433:45-434:30

434:30-435:15 435:15-436:00

436:00-436:45 436:45-437:30

437:30-438:15 438:15-439:00

439:00-439:45 439:45-440:30

440:30-441:15 441:15-442:00

442:00-442:45 442:45-443:30

443:30-444:15 444:15-445:00

445:00-445:45 445:45-446:30

446:30-447:15 447:15-448:00

448:00-448:45 448:45-449:30

449:30-450:15 450:15-451:00

451:00-451:45 451:45-452:30

452:30-453:15 453:15-454:00

454:00-454:45 454:45-455:30

455:30-456:15 456:15-457:00

457:00-457:45 457:45-458:30

458:30-459:15 459:15-460:00

460:00-460:45 460:45-461:30

461:30-462:15 462:15-463:00

463:00-463:45 463:45-464:30

464:30-465:15 465:15-466:00

466:00-466:45 466:45-467:30

467:30-468:15 468:15-469:00

469:00-469:45 469:45-470:30

470:30-471:15 471:15-472:00

472:00-472:45 472:45-473:30

473:30-474:15 474:15-475:00

475:00-475:45 475:45-476:30

476:30-477:15 477:15-478:00

478:00-478:45 478:45-479:30

479:30-480:15 480:15-481:00

481:00-481:45 481:45-482:30

482:30-483:15 483:15-484:00

484:00-484:45 484:45-485:30

485:30-486:15 486:15-487:00

487:00-487:45 487:45-488:30

488:30-489:15 489:15-490:00

490:00-490:45 490:45-491:30

491:30-492:15 492:15-493:00

493:00-493:45 493:45-494:30

494:30-495:15 495:15-496:00

496:00-496:45 496:45-497:30

497:30-498:15 498:15-499:00

499:00-499:45 499:45-500:30

500:30-501:15 501:15-502:00

502:00-502:45 502:45-503:30

503:30-504:15 504:15-505:00

505:00-505:45 505:45-506:30

506:30-507:15 507:15-508:00

508:00-508:45 508:45-509:30

509:30-510:15 510:15-511:00

511:00-511:45 511:45-512:30

512:30-513:15 513:15-514:00

514:00-514:45 514:45-515:30

515:30-516:15 516:15-517:00

517:00-517:45 517:45-518:30

518:30-519:15 519:15-520:00

520:00-520:45 520:45-521:30

521:30-522:15 522:15-523:00

523:00-523:45 523:45-524:30

524:30-525:15 525:15-526:00

526:00-526:45 526:45-527:30

527:30-528:15 528:15-529:00

529:00-529:45 529:45-530:30

530:30-531:15 531:15-532:00

532:00-532:45 532:45-533:30

533:30-534:15 534:15-535:00

535:00-535:45 535:45-536:30

536:30-537:15 537:15-538:00

538:00-538:45 538:45-539:30

539:30-540:15 540:15-541:00

541:00-541:45 541:45-542:30

542:30-543:15 543:15-544:00

544:00-544:45 544:45-545:30

545:30-546:15 546:15-547:00

547:00-547:45 547:45-548:30

548:30-549:15 549:15-550:00

550:00-550:45 550:45-551:30

551:30-552:15 552:15-553:00

553:00-553:45 553:45-554:30

554:30-555:15 555:15-556:00

556:00-556:45 556:45-557:30

557:30-558:15 558:15-559:00

559:00-559:45 559:45-560:30

560:30-561:15 561:15-562:00

562:00-562:45 562:45-563:30

563:30-564:15 564:15-565:00

565:00-565:45 565:45-566:30

566:30-567:15 567:15-568:00

568:00-568:45 568:45-569:30

569:30-570:15 570:15-571:

3-3 望遠鏡

(1)ねらい

望遠鏡業務に関して、以下の4つのねらいを持って行った。

○主としてひとみ望遠鏡及び移動天文車積載の望遠鏡を使用して、様々な天体を観察できる機会を提供し、天体に関する興味・関心を引き出し、天文学の普及振興と市民の天文知識向上に寄与する。

○ひとみ望遠鏡の見学機会を設け、ひとみ望遠鏡の構造や仕組み、能力、観測方法等を説明し、市民の宇宙や科学に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。

○宇宙や科学を身近なものとして捉えられるような活動を行い、市民の宇宙に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。更には、天文学に興味の深い市民への支援も行い、自己研鑽の場の提供を行う。

○天体観望会を開催する市民及び教員等のために、観測機材の貸出しを行い、市民の天文学普及振興に寄与する。

【中期目標】

より多くの市民に利用してもらう

(2)業務内容

①定期観望会

毎週土曜日にひとみ望遠鏡を使用した天体観望会を実施した。また、悪天候により天体を観望できない時には、望遠鏡案内を実施した。詳細は定期観望会・定期移動観望会参加人数（P.64）を参照。

②定期移動観望会

金曜日を中心に移動天文車ベガ号を仙台市内各所及び近郊に派遣し、ベガ号積載の20cmクーデ式望遠鏡及び10cm汎用望遠鏡で天体観望会を実施した。天体を観望できない時には、星空の話や天文クイズ、ワークショップなどの天文教室を開催した。詳細は定期観望会・定期移動観望会参加人数（P.64）、定期移動観望会出動先（P.65）を参照。



＜ベガ号での観望会の様子＞



＜ワークショップの様子＞

③臨時移動観望会

定期移動観望会では出動できないイベントなどから観望会の依頼がある際に、移動天文車ベガ号を用いて観望会を実施した。今年度は2つのイベントへ出動した。



＜第21回「春のイエ・コレ」の様子＞



＜「笹かま食べて星に願いを」の様子＞

④昼間の観望会

ひとみ望遠鏡を使用して昼間に観察可能な天体の観望会を実施した。また悪天候時には望遠鏡案内やバックヤードツアーなどを行った。今年度は合計 3 回開催した。



＜昼間の観望会の様子＞



＜バックヤードツアー（観察室紹介）の様子＞

⑤その他の天体観望会

ひとみ望遠鏡や移動天文車ベガ号を使用しないで行う観望会を開催した。主に 10cm 汎用望遠鏡を用いて行った。

③－⑤の詳細は定期観望会以外の開催内容(P.65)を参照。



＜その他の天体観望会の様子＞

⑥インターネット観測体験会

市内の小・中・高等学校の児童・生徒が学校のパソコンからインターネットを利用してひとみ望遠鏡を操作し、観察の体験をする機会を設けた。また利用日は学校長期休業期間とした。

今年度は 8 月 3 日に実施し、寺岡小学校 3 年生の児童とその保護者 140 名が参加した体験会となった。

⑦ひとみ望遠鏡解説

ひとみ望遠鏡を動かしながら、特長や性能を紹介した。天候が良い時には、昼間でも星が見えるという性能を知ってもらうため、1 等星などの明るい星の観望も行った。昨年度と同様に実施時間は、平日は 15 時 30 分の 1 回、土日祝日は 10 時 30 分、12 時 30 分、14 時、15 時 30 分の 4 回とした。実施回数は 766 回、参加者数は 15,725 名であった。

⑧観測機材等の館外貸出

天体観望会を開催する市民及び教員などのために、観測機材の貸出しを行う。そのための貸出日の日程調整と予約の受付を行った。今年度の貸出件数は 6 件だった。

また返却時に確認を行い、機器の点検も実施した。必要に応じて清掃、調整なども行った。

⑨観察室の貸出・管理

毎週土曜日と毎月 2 回の平日貸出日、及び夏期休業期間中の小中高校生優先利用日の合計 84 日の貸出日を設定し貸出しを行った。今年度は平日の貸出日は新月前後に設定することで、画像取得を目的とする利用者に配慮した。さらに管理としては以下の 2 つの項目を実施した。

○ライセンス講習会

望遠鏡利用のための資格取得講習会(ライセンス講習会)を年 2 回実施した。今年度の付与を含め 3 月末現在、ライセンス A 所持者は 21 名、ライセンス B 所持者は 10 名の合計 31 名がライセンスを所有している。

詳細は観察室講習会・ミーティング一覧(P.66)を参照。

○ユーザーズミーティング

望遠鏡操作に関する注意事項の確認と望遠鏡利用者同士の情報交換の場、及びライセンス更新の機会として、年4回の望遠鏡利用者連絡会(ユーザーズミーティング)を開催した。

詳細は観察室講習会・ミーティング一覧(P.66)を参照。



＜ユーザーズミーティングの様子＞

3-4 その他

(1)ねらい

○天文やその他の様々な専門分野の切り口からの話題提供により、市民の星や宇宙への興味関心を高める。

○最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。

○学会など関係団体に加盟して総会・研修会などに参加し、情報の収集や職員の資質向上に資するとともに、サービス内容の維持・向上を図る。

○市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う。

【中期目標】

より多くの市民に利用してもらう

(2)業務内容

①大学連携

地域の大学や研究機関などと連携し、市民の星や宇宙への興味関心を高めるとともに、最新の天文学の情報を分かりやすく提供した。詳細は講座・講演会・大学連携内容一覧(P.66)参照。

○スペースラボ in 仙台市天文台

宮城教育大学理科教育講座担当教員と仙台市天文台職員が共同で企画・実施している「宇宙」「天文」をキーワードとした体験型科学実験教室。

11/29(土) 第1回「光の速さに近づくと。。」(担当：内山哲治准教授)

11/30(日) 第2回「ぼくら不思議探検隊！-光と地球と植物と-」(担当：小林恭士准教授)

12/14(日) 第3回「太陽電池を作ろう！」(担当：笠井香代子教授)

12/20(土) 第4回「エネルギーってなんだろう？」(担当：内山哲治准教授)

○宮城教育大学&仙台市天文台 PRESENTS ロビーコンサート in 仙台市天文台

宮城教育大学音楽教育専攻の学部生やOB、先生方による今年で14回目を迎えるロビーコンサート。

9/21(日) Vol.13「星に向かって天駆けるファンタジーの翼」

12/13(土) Vol.14「見えるよ冬のお星さま、聴こえるよお星さまのうた」

(担当：宮城教育大学音楽教育教授 吉川和夫、宮城教育大学音楽教育教授 倉戸テル)



＜スペースラボの様子＞



＜ロビーコンサートの様子＞

○雷神 2 打ち上げパブリックビューイング

5月24日、JAXAが種子島宇宙センターから生中継するH-IIA ロケット 24号機による「だいち 2号」打ち上げの模様をパブリックビューイングとして中継した。今回、H-IIA ロケット 24号機には東北大学と北海道大学が開発を行った衛星「雷神 2」が搭載されており、当日は打ち上げのライブ中継に加えて、東北大学の開発担当者による雷神 2 の解説も実施した。また、開発者への「応援メッセージ」を募集し開発者の元へ届けた。

（担当：東北大学大学院工学研究科 吉田和哉教授）

○オーロラを体感しよう！

スペシャルプラネタリウム「全天周オーロラ最新映像」は、全国オーロラ講演会の片岡龍峰准教授（東北大学出身、現国立極地研究所）が手がける全天周オーロラをドームスクリーンに投映。太陽活動が活発だった2013年にアラスカと昭和基地で撮られたダイナミック且つ貴重な最新映像を紹介した。

企画展「オーロラ」は、私たちのまわりの宇宙環境を知る上で非常に重要な現象であるオーロラの仕組みの解説に加え、オーロラ関連研究の最前線など様々な視点から、その神秘的な世界を紹介した。

（主催：全国オーロラ講演会、仙台市天文台、協力：国立極地研究所、東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻太陽惑星空間物理学講座、後援：東北大学大学院理学研究科、地球電磁気・地球惑星圏学会、協賛：仙台エコーライオンズクラブ）



＜企画展「オーロラ」展示の様子＞

○プラネタリウム全天周オーロラ映像&スペシャルトーク「オーロラとわたしたち生命」

オーロラを体感して宇宙を身近に感じるとともに、中川広務助教（東北大学大学院理学研究科）の解説を聞きながら、私たちの生命とその周りの宇宙環境について、地球と火星とを比較し改めて考えた。

○アンドロメダファンタジータクティクス

東北大学天文学専攻の皆さんによる、天体カードを使っていろいろな人と対戦し、勝つと相手のカードをもらうことができるカードゲーム。天文台まつり内で実施した。

○プラ板 de プラネタリウム

東北大学天文学専攻の皆さんによる、プラ板に星座の絵をトレースしたキーホルダーを作るワークショップ。天文台まつり内で実施した。



＜「アンドロメダファンタジータクティクス」の様子＞



＜「プラ板 de プラネタリウム」の様子＞

②ブレインサポーター管理・運営

仙台市天文台を更に魅力的な施設にするため、専門的な情報やノウハウなどの「知識」によって天文台の活動を支援していただく役割を担うサポーター。詳細はブレインサポーター一覧（P.77）参照。

③学会等関係団体への加盟と連携

○加盟団体

- ・ 日本天文学会
- ・ 東亜天文学会
- ・ 日本プラネタリウム協議会（JPA）
- ・ 日本博物館協会
- ・ 日本公開天文台協会（JAPOS）
- ・ 全国科学博物館協議会
- ・ 全国科学館連携協議会
- ・ 宮城県博物館等連絡協議会
- ・ 仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）

○参加実績

- ・ 6月：日本プラネタリウム協議会総会参加
- ・ 6月：全国博物館館長会議参加
- ・ 6月：全国科学博物館協議会総会参加
- ・ 8月：天文教育普及研究会年会参加
- ・ 11月：全国科学館連携協議会東北ブロック会議参加
- ・ 12月：日本プラネタリウム協議会研修会参加
- ・ 12月：SMMA 外国人対応接遇研修参加
- ・ 1月：全国科学博物館海外視察研修参加
- ・ 2月：全国科学館連携協議会東北ブロック会議参加
- ・ 3月：日本天文学会春季年会参加

④講座・講演会

○アースデイ講演会「地球温暖化の現状-IPCC 第5次評価報告書より-」

4月26日、アースデイ「地球のことを考える日」にちなんで講演会を開催した。東北大学大学院理学研究科花輪公雄教授を講師に迎え、温暖化に対する分析の内容や、今後の温暖化の推移の予測について解説した。

○すばる望遠鏡公開講演会2014「すばる望遠鏡、宇宙へのまなざし。」

11月15日、国立天文台すばる望遠鏡による様々な成果や、口径30メートルの巨大望遠鏡TMT計画について以下のテーマで講演を行った。

・「すばる望遠鏡の見た最新の宇宙」

有本信雄教授（国立天文台ハワイ観測所所長）

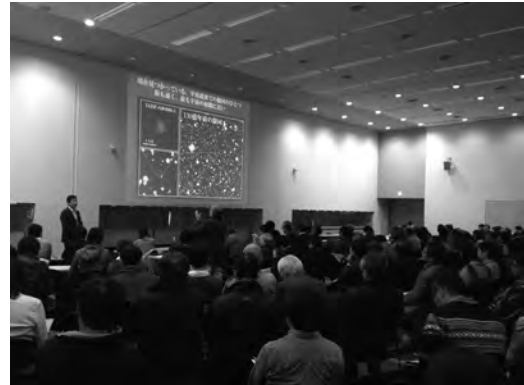
・「銀河の誕生—すばる望遠鏡で観る宇宙の夜明け」

山田 亨教授（東北大学大学院理学研究科）

・「宇宙の謎に挑む大型望遠鏡すばると、もっと大きな望遠鏡TMT」

臼田知史教授（国立天文台 TMT 推進室室長）

○プラネタリウム全天周オーロラ映像&スペシャルトーク「オーロラとわたしたち生命」 詳細は大学連携欄（P.28）参照



＜すばる講演会の様子＞

⑤トワイライトサロン

土佐台長が土曜の夜だけに開くサロン。オープンスペースを会場に、飲食自由の気軽な雰囲気の中で台長やゲストが宇宙をテーマに話した。詳細はトワイライトサロン内容一覧（P.68）参照。

今年は8月9日に、300回達成記念「集まれ！未来の天文学者～土佐少年が天文台長になるまで～」を開催。台長が少年時代から天文学者、天文台長になるまでを話した。



＜300回達成記念のトワイライトサロンの様子＞



＜通常のトワイライトサロンの様子＞

⑥宇宙の日関連イベント

9月12日の「宇宙の日」に関連して行われる作文絵画コンテストの科学館賞を選定し、入賞者作品展及び表彰式・記念講演会を開催した。2014年度のテーマは「宇宙たんけん」。展示詳細は企画展・プレショーギャラリー展示一覧（P.60）参照。

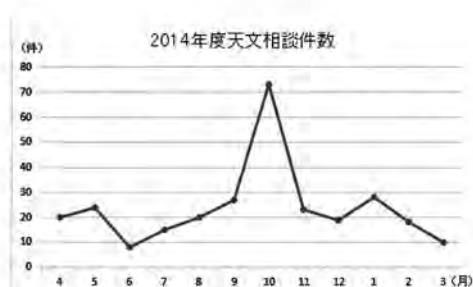
⑦科学技術週間関連イベント

4月18日の「発明の日」を含む科学技術週間に関連したイベントとして「一日子ども台長」を実施した。

⑧天文相談

市民からの天文や宇宙に関する質問や相談に対して、台内だけでなく電話やウェブサイト、郵送、FAXなどでも対応し相談者の立場に立った回答を行った。

2014年度は、10月8日に「皆既月食」があったことから、10月の相談件数が最も多く73件だった。そのうち53件が「皆既月食」についての問い合わせだった。



< 2014 年度天文相談件数 >



<アースデイ講演会チラシ>



<オーロライベントチラシ>



<スペースラボチラシ>



<トワイライトサロン
300 回達成記念チラシ>



<オーロラ講演会チラシ>

4 資料収集業務

(1)ねらい

- 天文学的に貴重な天体や現象を記録する
- 博物館として、天体そのものや天体現象を説明、明らかにする
- 世間からの注目に対応する

【中期目標】

- 資料にアクセスしやすい環境を作る
- 資料提供数を増やす

(2)業務内容

①資料収集

年間計画を作成し、天文現象、惑星、星野などの資料収集を行った。

○天文現象・星野

今年度見られた主な天体現象や天体が並ぶ様子を記録した。重点的に収集したのは皆既月食で、刻々と変わる月の様子や地球の影を中心に撮影した様子など、静止画と動画の両方で撮影を行った。また、天文台に設置されている太陽望遠鏡で太陽のXフレアを、お天気カメラで火球をとらえることもあった。

詳細は撮影・収集した天体・現象一覧（P.69）を参照。

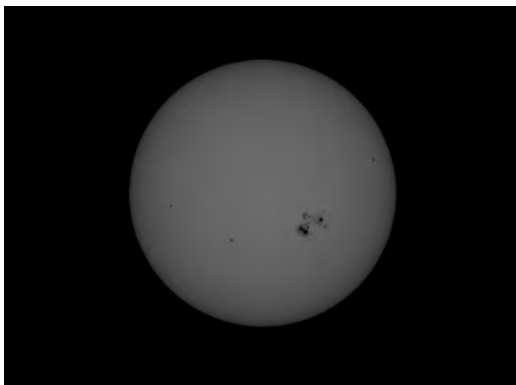
○惑星

全ての惑星の様子を撮影し、記録した。特に火星は接近があったため、重点的に撮影を行った。また、金星の満ち欠けは2013年度から引き続き撮影し、2014年度で半分以上の周期をカバーすることができた。

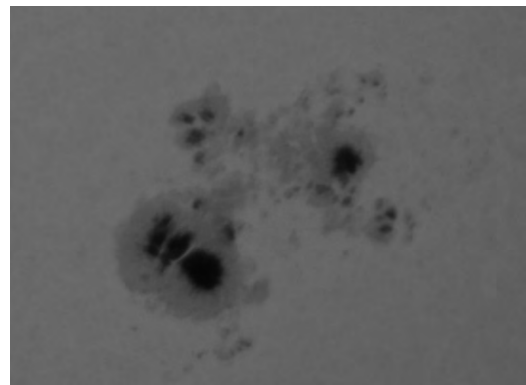
○収集した資料



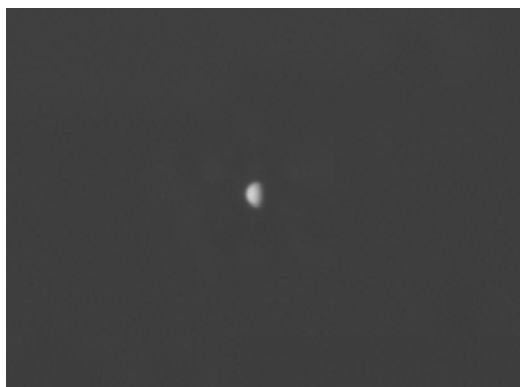
<皆既月食地球影 2014年10月8日>



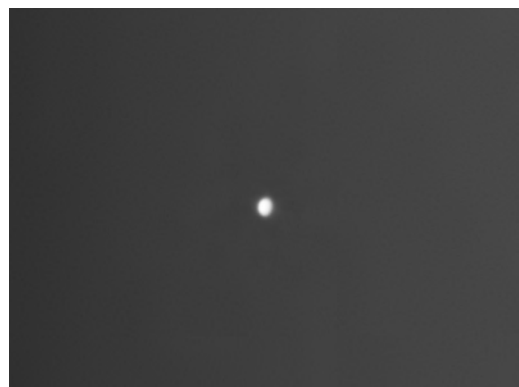
<太陽肉眼黒点 2014年10月25日>



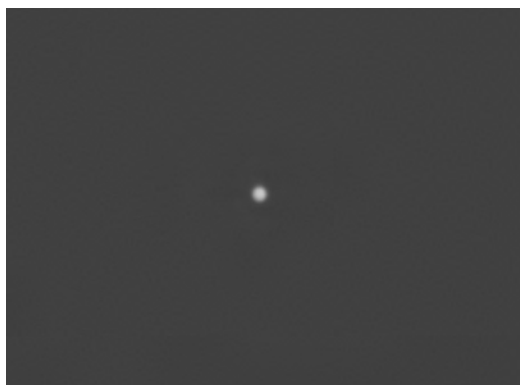
<太陽肉眼黒点（拡大）2014年10月25日>



<金星 2014年4月25日>



<金星 2014年6月23日>



<金星 2014年12月28日>



<火星接近 2014年4月14日>

②資料の整理

これまで天文台で撮影した天体にまつわる資料を全て1ヶ所にまとめるよう整理を行った。整理する際に、天文現象や撮影機材などで検索できるよう、フォルダ分けをして整理した。

また、旧天文台で撮影した資料も同一の場所に置き、バックアップを取った。

5 広報業務

(1)ねらい

本施設の業務内容や利用方法を広報・周知することにより、本施設の利用促進及びアイデンティティーの浸透を図る。

【中期目標】

天文台に関わる人、触れる人を増やす

(2)業務内容

①イベント情報提供

マスコミや雑誌、ウェブ媒体への情報提供を適時行った。

②ウェブサイト・SNSの運用、天文情報提供

最新の天文情報や施設情報、ひとみ望遠鏡を使用した観測情報について、更新が容易なブログシステムを活用してタイムリーな情報提供を行った。また、更新した情報は、TwitterやFacebookなどのSNSを用いて適時拡散した。

③広報物発行

施設アイデンティティーに則した季刊誌「ソラリスト」を年4回発行し、館内及び市内外に配布した。

④リーフレット管理

休館日変更に伴い、市の依頼により外国語版リーフレットの修正を行った。また、残部数が少なくなったため、日本語版リーフレットを増刷した。

⑤ SMMA 対応

他の社会教育施設と連携し、市民の生涯学習を支援するため、仙台市内の文化施設が所属している仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)に天文台も所属。12月に開催されたイベント「ミュージアムユニバース」では、2013年－2014年に実施した未来館者アンケートの結果及び回答を掲示した。

⑥取材対応

各種広報物の配布やウェブサイトを活用したイベント告知、積極的なプレスリリースなどにより、数多くの取材を受けた。詳細は取材件数一覧(P.69)、各種媒体での紹介一覧(P.69)を参照。

⑦視察対応

天文台の存在価値を提示するため、他施設からの視察を受け入れた。2014年度は111件。施設案内やプラネタリウム紹介、運営方針などの説明を行った。

⑧年報作成

2013年度の主な業務内容及び参加者数などの各統計資料をまとめた年報を作成した。仙台市へ提出し、2013年度の事業報告とした。

⑨記録

広報活動及び天文台利用促進事業で活用するため、各種イベントの様子を写真や動画で撮影した。新聞や雑誌などの記事をまとめたスクラップファイルも作成。



<ソラリスト春号>



<ソラリスト夏号>



<ソラリスト秋号>



<ソラリスト冬号>

6 活用促進業務

(1)ねらい

要求水準外の独自事業を行うことで、天文台の活用を促進させる。

【中期目標】

天文台を活用できる市民を増やす。

【中期目標】

天文台に関わる人、触れる人を増やす

(2)業務内容

① VI の運用・管理

- テーマ「光」にちなんだ VI コラージュの作成と運用
- 開台 60 周年にちなんだ VI コラージュの作成と運用
- 各種メディア媒体の VI 管理

②館内ディスプレイ

季節に合わせた館内ディスプレイの設置



＜七夕装飾＞



＜願い事コーナー設置＞



＜ハロウィン装飾＞



＜クリスマス装飾＞

③天文台まつり

開台 60 周年を祝う「天文台まつり 2015」の開催

天文台まつり 2015 レポート

平成 27 年 3 月 14 日

去る 1 月 31 日（土）、2 月 1 日（日）、第 5 回目の「天文台まつり」が開催されました。

前日の大雪の影響で雪かきから始まった当日でしたが、幸いにも日中はお天気に恵まれ、2 日間で延べ 7000 人を超えるお客様にお越しいただきました。あらためて、多くの方々に支えられていることを実感できた 2 日間となりました。お足元の悪い中お越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。

当日の様子をレポートします。 ※団体の敬称略

☆ワークショップ☆

アンドロメダ・ファンタジー・ タクトイクス ／東北大学天文学専攻	プラ板 de プラネタリウム ／東北大学天文学専攻	スターカレンダー／ 宮城教育大学天文同好会	ビー玉万華鏡をつくろう ／スタッフサポーター	小学生にちやれんじ ー大人の天文台学習ー/ スタッフサポーター
				

☆特設ステージ☆

サイエンスショー ／盛岡市子ども科学館 スタッフ	宇宙アコーディオニスト の地球侵略 ／アルチュール千田さん	気象予報士の星空予報 ／気象予報士・星野誠さん （TBC 東北放送）	かけらライブ in 仙 台市天文台 ／かけらライブ	トワイライトサロン「天 文台の過去・現在・未来」 ／台長
				
星ごっこ！ 極寒大声コンテスト	開台 60 周年 記念セレモニー①	開台 60 周年 記念セレモニー②	キラメキ！星と夢のエレクト ーンコンサート ／竹野靖子さん	～大人も子供も一緒に～ 未知ノ国守ダッチャー★宮城 弁体操／NOBU 高橋さん
				

☆その他イベント☆

プラネタリウム 解説員体験ショー	宇宙で記念撮影	おはなし会／広瀬図書館	「星の写真展」 ／仙台天文同好会	「仙台市天文台のあゆみ 一年表&写真」
				

☆天体観望会・撮影会☆

太陽を見る会 ／仙台天文同好会	昼の天体観望会	ひとみ望遠鏡案内	バックヤードツアー①	バックヤードツアー②
				

☆ブース出展・ケータリングカー☆

あ回り絵 80	HIRO ガラス工房	キーン・フットウェア株式会社	株式会社倉元製作所	日本郵便株式会社 愛子郵便局
				
株式会社名取屋染工場	株式会社誠文堂新光社	株式会社ピクセン	株式会社高橋製作所	五藤テレスコープ株式会社
				
株式会社ケンコー・トキナー	手作り仙台まき Cooking DonaBona	仙台あおばスイーツ	だがしや まる。	ケータリングカー
				



☆☆2日間、本当にありがとうございました!!☆☆

☆仙台市天文台スタッフ一同☆

※出演者・企業名は天文台まつり開催当時のもの

④サタ☆スタ

土曜日の夜のみ開館時間を延長した賑わいの創出

⑤記念イベント

- 入館者数 200 万人達成式典の開催
- 開台 60 周年記念式典の開催（天文台まつり）
- 「仙台市天文台の日」認定



＜ 200 万人達成記念式典の様子＞



＜開台 60 周年記念式典の様子＞

⑥コンサート等イベント

- アーティストによるコンサートやライブの開催
- 市民持込企画イベントの開催



＜八神純子ポラーストーリーの様子＞



＜遊佐未森天文台コンサートの様子＞



＜ Star Ballad の様子＞



＜ライブキャラストレーションの様子＞



＜星空茶会の様子＞

⑦キャンドルナイト

夏至と冬至に合わせたライトダウンイベントの開催



＜キャンドルナイト（夏）の様子＞



＜キャンドルナイト（冬）の様子＞

⑧伝統的七タライトダウン

伝統的七タに合わせたライトダウンイベントの開催



＜「七タさんの星見会」観察会の様子＞



＜「七タさんの星見会」ワークショップの様子＞



＜「七タさんの星見会」イベントの様子＞



＜「七タさんの星見会」チラシ＞

③、⑥、⑦、⑧の詳細は独自事業 イベント一覧（P.63）参照。

⑨商品開発

仙台市天文台のオリジナルグッズの開発



＜天体バッジ＞



＜プラネットマシュマロ＞

⑩売店業者との調整

- 顧客ニーズを意識した店づくり
- イベントや展示にあわせた商品選び

⑪オーナーサポーター運営・管理

- 媒体資料の作成
- 新制度の運用開始
 - ・2014年度の申込み数（企業14社、個人4名）、詳細はオーナーサポーター一覧（P.77）参照
 - ・2014年度のサポート資金充当案件
 - ①H α 太陽望遠鏡（太陽の観察、プロミネンスの撮影に運用）
 - ②ビデオカメラ（流星、惑星の撮影に運用）
 - ③テーブルセット（トワイライトサロンに運用）
 - ④クリノメーター（観望会、写真撮影に運用）
 - ⑤ウェブページの開設（開台60周年記念ウェブサイト立上げ予定）



＜オーナーサポーター資金で購入したもの一例＞

⑫ファンサポーター運営・管理

- 新制度の運用開始
 - ・2014年度の申込み数（226名）

⑬年間パスポート運営・管理

- ・2014年度の申込み数（一般589名、高校生19名、小中学生13名）

⑭アンケートの計画、実施および分析

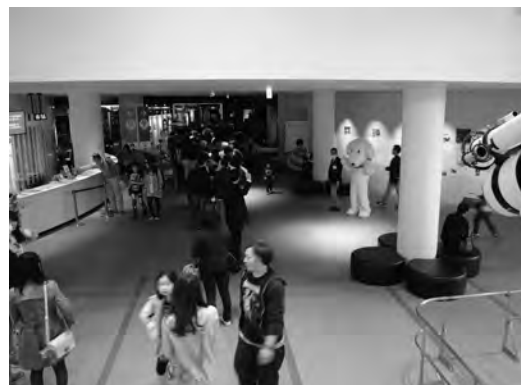
- 館内アンケートの実施
- 未来館者アンケートを実施（弐式参（いろは）横丁開催の夏祭り、ララガーデン長町、かほピョンクラブウェブアンケート）

⑮ユニークベニュー等施設活用

- 10/12（日） 株式会社河北新報社「かほピョンクラブ会員向けイベント」 210名参加
- 3/29（日） イオンリテール株式会社「2015年イオン初売り福袋」 185名参加



＜「かほピョンクラブ」イベントの様子＞



＜「イオン初売り福袋」イベントの様子＞

⑩協働企画

天文に興味のない市民でも本施設に興味を持ってえるように様々な共同企画を実施し、本施設のPRを行った。



<キーン・ジャパン合同会社とのコラボレーション>

7 窓口業務

(1)ねらい

来館者の施設利用が円滑に行われるよう、施設の内容・行事・スケジュールなどを正確に把握し案内する。また、団体利用の予約受付、拾得物・遺失物の管理、迷子・急病人の対応などを的確に行い、来館者に安心して施設を利用してもらえるようにする。

【中期目標】

お客様とのコミュニケーションによって、生の声を数多く引き出す。(その声を各業務の活動において反映してもらう)

(2)業務内容

①総合案内

- デジタルサイネージやモニターに館内スケジュールやプラネタリウム残席状況などを表示。
- 来館者とのコミュニケーションを大切に、来館者のニーズに合わせた案内を行った。

②放送案内

- プラネタリウムの入場開始やイベント開催などを告知する放送案内を実施。
- 毎朝開館前に発声練習を行い、アナウンス技術の向上に努めた。

③団体利用受付

- 予約受付簿とアクセス予約システムを併用。

④一般団体受入

- 団体人数や館内状況を把握し、安全に配慮した団体受入を行った。
- 団体ごとの希望などを把握し、可能な限り対応した。

⑤プラネタリウムの案内・誘導

- 事前に車椅子利用者、乳幼児などの状況を把握し、安全な案内・誘導を行った。

⑥入場管理

- チケット確認を常時行い、適切な入場を促した。

⑦拾得物・迷子の対応

- 拾得物・迷子発生時は放送案内による呼び出しを行った。
- 拾得物は定期的に交番へ届けた。

⑧急病人対応

- 急病人は救護室に案内し、必要に応じて応急救置や医療機関の案内を行った。
- 全スタッフで救急救命講習を受講し、心肺蘇生・応急救置について学んだ。

8 アンケート結果

2014年度は、2010－2011年度実施アンケートと2013年度実施アンケート及び2013年度実施の未来館者アンケートの結果を踏まえ、アンケート項目の妥当性を検証するためのアンケートを実施することとした。

具体的には以下にあるようなアンケート用紙を用いた。本アンケートにより、来館目的と来館者が天文台の何に満足し、何に不満を持っているのかを自由記述で回答を求めた。更には、総合満足度を測定する指標を作るために、類似施設などに満足した場合、どのような行動をとるのかに関しても自由記述を求めた。

結果、1,203名分の有効回答を得た。なお、集計にあたっては、来館目的以降の回答欄の複数回答を全て集計した。更に来館目的の達成度は5段階での評価（最高評価が5）、満足度については4段階（最高評価が4）での評価も併せて集計した。

本結果を受け、来館目的及び満足度などの項目を設定したアンケートを実施し、更にその内容を統計的に検討することを2015年度に行うこととした。

仙台市天文台アンケート



仙台市天文台ではお客様に愛される施設になるよう職員一丸、努力しております。つきましては、お客様のご意見を聞かせください。

■お客様について教えてください。(○をつけておえらびください)

性 別 男, 女
 年 齢 小学生, 中学生, 高校生, 大学・専門学校生, 一般() 歳
 住 所 市内, 県内(), 県外()
 来館ひん度 はじめて, 年に1回, 年に数回, 月に1回, 月に数回, 毎週, その他()
 来館同伴者 お一人, ご家族(子ども連れ, 大人のみ), 友人(同性, 異性), その他()
 来館手段 徒歩, 自転車, バイク, 自家用車, バス(愛子観光, タケヤ交通), JR, タクシー, その他()
 年間パスポートの有無 あり, なし

■何から情報を得て, ご来館したかを教えてください。(○をつけておえらびください ※複数回答可)

a. 市の広報 b. 当館のWebサイト c. SNS() d. 当館のフリーペーパー「ソラリスト」 e. チラシ(館内, 館外)
 f. ポスター(館内, 館外) g. テレビ(番組名) h. ラジオ(番組名)
 i. 新聞(新聞名) j. 情報誌等(雑誌名) k. 知人から聞いた
 l. 仙台駅のデジタルサイネージ m. その他()

■ご来館の目的を教えてください。また, どのくらい満足したかも数字で選んでください。

下の空欄にご来館の目的をご記入ください	とてもよい	よい	ふつう	わるい	とてもわるい
	5	4	3	2	1
	5	4	3	2	1
	5	4	3	2	1

■当館の「いいね!」と「ざんねん!」を教えてください。

○をつけてください	下の空欄に「いいね」または「ざんねん!」と思ったことと, その理由をご記入ください
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	

■気に入った場所や施設がある場合, したくなることは何ですか?

(例) 人にすすめる, また訪れる, ツイッターでつぶやく など

■当館へのご意見, ご要望などを, 自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

< 2014年度 来館者アンケート >

2014 年度 来館者アンケート集計結果一覧

調査項目	人数	%
------	----	---

性別		
男性	432	35.91
女性	741	61.60
未記入	30	2.49

年齢層		
小学生	287	23.86
中学生	48	3.99
高校生	47	3.91
大学生・専門学校生	95	7.90
一般	703	58.44
未記入	23	1.91

住所		
市内	637	52.95
県内	284	23.61
県外	231	19.20
未記入	51	4.24

来館頻度		
初めて	487	40.48
年 1	182	15.13
年数回	285	23.69
月 1	58	4.82
月数回	71	5.90
毎週	12	1.00
その他	75	6.23
未記入	33	2.74

同伴者		
お一人	113	9.39
家族	210	17.46
子ども連れ家族	354	29.43
大人のみ家族	142	11.80
友人	53	4.41
同性友人	104	8.65
異性友人	143	11.89
その他	44	3.66
未記入	40	3.33

調査項目	人数	%
------	----	---

交通手段		
徒歩	37	3.08
自転車	41	3.41
バイク	6	0.50
自家用車	879	73.07
バス	49	4.07
愛子観光バス	49	4.07
タケヤ交通	17	1.41
JR	18	1.50
JR+ 徒歩	9	0.75
JR+ 愛子バス	24	2.00
JR+ タクシー	7	0.58
タクシー	9	0.75
その他	11	0.91
未記入	47	3.91

年バスの有無		
あり	120	9.98
なし	972	80.80

周知媒体		
市広報	146	12.14
天文台 WEB	314	26.10
SNS	14	1.16
ソラリスト	47	3.91
チラシ	25	2.08
ポスター	10	0.83
テレビ	8	0.67
ラジオ	6	0.50
新聞	9	0.75
情報誌	41	3.41
口コミ	195	16.21
駅サイネージ	2	0.17
その他	243	20.20
未記入	143	11.89

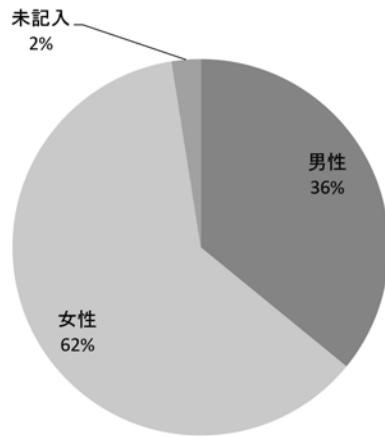
調査項目	人数	%	平均値
------	----	---	-----

来館目的 (5 段階評価：最高値 5)			
プラネタリウム	645	51.39	4.24
勉強・学びのため	133	10.60	4.25
展示室	77	6.14	4.39
子ども・孫のため	76	6.06	4.29
天体観望会	73	5.82	4.27
宇宙や星に興味があるから	40	3.19	4.18
特別展・企画展	39	3.11	3.62
その他 (一度は見たい、癒し・リラックス等)	172	13.71	-
総数	1,255	100	4.51

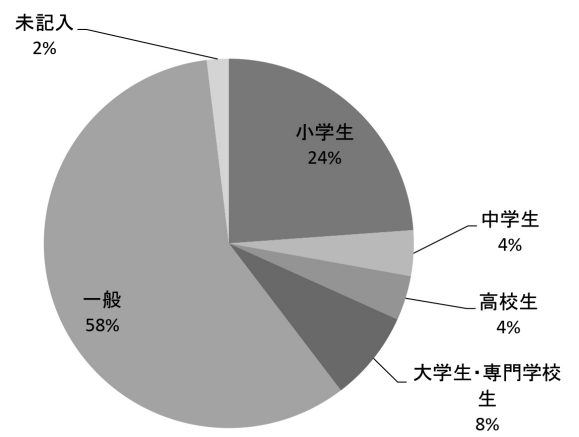
満足度規定要因 (4 段階評価：最高値 4)			
プラネタリウム	253	23.40	3.14
展示室	175	16.19	3.25
スタッフの対応・説明	103	9.53	3.51
施設の清潔感・きれいさ	68	6.29	3.65
分かる・学べる・知ることができる	67	6.20	3.27
プラネタリウム解説員	54	5.00	3.70
ショップ・自動販売機	38	3.52	2.66
天体観望会	37	3.42	3.27
レストラン・カフェ等	32	2.96	1.88
ひとみ望遠鏡解説	31	2.87	3.58
施設の雰囲気・大きさ	30	2.78	3.30
その他 (料金、子ども向け対応、施設設備等)	193	17.85	-
総数	1,081	100	3.26

満足後の対応		
人にすすめる	166	39.43
また訪れる	150	35.63
インターネット発信 (SNS 等)	68	16.15
知人を誘う	18	4.28
写真を撮る	12	2.85
その他 (アンケートを書く、お土産を買う等)	7	1.66
総数	421	100

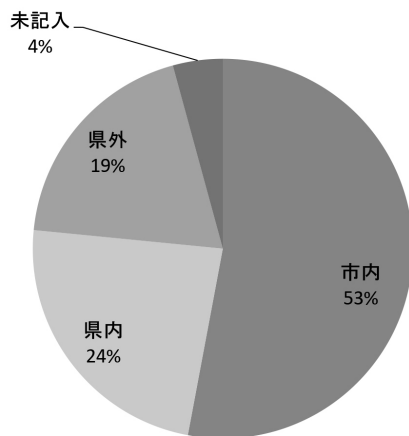
回答者性別



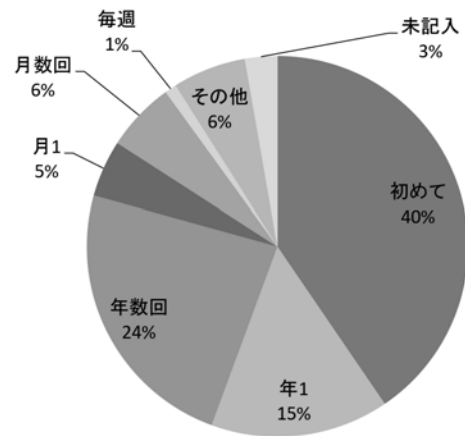
回答者年齢層



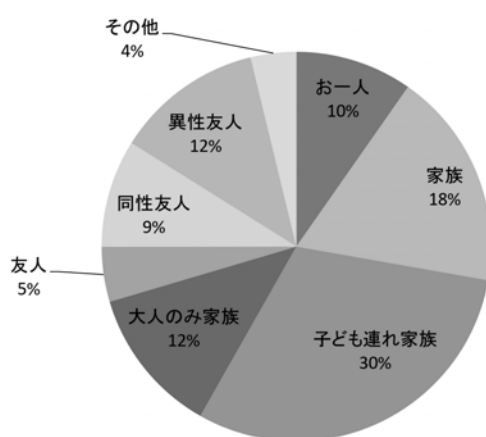
回答者住所



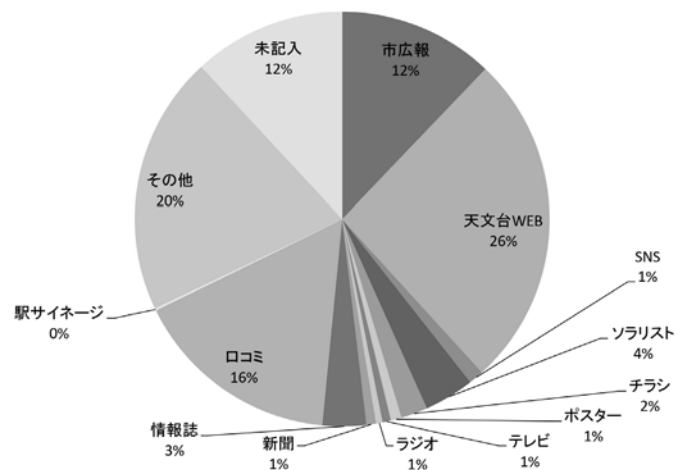
回答者来館頻度

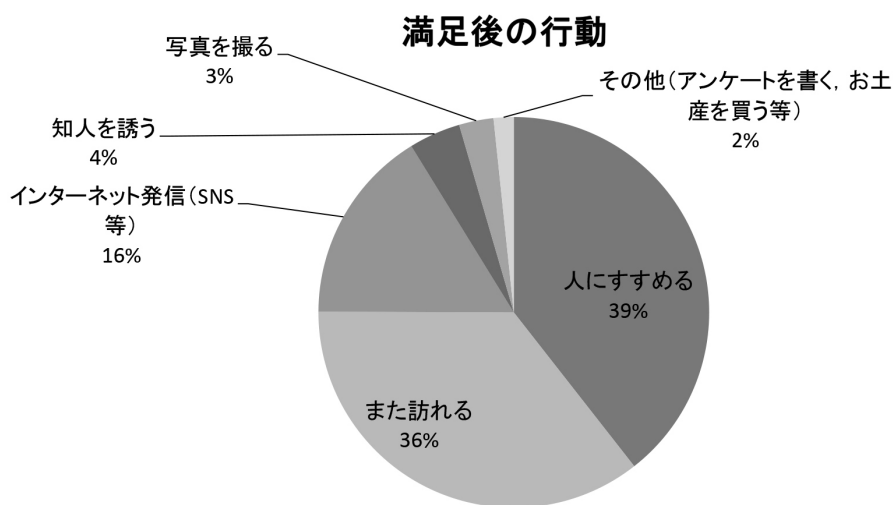
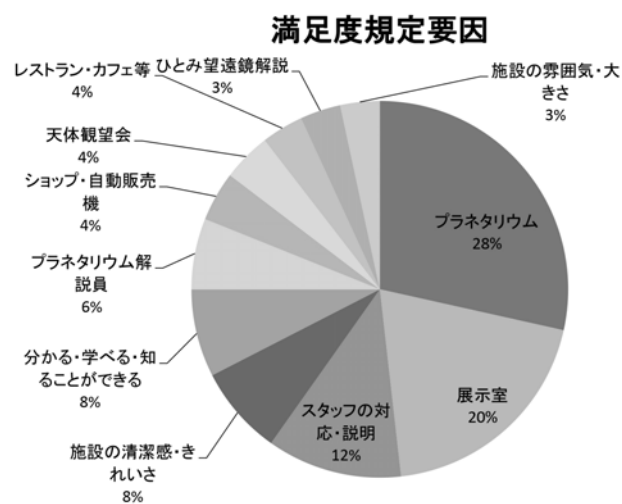
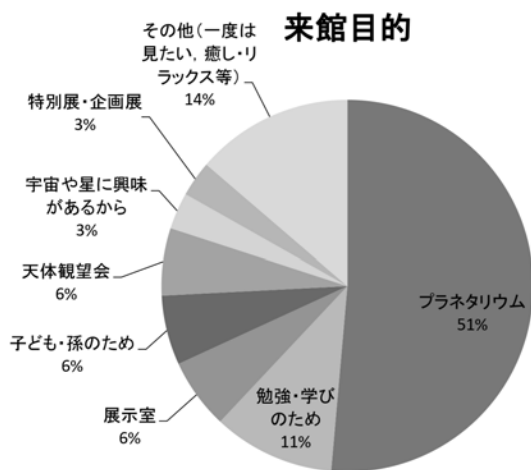
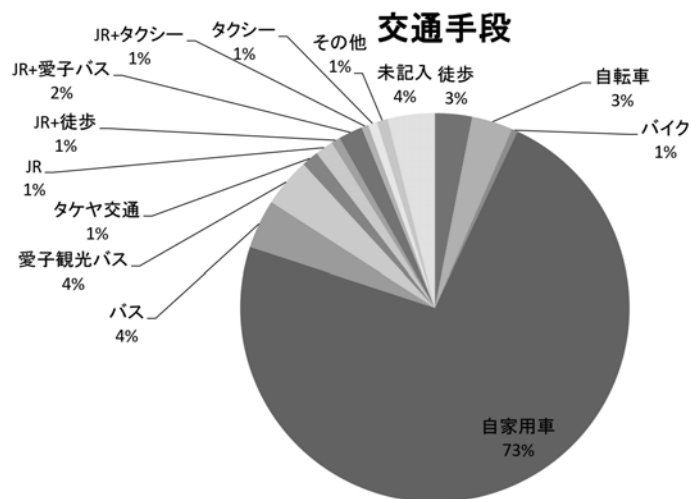


回答者同伴者



周知媒体





2013-2014 年度継続 未来館者アンケート結果

1. アンケートの目的

来館者アンケートでは読み取れない、未来館者が本施設への来館を妨げている要因について明らかにする。また、様々なアンケート方法により、その結果の違いも検討する。

2. アンケートの方法

以下の3種類の方法により市民一般からアンケートを取り、その中で既来館者と未来館者のデータを分けて分析を行った。

(1)対面式聞き取りアンケート（以下：対面アンケート）

公共施設内で椅子と机を用意し、アンケートの協力を求め、対面式で聞き取りながらデータを得た。協力者には、本施設の招待券を配布した。

(2)商店街イベントにおける自由記述アンケート（以下：記述アンケート）

仙台市内の商店街及びショッピングモールのイベントにおいて、本施設のアンケート記述コーナーを設置し、アンケート用紙に自由に記述していただくことでデータを得た。協力者には抽選で、本施設の招待券を提供することを明示し実施した。

(3)新聞読者会員によるWEBアンケート（以下：WEBアンケート）

イベント協力をしている地元の新聞社の読者会員限定のWEBアンケートに、本施設に関するアンケートを実施してもらい、データを得た。本アンケートに関わる特典は、新聞社にて提供された。

3. アンケート回答者数

それぞれのアンケートの回答数等は以下の通りであった。

	サンプル数	未来館者数		既来館者数	
		人数（人）	割合（％）	人数（人）	割合（％）
対面アンケート	89	42	47.2	47	52.8
記述アンケート	156	62	39.7	94	60.3
WEBアンケート	2314	1206	52.1	1108	47.9
合 計	2559	1310	51.2	1249	48.8

4. 未来館者の未来館理由（母数：対面 42 人、記述 62 人、WEB1,206 人）

未来館者が来館していない理由は以下の通りであった。

上段が人数。下段が未来館者に占めるパーセント。

上段（人） 下段（％）	遠いため	交通手段 がない	存在を 知らない	機会が ない	子どもが 幼少	時間が ない	場所が分 からない	料金が 高い	興味が ない	理由なし その他
対面 アンケート	9 21.4	4 9.5	10 23.8	5 11.9	2 4.8	0	0	0	0	12 28.6
記述 アンケート	7 11.3	3 4.8	8 12.9	13 21.0	8 12.9	2 3.2	7 11.3	0	0	14 22.6
WEB アンケート	282 23.4	112 9.3	0	0	0	482 40.0	0	20 1.7	181 15.0	129 10.7
合 計	298 22.7	119 9.1	18 1.4	18 1.4	10 0.8	484 36.9	7 0.5	20 1.5	181 13.8	155 11.8

5. 既来館者のご意見

(1)天文台の魅力、「いいね！」（母数：対面 47 人、記述 94 人、WEB1,108 人）

上段（人） 下段（%）	プラネ タリウム	展示室	観望会等 望遠鏡	企画展	スタッフ	施設の 綺麗さ 新しさ	イベント	ショップ	惑星広場	移動 天文台	子どもが 楽しめる	勉強に なる	楽しめる
対面 アンケート	19 41.3	16 34.8	4 8.7	0	4 8.7	7 15.2	2 4.3	0	2 4.3	2 4.3	0	0	0
記述 アンケート	30 31.6	19 20.0	10 10.5	0	4 4.2	15 15.8	3 3.2	0	0	0	12 12.6	3 3.2	2 2.1
WEB アンケート	111 10.0	20 1.8	13 1.2	5 0.5	14 1.3	34 3.1	19 1.7	9 0.8	1 0.1	2 0.2	6 0.5	7 0.6	11 1.0
合 計	160 12.8	55 4.4	27 2.2	5 0.4	22 1.8	42 3.4	24 1.9	9 0.7	3 0.2	4 0.3	18 1.4	10 0.8	13 1.0

(2)天文台へのご意見、「残念！」（母数：対面 89 人、記述 156 人、WEB2,314 人）

上段（人） 下段（%）	交通の便	遠い	開館時間 等	料金 値引き	内容が 乏しい	プラネ タリウム	展示室	子供向け	イベント	広報	飲食場所	ショップ	休憩場所 等の施設 環境
対面 アンケート	15 16.9	1 1.1	4 4.6	2 2.3	2 2.3	5 5.7	3 3.4	11 12.5	9 10.2	2 2.3	18 20.5	0	0
記述 アンケート	1 0.6	4 2.6	1 0.6	0	0	3 1.9	5 3.2	3 1.9	1 0.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3	3 1.9
WEB アンケート	66 2.6	101 4.4	21 0.9	30 1.3	5 0.2	31 0.1	10 0.4	15 0.6	46 2.0	59 2.5	10 0.4	3 0.1	2 0.1
合 計	82 3.2	106 4.1	26 1.0	32 1.3	7 0.3	39 1.5	18 0.7	29 1.1	56 2.2	62 2.4	30 1.2	5 0.2	5 0.2

6. ご意見を受けての対応

(1)移転して遠くなった・交通の便が悪い・シャトルバスを などについて

○2014 年 8 月より、仙台駅前から天文台駐車場までの直通するタケヤ交通バスが運行を始めています。仙台駅前から 20 分強で到着します。また、バス停もヤマダ電機前と途中で変更となり、利用しやすくなっております。運用が始まったばかりですので、プラネタリウムの放映時間や閉館時間等とのリンクがうまく取れていないという課題がありますが、徐々に改善をしていく予定です。仙台市市営バスについては、指定管理者の私どもでは、いかんともしがたい状況であり、ご理解いただけますと幸いです。

○市街地より遠くなった理由は、観測環境を確保するためですので、ご理解いただけますと幸いです。錦ケ丘は、環境がよければ、住宅地でありながら、未だ天の川が見える環境です。他天文台と比べると、環境条件を満たしながら市街地からの距離も出来るだけ知覚するという点では、かなり条件の良い場所ではあります。ぜひ、星空のきれいな天文台までお越しくださいますようお願い申し上げます。

(2)宣伝が足りない・イベントの PR を・情報が入ってこない 等について

○天文台の広報は主として、定期的広報として以下の媒体を使っております。今回のアンケートでは、広報の要望については、WEB アンケートにおいて多くのご意見をいただいておりますので、新聞を読まれる層の方々への広報が足りないのだと思われます。現在、河北新報社と記事を載せる回数を増やすような調整も行っておりますので、ご意見を参考に、さらに広報活動を充実させていきます。

- ・PC 系→WEB サイト、Facebook、Twitter、YouTube、USTREAM
- ・紙媒体→フリーペーパー「ソラリスト」（年 4 回発行）、河北新報夕刊（月 1）、各種科学・天文系月刊誌・各種情報誌
- ・電波媒体→ラジオ 3（月 1）、FM いずみ（月 1）
- ・野外広告系→仙台駅 3 階のデジタル掲示板での施設紹介（1 時間に 1 回）

(3) イベントを増やしてほしい・大人向けのイベントを・子ども向けのイベントを などについて

○「市民天文台」として、市民参加、市民提案のイベントを年に30回程度は行っておりますが、上記にあるように、市民の皆様伝わっていないのだと思います。今後も「市民天文台」として、「宇宙が身近に」になったり、賑わいが創出されたりするようなイベントを行っていきますので、ぜひ、天文台にご来館ください。

(4) 食事場所がない・カフェがあれば良い・レストランがほしい 等について

○現在、食事提供は冷食の自販機とショップでのお菓子、自販機による飲料しかなく、おしゃるとおり寂しい限りです。土日祝日などのお客様がたくさんおいでになるときに、ケータリングカーやお弁当屋さん・パン屋さんなどが販売できないかを検討しているところです。今しばらくお待ちいただけると幸いです。

仙台市天文台のアンケート

仙台市天文台のサービス向上のためにアンケートを実施しています。みな様のご意見・ご要望を伺い、よりよい天文台を目指していきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

仙台市天文台
SENDAI ASTROBION / SOL OBSERVATORY



① お客様について教えてください。(○をつけておえらびください)

性 別 男, 女
年 齢 小学生, 中学生, 高校生, 大学・専門学校生, 一般(才)
住 所 市内, 県内(), 県外()
来館回数 まだない →④,⑤,⑥へ ある(回くらい) →③,⑤,⑥へ

② お出かけの情報は、何から得ていますか。(○をつけておえらびください ※複数回答可)

a. 市の広報 b. Web c. SNS() d. フリーペーパー等 e. チラシ f. ポスター
g. テレビ(番組名) h. ラジオ(番組名)
i. 新聞(新聞名) j. 情報誌等(雑誌名) k. 知人からの紹介 l. CM
m. その他()

③ ご来館いただいた方にお聞きします。天文台の「いいね!」と「ざんねん!」を教えてください。

○をつけてください	下の空欄に「いいね」または「ざんねん」と思ったことと、その理由をご記入ください
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	
とてもいいね いいね ざんねん とてもざんねん	

④ まだご来館いただいていない理由をお教えてください。

⑤ 気に入った場所や施設がある場合、したくなることは何ですか?

(例) 人にすすめる, また訪れる, ツイッターでつぶやく など

⑥ 当館へのご意見, ご要望などを, 自由にお書きください。

● アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10組20名様に仙台市天文台の招待券をプレゼントさせていただきます。
ご希望の方は、お名前とご住所をお書きください。 ※当選は招待券の発送をもってかえさせていただきます ※個人情報招待券の発送のみに使用させていただきます

〒 □□□-□□□□

お名前 _____ ご住所 _____

ご協力ありがとうございました。

< 2013 - 2014 年度継続 未来館者アンケート >

かほピョンくらぶ web アンケート

1. 郵便番号
2. 住所
3. 性別
4. 年齢
5. 年代
6. 天文台に行ったことがありますか
「はい」と答えた方 ☐印象に残ったところ
 ☐その他回答
「いいえ」と答えた方 ☐理由
 ☐その他回答
7. 仙台市天文台について何でもお書きください

<新聞読者会員による WEB アンケート>

9 利用状況

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計	
展示室	有料	個人	一般	2,160	3,839	2,607	3,814	9,130	3,277	2,451	3,000	1,900	1,871	2,095	2,946	39,090	35,173
			高校生	58	88	29	68	514	52	65	55	97	48	60	164	1,298	1,016
			小中学生	206	368	279	379	1,675	433	106	53	96	148	100	281	4,124	3,853
		団体	一般	22	178	95	150	228	134	134	258	23	0	13	10	1,245	1,728
			高校生	0	0	2	1	40	43	0	0	0	0	0	28	114	85
			小中学生	417	211	705	151	176	822	31	43	0	0	207	32	2,795	3,090
	無料	個人	一般	707	833	739	1,122	1,969	829	628	1,658	521	1,628	1,739	806	13,179	10,017
			高校生	3	1	2	5	7	10	2	16	0	71	49	0	166	61
			小中学生	1,142	1,342	796	1,830	4,125	900	783	1,150	421	1,076	937	841	15,343	14,434
			未就学	612	755	659	1,045	2,504	667	547	878	346	799	869	647	10,328	9,466
		団体	一般	59	67	473	591	324	513	247	131	155	57	83	97	2,797	2,729
			高校生	108	0	0	62	15	53	84	7	194	54	2	7	586	822
			小中学生	38	26	147	497	633	2,254	1,268	1,026	134	66	4	60	6,153	7,724
			未就学	5	503	2,909	2,397	150	26	147	9	19	0	17	110	6,292	6,297
プラネタリウム	有料	個人	一般	2,673	4,421	3,381	4,941	10,396	4,161	3,140	3,704	2,844	2,580	3,205	3,215	48,661	47,895
			高校生	90	99	48	99	516	82	98	88	144	95	140	219	1,718	1,470
			小中学生	196	379	197	354	1,664	413	110	50	85	159	121	291	4,019	3,850
		団体	一般	17	174	121	186	234	151	221	259	6	0	175	29	1,573	1,919
			高校生	0	0	2	1	0	46	0	0	0	0	0	31	80	85
			小中学生	250	137	529	195	176	823	31	43	0	0	207	32	2,423	2,960
	無料	個人	一般	712	847	835	1,268	2,034	852	660	1,626	589	762	818	1,674	12,677	10,866
			高校生	4	2	5	8	5	10	4	17	0	15	17	27	114	76
			小中学生	1,093	1,220	813	1,782	3,962	863	770	1,032	437	638	577	849	14,036	14,301
			未就学	613	708	647	1,115	2,484	638	537	757	371	587	637	622	9,716	9,933
		団体	一般	66	59	483	630	279	434	219	102	94	43	83	54	2,546	2,694
			高校生	108	0	0	62	15	43	96	7	194	54	2	9	590	772
			小中学生	38	26	159	547	675	2,260	1,262	1,026	126	66	4	76	6,265	7,717
			未就学	5	503	3,365	2,631	160	36	129	10	19	0	36	110	7,004	7,153
観望会	有料	個人	一般・高校生	172	96	43	143	72	126	111	32	52	62	120	134	1,163	919
			中学生以下	6	0	1	4	9	2	4	0	1	4	2	9	42	36
	無料		一般・高校生	32	28	11	34	14	28	19	150	10	316	302	41	985	364
			中学生以下	61	30	14	72	30	52	32	92	9	202	201	35	830	466
イベント			1,300	319	335	1,428	2,137	2,204	1,443	1,130	424	1,118	1,444	438	13,720	10,822	
観望室望遠鏡利用			7	8	3	3	2	3	2	3	4	3	3	7	48	25	
天文台学習(市内小中学校)			0	2,702	2,472	984	1,738	12,772	11,356	8,946	2,804	2,270	2,824	288	49,156	50,227	
合計(延べ)			12,980	19,969	22,906	28,599	48,092	36,012	26,737	27,358	12,119	14,792	17,093	14,219	280,876	271,045	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計
開館日数	25	26	25	27	30	25	26	25	24	24	23	27	307	308
1日平均入場者数	519	768	916	1,059	1,603	1,440	1,028	1,094	505	616	743	527	915	880

展示室入場者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計
有料	2,863	4,684	3,717	4,563	11,763	4,761	2,787	3,409	2,116	2,067	2,475	3,461	48,666	44,945
無料	2,674	4,878	6,961	8,041	10,596	11,638	9,450	9,348	3,192	4,886	5,112	2,712	79,488	76,673
計	5,537	9,562	10,678	12,604	22,359	16,399	12,237	12,757	5,308	6,953	7,587	6,173	128,154	121,618

プラネタリウム入場者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計
有料	3,226	5,210	4,278	5,776	12,986	5,676	3,600	4,144	3,079	2,834	3,848	3,817	58,474	58,179
無料	2,639	4,716	7,543	8,535	10,483	11,522	9,289	9,050	3,232	3,300	3,586	3,565	77,460	78,616
計	5,865	9,926	11,821	14,311	23,469	17,198	12,889	13,194	6,311	6,134	7,434	7,382	135,934	136,795

天体観望会参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計
回数	4	5	4	4	5	4	4	6	4	5	5	4	54	54
有料	178	96	44	147	81	128	115	32	53	66	122	143	1,205	955
無料	93	58	25	106	44	80	51	242	19	518	503	76	1,815	830
計	271	154	69	253	125	208	166	274	72	584	625	219	3,020	1,785

移動観望会参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2014年度計	2013年度計
出動回数	3	4	6	8	6	4	7	6	6	3	2	3	58	60
無料	160	279	638	1,129	340	193	1,904	748	470	111	103	84	6,159	5,999

年度別	2008年度※	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	累計
入館者数(延べ)	428,284	336,701	277,665	260,126	286,333	271,045	280,876	2,141,030
開館日数	230	308	309	289	309	308	307	2,060

※7月1日開館

Ⅲ 2014 年度事業報告 資料

<天文台学習利用実績>

1. 市内の学校等

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
		件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
幼稚園				3	277	39	2,449	23	2,121				
保育園・保育所				2	59	17	378	22	535				
小学校	4 年生					2	211	3	220	9	780	74	5,590
	6 年生												
	その他の学年					1	4						
中学校	1 年			10	1,351	5	932	4	272	1	89	7	781
	その他の学年					1	78						
高等学校													
特別支援学校	小学部					1	11					1	15
	中学部												
	高等部												
合 計		0	0	15	1,687	66	4,063	52	3,148	10	869	82	6,386

2. 市外の学校等

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
		件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
幼稚園				2	244	12	880	3	117				
保育園・保育所				1	147	2	61	2	74				
小学校	4 年生					2	129			3	246	56	3,107
	6 年生			2	60								
	その他の学年			1	45							3	93
中学校	1 年												
	その他の学年							1	5				
高等学校													
特別支援学校	小学部												
	中学部							1	66				
	高等部											1	9
合 計		0	0	6	496	16	1,070	7	262	3	246	60	3,209

3. 天文台学習総計

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
		件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
幼稚園				5	521	51	3,329	26	2,238				
保育園・保育所				3	206	19	439	24	609				
小学校	4 年生					4	340	3	220	12	1,026	130	8,697
	6 年生			2	60								
	その他の学年			1	45	1	4					3	93
中学校	1 年			10	1,351	5	932	4	272	1	89	7	781
	その他の学年					1	78	1	5				
高等学校													
特別支援学校	小学部					1	11					1	15
	中学部							1	66				
	高等部											1	9
合 計		0	0	21	2,183	82	5,133	59	3,410	13	1,115	142	9,595

10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
								1	22	1	16	67	4,885
				1	22					3	74	45	1,068
24	1,632	5	441	2	16							119	8,890
43	3,154	31	2,345	6	423							80	5,922
				1	9			1	2			3	15
8	938	10	1,687	8	954	9	1,135	7	1,367	1	144	70	9,650
								1	21			2	99
						1	41					1	41
												2	26
1	20							2	22			3	42
								1	9			1	9
76	5,744	46	4,473	18	1,424	10	1,176	13	1,443	5	234	393	30,647

10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
												17	1,241
								1	20			6	302
18	1,312	9	733	3	109	2	40					93	5,676
		6	367					2	141			10	568
1	34											5	172
												0	0
												1	5
												0	0
												0	0
												1	66
												1	9
19	1,346	15	1,100	3	109	2	40	3	161	0	0	134	8,039

10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
								1	22	1	16	84	6,126
				1	22			1	20	3	74	51	1,370
42	2,944	14	1,174	5	125	2	40					212	14,566
43	3,154	37	2,712	6	423			2	141			90	6,490
1	34			1	9			1	2			8	187
8	938	10	1,687	8	954	9	1,135	7	1,367	1	144	70	9,650
								1	21			3	104
						1	41					1	41
												2	26
1	20							2	22			4	108
								1	9			2	18
95	7,090	61	5,573	21	1,533	12	1,216	16	1,604	5	234	527	38,686

<プラネタリウム投映記録>

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数
星空の時間	77	4150	73	5634	57	3927	71	5763	86	12353	60	5032
今夜の星空案内	77	4150	73	5634	57	3927	71	5763	86	12353	60	5032
天文の時間					9	1084	17	1883	26	3788	10	1012
ダークユニバース					9	1084	17	1883	26	3788	10	1012
こどもの時間	15	1501	13	1628	9	1200	17	2736	26	5828	10	1125
おじゃる丸							17	2736	26	5828	10	1125
オリオンのひみつ												
クイズスペシャル・冬												
星空動物園	15	1501	13	1628	9	1200						
音楽の時間	3	214	5	443	4	269	4	377	4	377	3	420
STARRY JAZZ											3	420
スター☆アイドル特集					4	269	4	377	4	377		
星のこえ	3	214	5	443								
天体観測												
スペシャル シアターショー	3	132	4	164	3	190	5	1220	6	1640	6	1681
89 番目の星座												
HAYABUSA2												
ブラインドマン・ウィズ・スターリーアイズ	3	132	4	164	3	190						
星のこえ												
全天周オーロラ最新映像							5	1220	6	1640	6	1681
スペシャル コラボショー			1	131	1	52	1	193	1	175		
ピアノラウンジ									1	175		
クリスタルボウル			1	131			1	193				
星空おはなし会					1	52						
シンセサイザーコンサート												
特別番組												
星空とともに												
合 計	98	5997	113	10090	116	12011	137	15531	157	25109	140	18879

10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間 投映回数	年間 入場者数
投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数	投映回数	入場者数		
61	3694	61	4948	62	2762	69	3244	61	3546	81	4716	819	59769
61	3694	61	4948	62	2762	69	3244	61	3546	81	4716	819	59769
11	881	12	1295	12	700							97	10643
11	881	12	1295	12	700							97	10643
11	1112	9	1025	12	718	11	992	8	820	14	1252	155	19937
11	1112											64	10801
		9	1025	8	419							17	1444
				4	299	11	992	8	820	7	593	30	2704
										7	659	44	4988
3	236	5	328	4	579	3	397	4	968			42	4608
3	236	5	328									11	984
												12	1023
												8	657
				4	579	3	397	4	968			11	1944
1	90	4	197	4	198	3	183	4	320	4	253	47	6268
						3	183	4	320			7	503
1	90	4	197	4	198							9	485
												10	486
										4	253	4	253
												17	4541
2	177	1	270									7	998
												1	175
1	101											3	425
1	76											2	128
		1	270									1	270
										8	1164	8	1164
										8	1164	8	1164
89	6190	92	8063	94	4957	86	4816	77	5654	107	7385	1175	103387

<観測研究業務事業一覧>

月	日	曜	時間	タイトル	内 容	人数
5	25	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座①	・市民観測員について ・観測の意味と観測手法の概論 ・天体の放射Ⅰ	24
6	29	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座②	・天体の放射Ⅱ ・太陽系天体	16
7	27	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座③	・恒星	15
8	6	水	9:10 12:00	小中教員研修会での望遠鏡 操作講習	・ひとみ望遠鏡操作体験 ・屈折望遠鏡操作講習	20
8	31	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座④	・ひとみ望遠鏡システム ～望遠鏡の仕組みと性能～	15
9	28	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座⑤	・星間物質	12
10	26	日	15:00 16:30	観測のための天文学講座⑥	・銀河	14
11	16	日	12:30 16:30	海外電波望遠鏡操作体験	・オーストラリア・パークス天文台の電波望遠鏡遠隔 操作とパルサーの観測体験	44
12	21 27	日 土	12:00 17:00	もしも君が杜の都で天文学者 になったら。。	・ひとみ望遠鏡を使用した天文学者の研究活動体験 プログラム	48
2	15	日	14:00 15:30	観測プロポーザル講習会	・仙台市天文台における「観測」とは ・ひとみ望遠鏡観測機器基礎データについて ・観測プロポーザル（提案書）記入のポイント	6

<展示ツアー内容一覧>

月	日	時間	テーマ	内 容	人数
4	6	11:00	火星が見頃	惑星運行儀→歴史 スキャパレリさん→火星→おすすめの天文 現象 2014	25
		13:30	磁石の力で宇宙を探る!?	小惑星クエストテーブル→隕石→今日の太陽→太陽黒点	10
	13	11:00	仙台藩の観測機器	渾天儀・象限儀・天球儀など	8
		13:30	太陽の高さと季節	地球公転カレンダー→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエ ネルギーの量	6
	20	11:00	展示室から宇宙へ	光る地球儀→惑星模型→太陽系クエストテーブル→銀河クエ ストテーブル	23
		13:30	こども台長とゆく宇宙の旅	光る地球儀→地球公転カレンダー→惑星模型→宇宙の広がり	12
	27	11:00	太陽	惑星運行儀→地球公転カレンダー→星座を探そう	10
		13:30	冥王星の大きさ	惑星模型→太陽系クエストテーブル	1
	29	11:00	太陽	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→地球公転カレンダー	11
		13:30	企画展示「光色の木」の下で	地球公転カレンダー→企画展示「光色の木」	5
	5	11:00	太陽を見よう	外→今日の太陽→太陽	5
		3	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→ 太陽系のひろがり→彗星	19
		4	惑星広場へいってみよう	光る地球儀→惑星模型→太陽黒点→惑星広場（地球、水星、 金星）→日時計	20
		5	展示室から宇宙へ	光る地球儀→惑星模型→テーブル	30
				光る地球儀→惑星模型→テーブル	60
		5	太陽の高さと季節	地球公転カレンダー→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエ ネルギーの量	28
	6	11:00	距離感	光る地球儀→惑星運行儀→大宇宙エリア→ドップラー	32
		13:30	太陽系の広がり	惑星模型→太陽系クエストテーブル	3

月	日	時間	テーマ	内 容	人数
5	11	11:00	太陽	惑星運講義→今日の太陽→惑星模型→地球公転カレンダー	12
		13:30	太陽系の広がり	惑星模型→太陽系クエストテーブル	2
	18	11:00	「光色の木」であそぼう	今日の太陽→企画展示「光色の木」	7
		13:30	見やすい惑星は？	惑星模型→惑星の見頃カレンダー→惑星運行儀	15
	25	11:00	東方最大離隔って何？	惑星運行儀	32
6	1	11:00	太陽を見よう	外→今日の太陽→太陽	20
		13:30	光であそぼう！	企画展示「光色の木」・光であそぼう！	13
	8	11:00	夏至のお話	光る地球儀→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	11
	15	11:00	太陽系	光る地球儀→惑星模型→惑星運行儀→太陽系クエストテーブル	24
		13:30	光であそぼう！	企画展示「光色の木」→光であそぼう！→銀河系の星々→スペクトル	14
	22	11:00	太陽	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→地球公転カレンダー	10
		13:30	「光色の木」であそぼう	今日の太陽→企画展示「光色の木」	10
	29	11:00	展示室から宇宙へ	光る地球儀→惑星模型→惑星軌道テーブル→銀河クエストテーブル	30
		13:30	流れ星と隕石	流星の正体→隕石	9
7	6	13:30	太陽	光る地球儀→惑星模型→太陽関連→オーロラ	10
	13	13:30	宇宙からのメッセンジャー ～富谷隕石 30 周年～	惑星模型→太陽系誕生→隕石コーナー	5
	20	11:00	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	19
		13:30	太陽	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→地球公転カレンダー	15
	21	11:00	流星と隕石	隕石	15
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	12
	27	11:00	流星と隕石のひみつ	流星の正体→隕石	12
		13:30	宇宙から落ちてくるもののひみつ	流星の正体→隕石	20
8	3	11:00	太陽の高さと季節	地球公転カレンダー→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	12
		13:30	仙台藩の観測機器	渾天儀・象限儀・天球儀など	26
	10	11:00	流れ星と隕石のひみつ	流星の正体→隕石	25
		13:30	今年最大の満月	惑星模型→月の満ち欠け→月球儀	26
	17	11:00	隕石ができるまで	光る地球儀→隕石	25
		13:30	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→地球公転カレンダー	20
	24	11:00	富谷隕石	富谷隕石ポスター→富谷隕石→小惑星クエストテーブル	25
		13:30	オーロラ	VI →地球の周りの宇宙→オーロラと大気→オーロラ発生の仕組み→惑星模型	18
	31	11:00	宇宙を見つめる人類	光る地球儀→歴史エリア→宇宙観→年表	7
		13:30	富谷隕石	光る地球儀→惑星模型→流星の正体→クエストテーブル→隕石	10
9	6	11:00	富谷に落ちた隕石の話	惑星模型→富谷隕石→流星の正体	18
		13:30	富谷隕石がやってきた！	流星の正体→隕石	9
	14	13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	2
	15	11:00	太陽の光	惑星模型→太陽	28
		13:30	展示室で宇宙旅行	光る地球儀→惑星模型→クエストテーブル	23
	21	11:00	富谷隕石がやってきた！	流星の正体→隕石	14
		13:30	秋分の日	太陽の高さ→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	2
	23	11:00	富谷隕石がやってきた！	流星の正体→隕石	12
	28	11:00	太陽の高さと季節	自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	3
		13:30	太陽の高さと季節	自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	8
10	6	11:00	皆既月食を見よう①	惑星模型→月食のしくみ→おすすめ天文現象 2014（1 億分の 1 地球と月模型、スケッチブック）	12
		13:30	皆既月食を見よう②	惑星模型→月食のしくみ→おすすめ天文現象 2014（ライト、地球儀、手作り月、スケッチブック）	5

月	日	時間	テーマ	内 容	人数
10	12	11:00	太陽の高さと季節	地球公転カレンダー→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	16
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	15
	13	11:00	月食を振りかえる	光る地球儀→惑星運行→日月食のしくみ	30
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	8
	19	11:00	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→太陽系クエストテーブル→銀河クエストテーブル	22
	26	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	10
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	3
11	2	11:00	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→太陽系クエストテーブル→銀河クエストテーブル	18
		13:30	富谷隕石がやってきた！	流星の正体→隕石	6
	3	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	25
		13:30	季節の変化	光る地球儀→太陽の高さ→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギー	20
	9	11:00	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	6
		13:30	太陽はどんだけかい？	惑星運行儀→太陽系誕生タイムスコープ→惑星模型→土星パネル→太陽パネル→恒星の大きさパネル→恒星とその一生パネル	17
	16	11:00	流星群を見よう！	光る地球儀→隕石→流星	10
	23	11:00	星の動き	光る地球儀→惑星模型→銀河系の星々	25
		13:30	太陽系ツアー	惑星運行儀→惑星模型→隕石→クエストテーブル	13
	24	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	20
		13:30	太陽系ツアー	惑星運行儀→惑星模型→隕石→クエストテーブル	10
	30	11:00	夜空で光って見えるもの	光る地球儀→大気圏の構造→流星→天文現象→恒星の色→恒星とその一生	10
		13:30	太陽	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	9
12	7	11:00	ふたご座流星群	流星の正体→彗星→クエストテーブル→星座をさがそう	10
		13:30	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	10
	14	11:00	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	12
		13:30	流れ星と流星群	光る地球儀→惑星模型→小惑星・彗星→流星の正体→太陽系クエストテーブル→地球公転カレンダー	5
	21	11:00	2015 年おすすめの天文現象	光る地球儀→2015 年おすすめの天文現象→流星→月食	4
		13:30	オーロラを知ろう！オーロラを見よう！	光る地球儀→オーロラ	3
	23	11:00	星の一生	光る地球儀→恒星製造機、恒星の一生	12
		13:30	太陽	光る地球儀→惑星模型→太陽関連→オーロラ	10
	28	11:00	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→クエストテーブル	30
		13:30	2015 年注目の天文現象	おすすめの天文現象 2015 →流星→月食→太陽	12
1	4	11:00	季節の変化	光る地球儀→太陽の高さ→自転軸の傾きと四季	15
	11	13:30	季節の変化	光る地球儀→自転がつくる昼と夜→太陽の高さ→自転軸の傾きと四季	15
	12	11:00	月まで GO !	光る地球儀→月まで GO →月球儀→地球の周りを回る月	30
		13:30	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽断面模型→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	4
	18	11:00	今年注目の天文現象	おすすめ天文現象 2015 →月食	10
		13:30	星の一生	光る地球儀→惑星模型→星の一生	12
	25	11:00	地球から宇宙へ	光る地球儀→惑星運行儀→太陽→クエストテーブル→宇宙地図	29
		13:30	季節の変化	光る地球儀→太陽の高さ→自転軸の傾きと四季	1

月	日	時間	テーマ	内 容	人数
2	8	11:00	誕生日の星座	地球公転カレンダー→星座を探してみよう	17
		13:30	おヒツジ座はいつ見える？	地球公転カレンダー	3
	11	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽断面模型→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	10
		13:30	季節の変化	地球儀→地球公転カレンダー→地軸の傾きと四季	18
	15	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽断面模型→太陽黒点スケッチ→地球公転カレンダー	10
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	8
	22	11:00	流星と隕石	流星の正体→クエストテーブル→隕石	20
		13:30	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→クエストテーブル	30
3	1	11:00	宇宙の雲	光る地球儀→各惑星模型→大宇宙エリア	13
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	22
	8	11:00	月まで GO ！	光る地球儀→月まで GO →月球儀→地球の周りを回る月	12
		13:30	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→クエストテーブル	30
	15	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽断面模型→日食と月食→空の色	12
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	16
	21	11:00	太陽ツアー	自転がつくる昼と夜→太陽の高さ→自転軸の傾きと四季→太陽の高さとエネルギーの量	3
		13:30	今日は春分の日	光る地球儀→惑星模型→自転軸の傾きと四季→太陽の高さ	10
	22	11:00	地球は大きい？	光る地球儀→惑星模型→クエストテーブル	25
	29	11:00	太陽ツアー	惑星運行儀→惑星模型→今日の太陽→太陽断面模型→日食と月食→空の色	15
		13:30	宇宙から落ちてくるもの	光る地球儀→隕石→クエストテーブル→クエストテーブル→太陽系のひろがり→彗星	16
	合 計				

<ワークショップ内容一覧 展示活用>

月	日	曜	時間	タイトル	内 容	人数
毎週		土	15:00 15:20	銀河系の星々	星の位置や距離などを学びながら、銀河系の模型の中に新たに星を加え、少しずつ展示物をつくっていった。	352
6	14	土	9:15 1時間毎	太陽の通り道をたどろう	夏至の日の太陽の影の移り変わりを1時間毎に記録した。	12
毎月 第1日曜日			11:45 12:15	太陽の通り道をたどろう！ ～アナレンマのふしぎ～	継続的に同時刻の太陽の軌跡をたどると見えてくる形を日時計に記録した。	87
7	24	日	13:00 15:00	星座を立体的に見てみる	こと座の立体模型を作成し、星座の星々の距離を調べる自由研究を行った。	5
10	11	土	13:30 14:00	星座を立体的に見てみる	カシオペア座の星々の距離を縮尺で表し、参加者とともに展示用立体模型を作成した。	4
12	27	土	14:00 14:30	星座を立体的に見てみる	オリオン座の星々の距離を縮尺で表し、参加者とともに展示用立体模型を作成した。	10
3	28	土	13:00 15:00	星座を立体的に見てみる	しし座（ししの大がま）の立体模型を作成し、星座の星々の距離を調べる自由研究を行った。	3

<ワークショップ内容一覧 天文普及>

月	日	曜	時間	タイトル	内 容	人数
5	4	日	11:00	MUE Shop ものづくりワークショップ 「偏光板万華鏡」	宮城教育大学天文同好会の皆さんによるテーマ「光」 にちなんだ子ども向けワークショップ	134
	5	月	15:00			
6	21	土	14:00 – 15:20 – 16:50 – 18:00 –	木の実でキャンドルホルダー☆	仙台市野草園の皆さんによる木の実を使っでのキャンドルホルダーをつくるワークショップ	60
7	26	土	10:00 –	投影型ミニプラネ ライト君を つくろう！	スタッフサポーターの皆さんによる「光」にちなんだ夏休み工作教室。自分で調べた星座を暗い部屋の壁に映し出すことができるライト君を作成した。	20
	27	日	13:30 –			
8	2	土	16:00 – 17:00 –	ワークショップ 「my 望遠鏡を作ろう！」	伝統的七夕に実施するイベント「七夕さんの星見会」での手作り望遠鏡のワークショップ	40
2	1	日	10:00 15:00	MUE Shop ものづくりワークショップ 「スターカレンダーをつくろう」	宮城教育大学天文同好会の皆さんによる自分の誕生星座が見える時季を知ることができるカレンダーづくり	44

<企画展・プレショーギャラリー展示一覧>

期間	タイトル	場 所	内 容	協力等
1/4 4/7	企画展 「光の謎を解き明かせ！」	加藤・小坂 ホール	「光」をテーマに体験型実験装置を使って、 学ぶ企画展	日本科学協会
2/1 4/11	仙台天文同好会 天体写真展	プレショー ギャラリー	仙台天文同好会の皆さんによる「光」をテーマ とした天体写真展	仙台天文同好会
4/12 6/29	宇宙物語VI ～そらのものがたり～	プレショー ギャラリー	水彩画イラストレーター はらだかおるさん による「光」をテーマに描くファンタジー イラスト展	はらだかおる
7/1 11/3	富谷隕石特別展示 「富谷隕石がやってきた！」	展示室	落下してから 30 周年を迎える富谷隕石の 期間限定展示	国立科学博物館
7/3 8/26	野草園 × 天文台コラボ企画 「のはらでキラキラ」	プレショー ギャラリー	昆虫や季節の輝きを写した仙台市野草園 による写真展	仙台市野草園
7/19 8/24	企画展「オーロラ」	加藤・小坂 ホール	オーロラの仕組みの解説に加え、オーロ ラ関連研究の最前線など様々な視点から、 その神秘的な世界を紹介する企画展	全国オーロラ講演会、 国立極地研究所
9/1 11/14	宇宙の日作文絵画コンテスト 入賞作品展	プレショー ギャラリー	「宇宙の日作文絵画コンテスト」の入賞者 の作品を展示	日本宇宙フォーラム
11/15 1/18	宙（そら）のまたたき	プレショー ギャラリー	仙台天文同好会 佐藤孝悦さんによる夜空に きらっと光る流れ星の写真展	仙台天文同好会 佐藤孝悦
1/19 4/10	仙台市天文台のあゆみ	プレショー ギャラリー	年表と象徴的な写真で開台から 60 周年を 迎える天文台のあゆみを紹介	
1/24 2/14	星の写真展	観望会 待機室	仙台天文同好会の皆さんによる天体写真展	仙台天文同好会

<プラネタリウム 星空の時間投映内容一覧>

投映者	投映内容
大江宏典	・見頃の2惑星「火星」と「土星」の特徴を比較しながら、クイズ形式でそれぞれの魅力に迫ります。 ・秋といえば月見の季節。ブラッドムーン、ストロベリームーン、ブルームーン、スーパームーンなど、最近話題の〇〇ムーンを集め、その真相に迫ります。 ・今夜の星空案内とともに、春の夜空の大時計「北斗七星」の魅力に迫ります。
亀谷光	・今夜見られる星や星座を探してみましょ。とてもがんばりやさんの「あの虫」と宇宙のつながりも紹介します。 ・仙台から見られる星と南半球で見られる星の違いを紹介します。季節が反対の南半球にはどんな星空が広がっているのでしょうか？
佐々木瑞穂	・日の入りから日の出まで時間とともに移り変わるその日の星空を散歩。季節の星座や見頃の天体を紹介します。
高橋博子	・夜空を動く光の中にはISSの光もあります。その光の中に今、若田さんがいます。ISSの見え方と若田さんの最新情報をお伝えします。 ・私と一緒に星空をのんびりと散歩しましょう。太陽系誕生の物語を教えてくれる星のことも探してみます。 ・私と一緒に星空をのんびりと散歩しましょう。北の空の北極星を探すとわかることも一緒に体験してみましょ。
仲千春	・地球の兄弟の星、惑星。肉眼で眺めることができるものは全部で5つありますが、いつどのように見えるのでしょうか。今日は惑星の見える日についてご紹介します。 ・みなさんと一緒に旅行気分散歩に出かけましょ。そして満天の星の下では天の川や流れ星をお楽しみ頂きます。 ・今夜一晩中空を眺めていたらどんな星や星座たちに出会えるのでしょうか。「季節」をキーワードにしてご紹介します。 ・空を眺めた時に、星に色があると感じたことはありませんか？今回は星の色に注目しながら星空を散歩していきましょう。またこの春おすすめの色の違いがわかりやすい2つの星についてもご紹介します。
長谷川哲郎	・夏場は星を見やすい季節です。夕涼みの星空散歩にちょっとだけ知っとくと楽しい情報をあわせてお送りします。 ・1月は星が美しく見える季節です。星空散歩をしながら、変光星について簡単にお話します。
松下真人	・いくつかの星に注目して、日々移り変わっていく星空と、星々のめぐり合いの場を紹介していきます。 ・いつもより流れ星がたくさん流れる日があるのはなぜでしょう。これから見頃を迎える流星群について、その仕組みを紹介します☆彗 ・北極星探しの方法としてよく知られた星の並びがいくつかあります。街中でも見つけやすい冬の明るい星々から北極星を見つける方法も紹介します。
松田佳奈	・星空を散歩しながら、道しるべになる星たちを探します。でも、星空はずっと変わらないのでしょうか？ずっと先の未来の星空へ足をのばしたしかめてみましょ。 ・自分の誕生星座を星空で見たことがありますか？丸1日の空を眺めながら、誕生星座の見やすい時期、12星座の決め方などを紹介します。 ・今夜の星空を散歩しながら見頃の星や星座を探ましょ。さらに後半は、「宇宙の仲良し星」をテーマにご紹介します。
溝口小扶里	・この春、火星が地球に接近中！今夜の星空とともに、火星の楽しみ方をご紹介します。 ・夏といえばキャンプ！夏の星空の中にはバーベキューや川遊びなど、キャンプの魅力がいっぱい。今夜、一緒に星空キャンプに出かけましょ！ ・街中が光り輝くこの季節。クリスマスツリーののっぺんに輝く星は何を意味しているのでしょうか。夜空を彩るクリスマスにまつわる星たちを紹介します。 ・今年の干支は「未」！毎年変わる干支とある星との間には深い関係が…。今夜見える星たちと、干支にまつわる話をご紹介します。 ・今夜の星空と4月4日に起こる皆既月食の楽しみ方をご紹介します。観察のポイントは？そして月食のとき、もしも月にいたとしたら…？

(天文台ウェブサイト掲載原文)

<プラネタリウム 天文の時間投映内容一覧>

投映期間	タイトル	内 容
6/1 12/28	見えない宇宙をさぐる ダークユニバース	最先端の天文学は「見える宇宙」から「見えない宇宙」へ。近年、宇宙のほとんどをダークマターやダークエネルギーといった正体不明の見えない何かが占めていることがわかってきている。謎に満ちた宇宙を探る番組を投映。プレショーでは、天文台で観測したデータを使いながら、天体の観測方法と観測意義について紹介した。

<プラネタリウム こどもの時間投映内容一覧>

投映期間	タイトル	内 容
4/1 6/29	プラネくんとあそぼう！ ～星空動物園～	前半は今夜の星空案内、後半はプラネくんが登場。プラネくんと一緒に星座になっている動物たちと普通の動物園にいる動物たちの違いを探し、そのわけを動物たちから聞きながら、動物星座の神話にも触れた。
7/5 10/26	おじゃる丸 銀河がマロを呼んでいる ～ふたりのねがい星～	おじゃる丸とカズマが銀河鉄道に乗って「ねがい」を叶える旅に出る。家族そろって楽しめる物語を見る前には、おじゃる丸クイズや観客の皆さんの夢を聞いたり、天の川沿いの星座の予習を行ったりした。
11/1 12/24	プラネくんとあそぼう！ ～オリオンのひみつ～	前半は今夜の星空案内、後半はプラネくんが登場。プラネくんが大好きなオリオン座が星空にいないことに気づき、スタッフや観客の皆さんと一緒にオリオンさんを探しにいく。オリオンさんの正体は？クリスマスにちなんだ内容で、ステージ上のクリスマスツリーも点灯し雰囲気盛り上げた。
12/25 3/22	プラネくんとあそぼう！ ～クイズスペシャル・冬～	プラネくんから出題される冬の星空についてのクイズに挑戦してもらった。頑張ってクイズに答えてくれた子どもたちには、最後にプラネくんから満天の星がプレゼントされた。
3/25 3/31	プラネくんとあそぼう！ ～星空動物園～	前半は今夜の星空案内、後半はプラネくんが登場。プラネくんと一緒に星座になっている動物たちと普通の動物園にいる動物たちの違いを探し、そのわけを動物たちから聞きながら、動物星座の神話にも触れた。

<プラネタリウム 音楽の時間投映内容一覧>

投映期間	タイトル	内 容
4/5 5/31	星のこえ～静かなる音楽群～	星の輝く静かな夜、耳を澄ませば聴こえてくるのは、静穏なる星のこえ。21世紀のクラシックと称される<ポストクラシカル>に代表される”静かなる音楽”を満天の星の下で聴くリラクゼーション型プラネタリウム。
6/7 8/30	スター☆アイドル特集	今も昔もキラキラと輝くアイドルたち。星空の下、アイドル全盛期 70-80 年代と今のアイドルたちのキラリと輝くスターソングを特集。
9/6 11/29	STARRY JAZZ	ジャズ喫茶ならぬ、ジャズプラネタリウム。星空の下、ジャズに包まれる空間を作った。
12/6 2/28	天体観測	宇宙や星にまつわる曲を数多く持つ BUMP OF CHICKEN の音楽を BGM に、冬の様々な星を見にでかけるプログラム。

＜独自事業 コラボショー一覧＞

月	日	タイトル	出演者	内 容
5	24	クリスタルボウルの響き 四季の光～春・新緑のきらめき～	安達季久子	水晶のできた楽器クリスタルボウルの響きと、満天の星々に包まれるひととき。
6	7	仙台弁むかし話の星空おはなし会 ～篠笛の子守唄とともに～	さとうまゆみ さとうくみこ	昔話：金ひり馬っこ、犬の目玉、ご飯食わねお方、サルの嫁ご 曲：揺籠のうた、蛙の笛、五木の子守唄、竹田の子守唄
7	26	クリスタルボウルの響き 四季の光～夏・天の川～	安達季久子	天の川の下で、クリスタルボウルの響きと満天の星々に包まれるひととき。
8	16	Piano Lounge ～星と歌声につつまれて～	緒方早紀子	星が姿を現す1日の終わりに、緒方早紀子さんのピアノと透き通った歌声でほっと一息つく、癒しの時間。
10	4	クリスタルボウルの響き 四季の光～秋・月の光～	安達季久子	秋の宵、月の光を感じながら、クリスタルボウルの響きと満天の星々に包まれるひととき。
	11	仙台弁むかし話の星空おはなし会 ～篠笛の子守唄とともに～	さとうまゆみ さとうくみこ	昔話：床前の節穴、がんばれ野郎っこ、こぶとりじんつあん 曲：ゆりかご、七つの子、島原の子守唄、中国地方の子守唄
11	1	シンセサイザーコンサート ～隕石は宇宙のロマン～	高橋泉 佐藤実治	富谷隕石落下30年を記念し開催した、富谷町在住の高橋泉さんのコンサート。シンセサイザーとヴァイオリンのコラボで壮大な宇宙へと誘った。

＜独自事業 シアターショー一覧＞

月	タイトル	内 容
4 5 6	ブラインドマン・ウィズ・スターリーアイズ	英語にチャレンジのプラネタリウム。全編字幕なし・英語版で物語を紹介。日本語訳の冊子を配布。
7 8 9	全天周オーロラ最新映像	全国オーロラ講演会と仙台市天文台主催の無料イベント。南極やアラスカで撮影されたオーロラの最新映像を紹介。
10 11 12	HAYABUSA2 - Return to the Universe -	はやぶさ2のプロジェクトの全容とはやぶさへの人々の思いを紹介。
1 2	89番目の星座	88鍵のピアノの音色と共に88星座の世界を巡る、89番目の光と音を探る旅…。
3	星のこえ～静かなる音楽群～	星の輝く静かな夜、耳を澄ませば聴こえてくるのは、静穏なる星のこえ。21世紀のクラシックと称される＜ポストクラシカル＞に代表される“静かなる音楽”を満天の星の下で聴くリラクゼーション型プラネタリウム。

＜独自事業 イベント一覧＞

月	日	曜	時間	タイトル	出演者	内 容	人数
4	12	土	11:00 18:00	アートユニットuwabami のライブキャラストレー ション『光のオーケストラ』	はらだかおる ムトウアキヒト (アートユニット uwabami)	来場者を「光のオーケストラの楽団員」としてリアルタイムに画面に描き込み、作品をつくるライブペイントパフォーマンス。	282
4	13 29	日 火 祝	13:20 14:20	緒方早紀子ピアノラウンジ 「あの日の夜の星を見つめて」	緒方早紀子	ピアノによる弾き語り。	約90
4	19	土	①16:00 ②17:30 (90分)	八神純子 ポーラストーリー	八神純子	ポーラスター（北極星）をテーマにしたコンサート。	526
4	20	日	11:00 15:00	きみもあなたも「1日子ども 台長」になってみませんか？	仙台市立長町 南小学校4年 鹿野修太郎	科学技術週間（4月18日を含む1週間）にちなんだイベント。天文台台長とともに「1日子ども台長」として天文台の仕事体験。	4

月	日	曜	時間	タイトル	出演者・協力等	内 容	人数	
6	21	土	9:30 21:00	100万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台（夏至）	スタッフサポーター 井上麻美 仙台市野草園 かけらライオ	○キャンドル点灯 ○ワークショップ「KONECAN～こねて 作るミツロウキャンドル～」 ○ワークショップ「木の実でキャンドル ホルダー☆」 ○かけらライオのキャンドルライブ	657	
8	2	土	16:00 21:00	七タさんの星見会	AMBO HIKA	【第一部】 ワークショップ「my 望遠鏡を作ろう！」	40組	
						【第二部】 プラネタリウム特別投映「七タさん」	267	
						【第三部】 星見会と篠笛のタベ	360	
9	13	土	①18:15 ②18:00	遊佐未森天文台コンサート ～銀河歌集 vol.5～	遊佐未森 近藤研二	仙台出身のアーティスト遊佐未森さん による5回目のコンサート。ギター 演奏は近藤研二さん。	446	
	14	日						
10	11	土	13:00 21:00	星空茶会 ～お茶と宇宙を身近に～	茶道裏千家淡交会 宮城青年部	「宇宙・ソラ・星」をテーマにしたお茶 席。星空を眺めながら、テーマに合わ せた茶道具を使用したお抹茶や、お 菓子をいただく。	248	
10	18	土	19:00 22:00	Star Ballad ～星降る夜の音語～	奇妙礼太郎 蔡忠浩 (bonobos) かみぬまゆうたろう 次松大助	若手アーティスト 4 名によるプラネ タリウムライブ	280	
11	22	土	11:30 12:00	こどもの時間スペシャル 「コックピットはエレクトー ン!? Vol.2～音楽で宇宙探 検!キミも宇宙飛行士だ!～」	竹野靖子	歌や手遊びを交えた親子で楽しめる エレクトーンコンサート	477	
	23	日						
	24	月・祝						
12	20	土	17:00 20:30	100万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台（冬至）	スタッフサポーター 安達喜久子 井上麻美	○ライトダウンとキャンドル点灯 ○クリスタルボウルの響き 四季の光 ～冬・キャンドルの灯～	392	
1	31	土		天文台まつり 2015		開台 60 周年を記念し、60 周年にち なんだ特別イベントを多数開催。	7,750	
2	1	日						
合 計								10,303

< 定期観望会・定期移動観望会参加人数 >

月	主な観望天体	定期観望会		定期移動観望会	
		人数	前年度 (%)	人数	前年度 (%)
4	木星 土星 M81 M82	271	347.4	160	70.2
5	火星 アルギエバ M3 M51	154	67.2	279	43.1
6	土星 火星 プルケリマ M3	69	160.5	638	204.5
7	土星 ラス・アルゲティ M13 M57	253	2,530.0	1,129	88.3
8	ダブルダブルスター アルビレオ M13 M57	125	45.6	340	21.2
9	海王星 アルビレオ M27 M57	208	128.4	193	103.8
10	天王星 海王星 M15 M27	166	207.5	1,904	1,277.9
11	天王星 海王星 M15 M31	61	22.5	748	82.7
12	天王星 h-χ M31	72	109.1	470	110.6
1	木星 すばる R Lep M42	276	159.5	111	70.3
2	木星 R Lep M42	159	214.9	103	542.1
3	木星 M1 M42 アルギエバ	219	158.7	84	95.5
合 計		2,033	127.2	6,159	102.7

< 定期移動観望会出動先 >

月	日	曜	出動先	月	日	曜	出動先
4	4	金	勾当台公園	9	12	金	榴岡公園
	11	金	七北田公園		19	金	中田市民センター
	18	金	寺岡市民センター		26	金	松陵2丁目子供会
5	2	金	勾当台公園	10	3	金	勾当台公園
	9	金	榴岡公園		8	水	勾当台公園 (特別観望会「皆既月食をみよう!!」)
	16	金	泉区中央市民センター		10	金	七北田公園
	30	金	大和町公民館 (まほろばホール)		14	火	中山中央子供会
6	1	日	キッズウォークラリー		17	金	東部市民センター
	3	火	泉岳少年自然の家		19	日	宮城野区区民祭り
	6	金	勾当台公園 (雨天予報中止)		24	金	花京院子子供会
	10	火	泉岳少年自然の家	11	4	火	利府十符風の音
	13	金	七北田公園		7	金	勾当台公園
	20	金	宮城野区中央市民センター		9	日	PTA フェスティバル
7	27	金	多賀城市八幡下一公民館		14	金	榴岡公園
	4	金	勾当台公園		21	金	根白石市民センター
	11	金	榴岡公園		28	金	秋保小学校 PTA 研修会
	18	金	富沢市民センター	12	2	火	宮城野児童館
	19	土	上愛子小学校		5	金	袋原小学校
	20	日	サイエンスディ		12	金	七北田公園
	24	木	南吉成小学校		15	月	仙台三桜高等学校
	25	金	野草園		19	金	高森市民センター
8	30	水	西中田小 PTA 栗東地区子供会 4 班		26	金	六郷児童館
	1	金	勾当台公園	1	9	金	榴岡公園
	5	火	将監西小学校		16	金	七郷市民センター
	8	金	七北田公園 (雨天予報中止)		23	金	杜の広場公園
	12	木	ララガーデン長町	2	13	金	七北田公園
	15	金	名取市文化会館		20	金	三本松市民センター
	22	金	名取市本町こども会	3	6	金	榴岡公園
9	29	金	立町小学校		13	金	榴岡公園
	5	金	八木山南小学校 PTA		20	金	茂庭台市民センター

< 定期観望会以外の開催内容 >

月	日	曜	種別	内 容	開催場所	人数
5	10	土	臨時移動観望会	錦ヶ丘地区の住宅販売イベント 『第 21 回春のイエ・コレ』への参加 ワークショップや太陽観望を実施	錦ヶ丘 4 丁目	136
7	7	月	臨時移動観望会	仙台市蒲鉾組合主催の『笹かま食べて星に願いを』 イベントへ参加	勾当台公園	19
8	2	土	その他の天体観望会	天文台主催イベント『七夕さんの星見会』内で実施	天文台惑星広場	360
11	3	月	昼間の観望会	東北文化の日開催 曇天時には望遠鏡案内も実施	天文台	213
1	31	土	昼間の観望会	天文台まつりにて開催 悪天候時にはバックヤードツアーや望遠鏡案内を実施	天文台	308
2	1	日	昼間の観望会	天文台まつりにて開催 悪天候時にはバックヤードツアーや望遠鏡案内を実施	天文台	466

< 観察室講習会・ミーティング一覧 >

月	日	曜	時間	内 容	参加者とライセンスに関して
6	29	日	19:00 20:30	第 1 回ユーザーズミーティング	参加者 10 名, うち 7 名がライセンス更新
9	28	日	19:00 20:30	第 2 回ユーザーズミーティング	参加者 8 名, うち 4 名がライセンス更新
11	23	日	15:00 17:30	ライセンス A 講習会	受講者 10 名, うち 7 名にライセンス付与
12	7	日	19:00 20:30	第 3 回ユーザーズミーティング	参加者 10 名, うち 7 名がライセンス更新
12	21	日	16:00 19:00	ライセンス B 講習会	受講者 5 名, うち 4 名にライセンス付与
3	29	日	19:00 20:30	第 4 回ユーザーズミーティング	参加者 14 名, うち 10 名がライセンス更新

< 講座・講演会・大学連携内容一覧 >

月	日	曜	タイトル	場所	内 容	講師等	人数
4	26	土	アースデイ講演会 「地球温暖化の現状－ IPCC 第 5 次評価報告書より－」	オープ ンス ペース	アースデイ「地球のことを考 える日」にちなみ、温暖化に対 する分析の内容や、今後の温暖 化の推移の予測について解説 した。	東北大学大学院 理学研究科教授 花輪 公雄	45
5	24	土	東北大学 × 仙台市天文台 雷神 2 打ち上げパブリック ビューイング	オープ ンス ペース	東北大と北海道大が開発を 行った「雷神 2」打上げのライ ブ中継に加え、開発担当者によ る解説も実施した。	東北大学大学院 工学研究科教授 吉田 和哉	120
9	21	日	宮城教育大学 & 仙台市天文台 PRESENTS ロビーコンサート in 仙台市天文台 vol.13 ～星に向かって天駆けるファン タジーの翼～	オープ ンス ペース	宮城教育大学の学生や OB、先 生方によるロビーコンサート。	宮城教育大学 音楽教育講座教授 吉川 和夫	120
9	28	日	宇宙の日作文絵画コンテスト 表彰式・講演会	加藤・小 坂ホール	宇宙の日作文絵画コンテスト 表彰式開催に伴い、今年のコン テストテーマ「宇宙たんけん」 について話した。	天文台長 土佐 誠	48
11	15	土	すばる望遠鏡公開講演会 2014「すばる望遠鏡、宇宙 へのまなざし。」 (1)「すばる望遠鏡の見た最新 の宇宙」 (2)「銀河の誕生－すばる望 遠鏡で観る宇宙の夜明け」 (3)「宇宙の謎に挑む大型望 遠鏡すばると、もっと大き な望遠鏡 TMT」	オープ ンス ペース	国立天文台すばる望遠鏡に よる様々な成果や、口径 30 メートルの巨大望遠鏡 TMT 計画についてお話をした。	国立天文台ハワイ観測所 所長 有本 信雄 東北大学大学院 理学研究科教授 山田 亨 国立天文台 TMT 推進室 室長 白田 知史	142
11	29	土	スペースラボ in 仙台市天文台 光の速さに近づくと。。	加藤・小 坂ホール	耳で感じる音や目で感じる光 にも速さがある。では、その 速さはどれぐらいなのだろう か？身近なものから速さの世 界を調べた。	宮城教育大学 理科教育講座准教授 内山哲治	18

月	日	曜	タイトル	場所	内 容	講師等	人数
11	30	日	スペースラボ in 仙台市天文台 ー光と地球と植物とー	加藤・小坂ホール	地球上の生き物は、太陽の光エネルギーを利用して生きている。不思議探検隊と一緒に植物が行う光合成の謎を解き明かした。	宮城教育大学 理科教育講座准教授 小林恭士	13
12	13	土	宮城教育大学&仙台市天文台 PRESENTS ロビーコンサート in 仙台市天文台 vol.14 見えるよ冬のお星さま、聴こえるよお星さまのうた	オープンスペース	宮城教育大学の学生やOB、先生方によるロビーコンサート。	宮城教育大学音楽 教育講座教授 吉川和夫、倉戸テル	100
12	14	日	スペースラボ in 仙台市天文台 太陽電池を作ろう！	加藤・小坂ホール	「色素増感太陽電池」でどのように発電ができるのかを体験し、太陽の光の力を実感した。	宮城教育大学 理科教育講座教授 笠井香代子	41
12	20	土	スペースラボ in 仙台市天文台 エネルギーってなんだろう？	加藤・小坂ホール	分かるようで分からない見えるようで見えないエネルギーについて、エネルギーの大きさを中心に調べた。	宮城教育大学 理科教育講座准教授 内山哲治	10
12	21	日	プラネタリウム全天周オーロラ映像&スペシャルトーク 「オーロラとわたしたち生命」	プラネタリウム	オーロラをドームスクリーンに投映し、解説を聞きながら、私たちの生命とその周りの宇宙環境について、地球と火星とを比較しながら改めて考えた。	東北大学大学院 理学研究科助教 中川広務	130
2	1	日	アンドロメダファンタジー タクティクス	展示室	天体カードを使っているいろいろな人と対戦し、勝つと相手のカードをもらうことができるカードゲーム。天文台まつり内で実施した。	東北大学天文学専攻の 学生	360
2	1	日	プラ板 de プラネタリウム	実験室	プラ板に星座の絵をトレースしたキーホルダーを作るワークショップ。天文台まつり内で実施した。	東北大学天文学専攻の 学生	105

(敬称略)

<トワイライトサロン内容一覧>

回	月	日	タイトル	ホスト&ゲスト	人数
288	4	5	回転する銀河	土佐台長	12
289		12	火星接近（その3）火星人はいるのか？	土佐台長	34
290		19	北極星・ポラリスの真実	土佐台長	44
291		26	南十字星を見に行こう！	土佐台長	30
292	5	3	双子の星、連星	土佐台長	36
293		10	火星の夕日はなぜ赤い？	土佐台長	24
294		17	太陽の近況 ごきげんいかがですか？	土佐台長	35
295		24	水星を見よう！	土佐台長	21
296	6	31	惑星大集合	土佐台長	35
297		7	太陽の光と影—吸収線の発見 1826年6月7日 フラウンホーファー没	土佐台長	22
298		14	土星をみよう	土佐台長	20
299		21	夏至 太陽の通り道	土佐台長	45
300	7	28	見えない宇宙の謎 ダークマターって何？	土佐台長	29
301		5	隕石はどこからきたの？	土佐台長	53
302		12	太陽の通り道をたどる—アナレンマ	土佐台長	33
303		19	オーロラ	土佐台長	58
304	8	26	夏の星空天の川を見よう	土佐台長	37
305		2	「七夕の星」	土佐台長	50
306		9	トワイライトサロン 300回達成記念 「集まれ！未来の天文学者～土佐少年が天文台長になるまで～」	土佐台長	75
307		16	光と宇宙 星の光が私たちに届くまで	土佐台長	52
308	9	23	宇宙の花火	土佐台長	65
309		30	オーロラの謎をときほぐす	土佐台長	48
310		6	中秋の名月を楽しむ 2014	土佐台長	42
311		13	光と宇宙・偏光—天体の磁場をはかる	土佐台長	51
312	10	20	超巨大望遠鏡の時代 —なぜ大きな望遠鏡を作るの？	土佐台長	41
313		27	脈打つ星 脈動変光星	土佐台長	38
314		4	皆既月食 そのとき宇宙で何がおこっているのか	土佐台長	16
315		11	宇宙をかきまぜる	土佐台長	20
316	11	18	銀河の渦巻きを解き明かす	土佐台長	21
317		25	支倉常長出帆の夜	土佐台長	32
318		1	隕石の故郷を訪ねて	土佐台長	31
319		8	星はすばる プレアデス星団の天文学	土佐台長	31
320	12	15	最果ての惑星 天王星・海王星を訪ねる	土佐台長	53
321		22	アルマ望遠鏡は見た！惑星誕生の現場・おうし座 HL 星	土佐台長	35
322		29	南アフリカの星空	宮城教育大学 教育学部理科教育 講座准教授 西山 正吾	50
323		6	冬の星空探検	土佐台長	38
324	1	13	ふたご座流星群を見よう	土佐台長	40
325		20	クリスマスの星—三博士を導いた星の正体は？	土佐台長	65
326		27	ケプラー先生 12月27日・誕生日おめでとう！ 惑星はどう運動するの？	土佐台長	38
327		10	今年の天文現象 2015年	土佐台長	45
328	1	17	高校生が仙台市天文台で天文学者になった1週間	東北大学学際科学 フロンティア 研究所助教 田中 幹人	34
329		24	エジプトと暦	北海道教育大学 名誉教授 長谷川俊雄	51
330		31	仙台市天文台の過去・現在・未来☆—60年の歩み	土佐台長	45

回	月	日	タイトル	ホスト＆ゲスト	人数
331	2	7	木星接近	土佐台長	35
332		14	星座の起源	土佐台長	45
333	3	21	地球照—地球が月を照らすとき	土佐台長	45
334		28	銀河がであうとき—相互作用する銀河	土佐台長	52
335		7	大きい月、小さい月	土佐台長	37
336		14	星を測って大航海 六分儀の仕組みと歴史	土佐台長	34
337		21	太陽の通り道 アナレンマのふしぎ—半年間の成果	土佐台長	40
338		28	4月4日皆既月食 月の満ち欠けと食	土佐台長	42
合 計					2,005

(敬称略)

<撮影・収集した天体・現象一覧>

撮影月	撮影日	撮影・収集した天体・現象
4	15	部分月食
	25	太陽×フレア出現
8	12	ペルセウス座流星群
	13	
9	28	土星食
10	8	皆既月食
	24	太陽肉眼黒点出現
11	10	火球出現
12	4	火球出現

撮影月	撮影日	撮影・収集した天体・現象
12	11	火球出現
	14	ふたご座流星群
1	9	水星、金星が並ぶ
	12	
	13	
	24	ラブジョイ彗星
2	21	月、金星、火星が並ぶ
3	23	月、金星、火星が並ぶ

<取材件数一覧>

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
テレビ	0	7	0	6	2	3	9	0	1	3	2	3	36
ラジオ	3	2	2	2	3	4	3	2	2	5	2	3	33
新聞	13	9	7	5	17	7	8	3	12	12	7	5	105
雑誌など	15	6	17	11	13	8	11	11	12	10	6	9	129
ウェブ	14	18	13	15	17	17	21	14	19	25	16	21	210
合 計	45	42	39	39	52	39	52	30	46	55	33	41	513

<各種媒体での紹介一覧 テレビでの紹介>

NO	放送月日	放送局名	番組名	放送された概要（紹介概要）
1	5	2 TBS テレビ	報道局「Nスタ」	火球情報
2		13 NHK仙台放送局	ひるはび	台長出演
3		24 東北放送	ニュース番組	「雷神2」打ち上げパブリックビューイングの様子
4		24 宮城テレビ	ニュース番組	「雷神2」打ち上げパブリックビューイングの様子
5		24 仙台放送	FNN ローカル Time	「雷神2」打ち上げパブリックビューイングの様子
6		24 東日本放送	ニュース番組	「雷神2」打ち上げパブリックビューイングの様子
7		24 NHK東北放送	ニュース番組	「雷神2」打ち上げパブリックビューイング開催の告知
8	7/1 7/31	仙台 CATV	みんなのテレビ	イベント「オーロラを体感しよう！」の紹介
9	7	7 東日本放送	スーパーJチャンネル みやぎ	天文情報
10		22 NHK仙台放送局	ひるはび	台長出演
11		22 NHK仙台放送局	てれまさむね	天文情報、夏の自由研究アドバイス

NO	放送月日		放送局名	番組名	放送された概要（紹介概要）
12	7	26	BS JAPAN	NIKKEI プラスワンをみてみよう	施設情報
13		31	東日本放送	三又ノ番組	撮影場所提供
14	8	6	宮城テレビ	OH! バンデス	富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた！」の宣伝
15		27	宮城テレビ	OH! バンデス	遊佐未森天文台コンサートの告知
16	9	1	NHK WORLD	BEGIN Japanology (再放送)	渾天儀の画像
17		3	宮城テレビ	OH! バンデス ※岩手県でも放送	富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた！」の紹介
18		8	NHK仙台放送局	ニュース番組	「200 万人達成記念セレモニー」の紹介
19	10	3	宮城テレビ	OH! バンデス	皆既月食情報
20		7	宮城テレビ	news every.	皆既月食情報
21		8	東北放送	ウォッチン！みやぎ	皆既月食情報
22		8	東北放送	N スタみやぎ	皆既月食情報、イベント会場中継
23		8	NHK仙台放送局	てれまさむね	皆既月食情報、イベント会場中継
24		8	東日本放送	突撃！ナマイキ TV	皆既月食情報（画像提供）
25		8	KFB 福島放送	朝のお天気コーナー	皆既月食情報（画像提供）
26		9	東北放送	ウォッチン！みやぎ	特別観覧会「皆既月食をみよう！！」の様子
27		20	J:COMチャンネル	カラフルJタウン	イベント「星空茶会」の様子
28	12	2	NHK仙台放送局	ひるはび	台長出演
29	1	29	宮城テレビ	OH! バンデス	「天文台まつり」の告知
30		31	東日本放送	ナマイキサタデー	「天文台まつり」の中継
31		31	NHK仙台放送局	ウィークエンド東北	「天文台まつり」の告知
32	2	20	フジテレビ	ニュースジャパン	ペルセウス座流星群の画像提供
33		28	NHK仙台放送局	ウィークエンド東北	震災特別番組「星空とともに」の紹介
34	3	3	NHK仙台放送局	ひるはび	台長出演
35		10	北海道文化放送	スーパーニュースU	震災特別番組「星空とともに」の紹介
36		11	NHK仙台放送局	てれまさむね	震災特別番組「星空とともに」の紹介
37	3	11	NHK 岡山放送局	ニュース番組	震災特別番組「星空とともに」の紹介
38		13	NHK（全国放送）	おはよう日本	震災特別番組「星空とともに」の紹介
39		24	フジテレビ	めざましテレビ	天体画像提供

＜各種媒体での紹介一覧 ラジオでの紹介＞

NO	放送月日		放送局名	番組名	放送された概要（紹介概要）
1	4 月－ 毎月 1 回		fm いずみ	be A-live	イベント情報、天文情報
2	4 月－ 毎月 1 回		ラジオ 3	マイタウンレディオ	イベント情報、天文情報
3	4	24	Date fm	J-SIDE STATION デリラジ	施設情報
4	8	13	エフエムいわぬま	i スマイル 週末情報パーク	富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた！」、スペシャル プラネタリウム「ピアノラウンジ」の紹介
5	9	8	Date fm	J-SIDE STATION	中秋の名月について紹介
6		12	Date fm	AIR JAM Friday	イベント情報、来館者数延べ 200 万人達成について紹介
7	10	28	Date fm	J-SIDE STATION	プラネタリウム、仙台市天文台の歴史について紹介
8	1	26	Date fm	J-SIDE STATION デリラジ	「天文台まつり」の告知

NO	放送月日	放送局名	番組名	放送された概要（紹介概要）
9	1	27	fm いずみ	イベント情報
10		28	エフエムいわぬま i スマイル 週末情報パーク	「天文台まつり」の告知
11		29	Date fm	「天文台まつり」、60 周年の紹介
12	3	6	TOKYO FM	震災特別番組「星空とともに」の紹介
13		11	TOKYO FM	震災特別番組「星空とともに」の紹介
14		30	Date fm J-SIDE STATION デリラジ	皆既月食情報、イベント情報

<各種媒体での紹介一覧 新聞での紹介>

NO	掲載日	新聞社名	紹介記事概要
1	4 月－ 毎月不定期	河北新報 夕刊	イベント情報
2	4	11	河北新報 夕刊
3		26	日本経済新聞 別刷り 「日経プラスワン」 何でもランキング
4		28	河北新報 朝刊
5		28	河北新報
6	5	21	朝日新聞 朝刊折込ミニコミ誌 「あさねっとよこはま」 6月号コラム
7		25	読売新聞 朝刊
8		25	毎日新聞 朝刊
9	5	25	河北新報 朝刊
10		26	河北新報 夕刊
11	6	30	河北新報 夕刊
12	7	24	河北新報 朝刊
13		28	河北新報 夕刊
14	8	1	河北新報 朝刊
15	8月7日号	河北ウィークリーせんだい	天文情報、プラネタリウム情報
16	8	18	河北新報 夕刊
17		20	河北新報 朝刊
18		23	読売新聞 朝刊
19		23	河北新報 朝刊
20		25	河北新報 夕刊
21	9月号	月刊かほピョンくらぶ	ユニークベニューイベント情報
22	9	3	河北新報 夕刊
23		9	河北新報 朝刊
24		9	読売新聞 朝刊
25		29	河北新報 夕刊
26	9月	読売新聞	特別観察会「皆既月食をみよう！！」イベント告知
27	10	9	産経新聞 朝刊
28		9	河北新報 朝刊
29		10	毎日新聞 朝刊
30		27	河北新報 夕刊

NO	掲載日	新聞社名	紹介記事概要
31	11 17	河北新報 夕刊	天文台コーナー宇宙散策 第 64 回「今夜から「しし座流星群」
32	3	河北新報 夕刊	までいに街いま 愛子特集 施設情報
33	10	河北新報 夕刊	河北抄コーナー天文情報
34	12 18	河北ウィークリーせんだい	イベント「100 万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台」の紹介
35	21	日刊スポーツ	イベント「100 万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台」の様子
36	22	河北新報 夕刊	天文台コーナー宇宙散策 第 65 回「朔旦冬至」
37	6	河北新報 朝刊	「仙台市天文台の日」記念日認定の紹介
38	29	河北ウィークリーせんだい	開台 60 周年情報, 「天文台まつり」の紹介
39	1 26	河北新報 夕刊	天文台コーナー宇宙散策 第 66 回「きらめく「歳星」
40	27	読売新聞 朝刊	開台 60 周年情報, 「天文台まつり」の紹介
41	30	河北新報 朝刊	「天文台まつり」の紹介
42	1	朝日新聞 朝刊	開台 60 周年情報
43	2 2	河北新報 朝刊	開台 60 周年記念セレモニーの様子
44	23	河北新報 夕刊	天文台コーナー宇宙散策 第 67 回「わずかな違いの「スーパームーン」
45	4	朝日新聞 東京版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
46	4	朝日新聞 多摩版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
47	5	河北ウィークリーせんだい	震災特別番組「星空とともに」, 開台 60 周年の紹介
48	6	東京新聞	震災特別番組「星空とともに」の紹介
49	6	山陽新聞 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
50	7	河北新報 夕刊	天文台コーナー宇宙散策 第 68 回「来月の皆既月食どんな色？」
51	7	朝日新聞 神奈川版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
52	7	毎日新聞 岡山版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
53	7	読売新聞 阪神版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
54	8	山陰中央新聞 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
55	11	毎日新聞 東京版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
56	11	産経新聞 和歌山版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
57	12	山陽新聞 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の感想
58	16	毎日新聞 岡山版 朝刊	震災特別番組「星空とともに」の感想

< 各種媒体での紹介一覧 雑誌などでの紹介 >

NO	掲載・発行・発売日	雑誌名	紹介記事概要
1	4 月－ 定期的に掲載	月刊「子供の科学」	イベント情報
2	4 月－ 定期的に掲載	月刊「星ナビ」	イベント情報
3	4 月－ 定期的に掲載	月刊「天文ガイド」	イベント情報
4	4 月－ 定期的に掲載	月刊「博物館研究」	イベント情報
5	4 月－ 定期的に掲載	せんだいタウン情報誌「S-style」	イベント情報
6	4 月－ 定期的に掲載	待ナビプレス仙台	イベント情報
7	4 月－ 定期的に掲載	月刊「ままぱれ」	イベント情報
8	4 月－ 定期的に掲載	ぱど	イベント情報

NO	掲載・発行・発売日	雑誌名	紹介記事概要
9	4月－ 定期的に掲載	Book!Book!Sendai イベントカレンダー「Diary」	イベント情報
10	4月－8月 定期的に掲載	Gooday	イベント情報
11	4月発行	小学校社会科副読本『わたしたちのまち仙台』	施設情報
12	4月発行	伊達 fan	施設情報・イベント情報
13	4月10日発行	『くらべてわかる科学小事典』(大月書店)	コロナとプロミネンス画像の掲載
14	4月発行	平成26年度宮城県教育旅行ガイドブック	施設情報
15	第24号 (4月5日発行)	まなびのめ	イベント「アースデイ講演会」の紹介
16	4月発行	るるぶ特別編集 仙台・秋保・作並2014春夏版	施設情報
17	5月号	Luccica	イベント情報、天文情報
18	vol.21 (4月発行)	ハートヒルズ錦ヶ丘タウンガイド「SEASONS」2014	施設情報
19	5月20日号	地下鉄情報誌「ちかてつさんぽ」	移動天文台情報
20	6月発行	ポプラディア大図鑑 『WONDA 自動車・飛行機・船』(ポプラ社)	移動天文車ベガ号の紹介
21	2014年7月号	じゃらん家族旅行 関東・東北版	施設情報・クーポン券
22	6月5日発行	イエローハット会員向け情報誌 「Y-avenue イエロー・アベニュー」	天文情報
23	6月12日発行	別冊宝島『完全保存版 徳川家のすべて』 (株式会社宝島社)	渾天儀画像の掲載
24	6月25日発行	秋田子育てナビ「ママファミ」	施設情報
25	6月発行	『はたらく車のしくみ・はたらき・できるまで④』 (電子書籍版)	移動天文車ベガ号の紹介
26	6月発行	SMMA イベントスケジュール	年間イベント情報
27	6月下旬	学都仙台宮城サイエンスマップ2014	イベント情報
28	6月末発行	プラネタリウムジャーナル	オリジナルキャラクター「プラネくん」の紹介
29	8月号	VIPCAR	施設外観を利用したの撮影
30	7月1日発売	週刊アスキー	プラネタリウム天文の時間「見えない宇宙をさぐる ダークユニバース」の紹介
31	7月発行	JAXA びあ	施設情報
32	7月9日発行	東京女子旅倶楽部 仙台版	施設情報
33	7月発行	『宇宙施設に行ってみよう!』(株式会社童夢)	所在地、天体観望会の紹介
34	7月発行	観光・食事施設情報誌(株式会社旅行出版社)	施設情報
35	415号 (7月15日号)	東北大学新聞	台長インタビュー「働くこととは」
36	8月号	広報とみや	富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた!」の紹介
37	9月号	日経サイエンス 特別付録「親と子の科学の冒険」	「のはらでキラキラ」展示の紹介
38	8月1日発行	じゃらん 関東・東北版	施設情報
39	8月号	全科協ニュース	イベント情報
40	9月号	全科協ニュース	ソーシャルメディア利用の紹介、富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた!」の紹介
41	9月24日発行	るるぶ特別編集仙台・秋保・作並2014秋冬版	施設情報
42	9月中旬	平成26年度下期 コンベンションカレンダー	イベント情報
43	第26号 (10月5日発行)	まなびのめ	トワイライトサロン、富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた!」の紹介
44	10月1日発行	an an	特別観覧会「皆既月食をみよう!!」の紹介

NO	掲載・発行・発売日	雑誌名	紹介記事概要
45	10月下旬発行	慶長使節 400 年記念誌「航」	トワイライトサロンの紹介
46	11月7日発行	『江戸300藩 物語藩史 北海道・東北篇』(洋泉社)	渾天儀画像掲載
47	11月	仙台国際センターだより	施設情報
48	11月号	トランヴェール	天球儀画像掲載
49	11月6日発行	SMMA ミュージアムユニバースイベントチラシ	イベント参加情報
50	11月19日発行	河北ウィークリージュニア	スペシャルプラネタリウム「HAYABUSA2」の紹介
51	11月20日発行	『なるほど知図帳日本 2015』(昭文社)	施設情報
52	11月28日号	週刊オーレ	イベント「100万人のキャンドルナイト in 仙台市天文台」の紹介
53	12月	スカイマーク機内誌	移動天文台情報
54	12月	平成26年度版 青葉区ガイド	施設情報
55	12月	SMMA 外国人向けパンフレット	施設情報
56	12月1日発売	関東・東北じゃらん	施設情報
57	12月1日発行	仙台国際センターだより冬号(外国語版)	施設情報
58	12月	青葉区ガイド	施設情報
59	12月号	Kappo	「天文台まつり」の紹介
60	NO.41 (12月20日発行)	日本観光情報誌「旅楽」	「天文台まつり」の紹介
61	1月号	泉・富谷の無料タウン誌「MOCO」	移動天文台情報
62	1月21日発行	『明日からやる気が出る! 星空名言集』(宝島社)	プラネタリウム情報
63	1月30日発行	仙台ミュージアム情報誌「旬の見験楽学便」	施設情報・イベント情報
64	2月	秋保温泉 華乃湯ちらし	施設写真
65	2月号	ことぶき	観察室・望遠鏡利用資格講習会の紹介
66	2月16日発行	まっぶる 家族でおでかけ 東北'16	施設情報
67	3月号	ママと園児の情報誌「あんふぁん 東北版」	施設情報
68	3月18日発行	るるぶ こどもとあそび! 東北'16	施設情報
69	3月19日発行	まっぶる 仙台・松島 宮城'16	施設情報
70	4月号	ハイウェイウォーカー	施設情報 重要文化財画像掲載
71	3月24日発行	るるぶ仙台 松島 宮城'16	施設情報
72	3月31日発行	小学校社会科副読本『わたしたちのまち仙台』	施設情報
73	3月31日発行	仙台コンベンションおもてなしガイド	施設情報, ユニークベニュー情報

<各種媒体での紹介一覧 ウェブサイトでの紹介>

NO	掲載日	サイト名	紹介記事概要
1	4月ー 定期的に掲載	Yahoo 地域情報, JR 東日本旅どき net, じゃらん net	イベント情報
2	4月ー 定期的に掲載	SMMA ウェブサイト「見験楽学」	イベント情報
3	4月ー 定期的に掲載	五藤光学研究所ウェブサイト	イベント情報
4	4月ー 定期的に掲載	伊達に会い隊	イベント情報
5	6月ー 定期的に掲載	Sendai Love Editors facebook	イベント情報
6	4 25	タケヤ交通ウェブサイト	イベント「こどもの日まつり」の紹介
7	5 15	ミヤギイーブックス	スペシャルプラネタリウムコラボショー「仙台弁むかし話の星空おはなし会〜篠笛の子守唄とともに〜」の紹介

NO	掲載日		サイト名	紹介記事概要
8	5	20	東北大学ウェブサイト	「雷神 2」打ち上げパブリックビューイング開催プレスリリース
9		22	河北新報 ONLINE NEWS	「雷神 2」打ち上げパブリックビューイング開催の告知
10		24	TBC Web Magazine Skip!	「雷神 2」打ち上げパブリックビューイングの様子
11		25	読売新聞 YOMIURI ONLINE 宮城版	「雷神 2」打ち上げパブリックビューイングの様子
12	6	19	仙台市広報課 facebook	イベント「100万人のキャンドルナイトin仙台市天文台」の紹介
13		30	毎日新聞 Online	プラネタリウム天文の時間「見えない宇宙を探るダークユニバース」の紹介
14	7	5	伝統的七夕ライトダウン2014ウェブサイト	イベント「七夕さんの星見会」の紹介
15		7	全国同時七夕講演会 2014 ウェブサイト	イベント情報
16	7/24 9/24		楽天トラベルウェブサイト	施設情報
17	8	23	読売新聞 YOMIURI ONLINE 宮城版	富谷隕石特別展示「富谷隕石がやってきた!」の紹介
18	8/25ー配信		ことりっぶ電子ガイドブック	施設情報
19	9/1ー毎月		仙台観光コンベンション協会観光サイト「せんだい旅日和」	仙台市天文台 Facebook サイトの紹介
20	9	5	仙台おさんぽ WEB マガジン「てくてくあおば」	施設情報
21		7	姫路市宿泊型児童館『星の子館』ウェブサイト（皆既月食特設ページ）	皆既月食イベント情報
22		8	東北 NEWS WEB（NHK オンライン）	200 万人達成記念セレモニーの様子
23		12	ビクセンウェブサイト「Scope People」	特別観察会「皆既月食をみよう!!」の紹介
24	10	7	仙台市広報課 facebook	特別観察会「皆既月食をみよう!!」の紹介
25		9	河北新報 ONLINE NEWS	特別観察会「皆既月食をみよう!!」の様子
26	10	9	産経ニュースオンライン	特別観察会「皆既月食をみよう!!」の様子
27		10	毎日新聞 Online	皆既月食画像提供
28		15	河北新報社会員組織 かほピョンくらぶの事務局ブログ	ユニークベニュー「天文台へGO!～秋の夜長のプラネタリウム」の様子
29	11	7	「いい暮らしナビ」ポータルサイト	施設情報
30		28	週間オーレススマートフォンサイト「オレモ」	イベント「100万人のキャンドルナイトin仙台市天文台」の紹介
31	12 月		るるぶ .com	施設情報
32	12	1	トランヴェールウェブサイト	天球儀画像掲載
33		3	河北新報オンラインコミュニティ「までいに街いま」	施設情報
34		4	東北大学大学院 理学研究科理学部ウェブサイト	イベント「オーロラとわたしたち生命」の紹介
35		18	仙台市広報課 facebook	イベント「100万人のキャンドルナイトin仙台市天文台」 「オーロラと私たちの生命」の紹介
36	1 月		JR 行くぜ東北。	施設情報
37	1 月		旅楽.jp	「天文台まつり」の紹介
38	1 月		仙台圏イベント情報ソーシャルサイト「きてけさ in 仙台」	「天文台まつり」の紹介
39	1	6	河北新報 ONLINE NEWS	「仙台市天文台の日」記念日制定の紹介
40		20	泉・富谷の無料タウン誌「moco」	移動天文台情報
41		22	仙台経済新聞	開台 60 周年情報、「天文台まつり」の紹介
42		23	株式会社ビクセンウェブサイト	「天文台まつり」の紹介
43		24	NOBU 高橋ウェブサイト「健幸工房」	「天文台まつり」の紹介

NO	掲載日	サイト名	紹介記事概要
44	1	29 五藤テレスコープウェブサイト	「天文台まつり」の紹介
45		30 SENDAI Magazine	「天文台まつり」の紹介
46		30 河北新報 ONLINE NEWS	「天文台まつり」の紹介
47		30 伊達武将隊ブログ	「天文台まつり」の紹介
48		30 メルマガ発！ウェブサイト「仙台時代」	「天文台まつり」の紹介
49	2	1 日本記念日協会ウェブサイト	「仙台市天文台の日」記念日登録情報
50		2 河北新報 ONLINE NEWS	開台 60 周年記念セレモニーの様子
51		4 SMMA Museum Map (SMMA 外国人向けウェブサイト)	施設情報
52		5 JR 東日本「行くぜ、東北。」×All About (東北紹介インターネット動画)	施設情報
53	3	2 東大和・東村山・武蔵村山のミニメディア 「たまきた情報ボード」	震災特別番組「星空とともに」の紹介
54		3 読売新聞 YOMIURI ONLINE 東京多摩版	震災特別番組「星空とともに」の紹介
55		5 朝日新聞 DIGITAL 東京版	震災特別番組「星空とともに」の紹介
56		6 TOKYO Web (東京新聞ウェブニュース)	震災特別番組「星空とともに」の紹介
57		6 山陽新聞デジタル	震災特別番組「星空とともに」の紹介
58		6 山陽新聞朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
59		6 地震予測検証・地震予知情報 NEWS 防災情報「ハザードラボ」	震災特別番組「星空とともに」の紹介
60		7 朝日新聞 DIGITAL 神奈川版	震災特別番組「星空とともに」の紹介
61		7 朝日新聞朝刊	震災特別番組「星空とともに」の紹介
62		8 山陰中央新聞 ONLINE NEWS	震災特別番組「星空とともに」の紹介
63		8 岡山のグルメ・観光・イベント情報サイト 「さんようタウンナビ」	震災特別番組「星空とともに」の紹介
64		10 宮城の新聞 ウェブサイト	イベント「アースデイ講演会」の紹介
65	3	10 学都「仙台・宮城」サイエンスコミュニティ	イベント「アースデイ講演会」の紹介
66		11 毎日新聞 Online	震災特別番組「星空とともに」の紹介
67		11 NHK オンライン 岡山ニュース	震災特別番組「星空とともに」の紹介
68		11 NHK オンライン てれまさむね動画	震災特別番組「星空とともに」の紹介
69		12 山陽新聞デジタル	震災特別番組「星空とともに」の感想
70		12 山陽新聞デジタル	震災特別番組「星空とともに」の感想
71		13 毎日新聞 Online	震災特別番組「星空とともに」の紹介

<ブレインサポーター一覧>

NO	氏 名	内 容	委嘱分野
1	伊藤 芳春	聖和学園高等学校 教頭	観測
2	黒須 潔	仙台郷土研究会 理事	仙台藩の天文学史
3	高田 淑子	宮城教育大学教育学部理科教育講座 教授	天文教育普及
4	田中 幹人	東北大学国際高等研究教育機構 助教	観測・天文教育普及
5	千葉 柁司	東北大学大学院理学研究科 教授	天文学
6	長島 康雄	関東学園大学 経済学部 教授	天文教育普及
7	長谷川俊雄	北海道教育大学名誉教授	観測・天文教育普及
8	花輪 公雄	東北大学理事, 東北大学大学院理学研究科 教授	地球物理学
9	福島 邦幸	仙台市立南光台中学校 校長	天文台学習
10	星野 誠	東北放送株式会社 TBC 気象台 気象予報士	気象学・広報
11	山口 晃	東北大学名誉教授	物理学
12	山本 均	東北大学大学院理学研究科 教授	物理学
13	吉田 和哉	東北大学大学院工学研究科 教授	宇宙工学

(敬称略・五十音順)

<オーナーサポーター一覧 企業>

NO	企業名
1	医療法人末武皮膚科
2	NTT 東日本宮城事業部
3	株式会社エルコム
4	株式会社ジャパンビバレッジ東北
5	株式会社スターファイブ
6	株式会社太陽事務機
7	株式会社ビクセン
8	株式会社渡辺教具製作所
9	キーン・ジャパン合同会社
10	Six Stars Consulting 株式会社
11	タマヤ計測システム株式会社
12	東北フローズン株式会社
13	トウホクメンテナンス株式会社
14	パークサイドインなかむら

(敬称略・五十音順)

<オーナーサポーター一覧 個人>

NO	お名前
1	板垣 さだ子
2	板垣 秀美
3	小野 康花
4	中村 保夫

(敬称略・五十音順)

Ⅳ 資料

1 仙台市天文台条例

昭和四三年三月三〇日

仙台市条例第五号

(設置)

第一条 天文科学に関する学習活動の支援を通じて、人間、地球及び宇宙のつながりについての市民の理解を深めることを目的として、天文台を設置する。

(昭六三, 一二・平一九, 一〇・改正)

(名称及び位置)

第二条 天文台の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
仙台市天文台	仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目二十九番地の三十二

(昭四五, 一・昭六三, 一二・平一九, 一〇・改正)

(事業)

第三条 天文台は、第一条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 一 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体現象の解説
- 二 天文科学に関する観測研究並びに資料の収集、保管及び展示
- 三 天文科学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行
- 四 学校理科教育における天体の観察実習の指導助言
- 五 その他天文科学に関する知識の普及啓発に必要と認められる事業

(昭六三, 一二・平一九, 一〇・改正)

(観覧料)

第四条 天文台を利用しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

2 市長は、別表第一に掲げる区分（特別展を除く。）の利用について、通用期間一年の定期観覧券を発行することができる。

3 前項の定期観覧券を発行する場合の観覧料は、五千円を超えない範囲内で市長が定める。

(平一九, 一〇・全改)

(使用の許可)

第五条 別表第二に掲げる設備を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 天文台の管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

(平一九, 一〇・全改)

(使用料)

第六条 設備の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

(平一九, 一〇・追加)

(観覧料等の返還)

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、天災その他自己の責めによらない事由により利用し、又は使用することができないと市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一九, 一〇・追加)

(観覧料等の減免)

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(平一九, 一〇・追加)

(使用許可の取消し等)

第九条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第五条第一項の許可を取り消し、又は天文台の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第五条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第五条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者)

第十条 教育委員会は、天文台の管理運営上必要と認めるときは、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に天文台の管理を行わせることができる。

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十一条 前条の規定により指定管理者に天文台の管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一 第五条第一項の許可に関する業務

二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務

三 天文台の維持管理に関する業務

四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第五条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十二条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正に天文台の管理を行わなければならない。

(平一九, 一〇・追加)

(委任)

第十三条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一九, 一〇・旧第六条繰下)

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。

(昭和四三年五月規則第二一号で、昭和四三年五月一五日から施行)

附 則 (昭四五, 一・改正) 抄

この条例は、昭和四十五年二月一日から施行する。

附 則 (昭五一, 三・改正)

この条例は、昭和五十一年四月一日から施行する。

附 則 (昭五五, 三・改正)

この条例は、昭和五十五年四月一日から施行する。

附 則 (昭和五八, 三・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和五十八年四月一日から施行する。

附 則（昭六三、一二・改正）抄

この条例は、昭和六十四年四月一日から施行する。

附 則（平九、三・改正）抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成九年四月一日から施行する。

(経過措置の原則)

- 2 次項から附則第十三項までに定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平一九、一〇・改正）

この条例は、市長が定める日から施行する。

(平成二〇年三月規則第五号で、平成二〇年七月一日から施行)

別表第一(第四条関係)

(平一九、一〇・旧別表・全改)

区分		金額（一人につき）	
常設	個人利用	一般	六〇〇円
		高校生	三五〇円
		中学生・小学生	二五〇円
	団体利用	一般	四八〇円
		高校生	二八〇円
		中学生・小学生	二〇〇円
プラネタリウム	個人利用	一般	六〇〇円
		高校生	三五〇円
		中学生・小学生	二五〇円
	団体利用	一般	四八〇円
		高校生	二八〇円
		中学生・小学生	二〇〇円
常設展・プラネタリウム 共通	個人利用	一般	一,〇〇〇円
		高校生	六〇〇円
		中学生・小学生	四〇〇円
	団体利用	一般	八〇〇円
		高校生	四八〇円
		中学生・小学生	三二〇円
天体観望会		一般・高校生	二〇〇円
		中学生・小学生	一〇〇円
特別展			三,〇〇〇円を超えない 範囲内で市長が定める額
備考			
一 団体利用とは、三十人以上の団体による利用をいう。			
二 団体利用においては、三十人に一人の割合で無料とする。			

別表第二(第五条, 第六条関係)
(平一九, 一〇・追加)

区分		金額(一人につき)
観察用望遠鏡	口径四十センチメートル	一,〇〇〇円
	口径二十五センチメートル	五〇〇円
	口径十八センチメートル	五〇〇円
	口径十五センチメートル	三〇〇円

2 仙台市天文台条例施行規則

昭和四三年五月一五日
仙台市教育委員会規則第八号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市天文台条例(昭和四十三年仙台市条例第五号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(平二〇, 四・改正)

(開館時間)

第二条 天文台の開館時間は、午前九時から午後五時まで(土曜日にあつては、午前九時から午後九時三十分まで)とする。ただし、条例第五条第一項の許可(第八条において「使用許可」という。)を受けた者については、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、天文台の開館時間を臨時に変更することができる。

(平二〇, 四・全改)

(休館日)

第三条 天文台は、次の各号のいずれかに該当する日(以下「休館日」という。)は開館しない。

- 一 水曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第七十八号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その直後の休日でない日)
- 二 毎月第三火曜日(その日が休日に当たるときは、その直後の休日でない日)
- 三 十二月二十九日から翌年の一月三日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。

(昭四六, 四・平一四, 一二・平一七, 三・平二〇, 四・平二五, 八・改正)

(遵守事項)

第四条 天文台においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 天文台の建物、設備若しくは資料等を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 火災、盗難、人身事故その他の事故の防止に努めること
- 三 許可を得ないで資料等の撮影、模写等をしないこと
- 四 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 五 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 六 承認を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 七 その他係員の指示に従うこと

(平二〇, 四・全改)

(入館の制限等)

第五条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、天文台への入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二 泥酔者

三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物を携帯し、又は動物（盲導犬その他教育委員会が必要と認めるものを除く。）を伴う者

四 係員の指示に従わない者

五 その他管理上支障があると認められる者

(平二〇, 四・追加)

(観覧手続)

第六条 天文台を条例別表第一に掲げる区分に利用しようとする者は、観覧料の納入の際に観覧券（定期観覧券を含む。第十条において同じ。）の交付を受け、展示室、プラネタリウム室又は大型望遠鏡観測室の入口においてこれを係員に提示しなければならない。

(平二〇, 四・追加)

(定期観覧券)

第七条 条例第四条第二項の定期観覧券に係る観覧料は、別表のとおりとする。

(平二〇, 四・追加)

(使用許可の手続)

第八条 使用許可を受けようとする者は、使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申込書の受付は、使用日に行うものとする。

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用許可証を交付するものとする。

(平二〇, 四・追加)

(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第九条 条例第六条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるとき及び別に定める納期限については、教育長が定める。

(平二〇, 四・追加)

(観覧料等の返還)

第十条 条例第七条ただし書の規定により既納の観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）を返還するときは、交付した観覧券又は使用許可証と引き換えに、観覧料等の全額を返還するものとする。

(平二〇, 四・追加)

(観覧料等の減免)

第十一条 条例第八条の規定により観覧料等の減免を受けようとする者は、減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

(平一五, 九・追加, 平二〇, 四・旧第五条繰下・改正)

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第十二条 条例第十条の規定により指定管理者（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に天文台の管理を行わせる場合における第五条及び第八条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平二〇, 四・追加)

(実施細目)

第十三条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

(平二〇, 四・追加)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(仙台市天文台管理規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

一 仙台市天文台管理規則（昭和三十五年仙台市教育委員会規則第五号）

二 仙台市天文台処務規則（昭和三十五年仙台市教育委員会規則第六号）

附 則（昭四六, 四・改正）

この規則は、昭和四十六年五月一日から施行する。

附 則（昭四七, 三・改正）

この規則は、昭和四十七年四月一日から施行する。

附 則（昭六二, 九・改正）

この規則は、昭和六十二年十月一日から施行する。

附 則（平二, 三・改正）

この規則は、平成二年五月一日から施行する。

附 則（平五, 三・改正）

この規則は、平成五年四月一日から施行する。

附 則（平一四, 一二・改正）

この規則は、平成十五年四月一日から施行する。

附 則（平一五, 九・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平一七, 三・改正）

この規則は、平成十七年四月一日から施行する。

附 則（平二〇, 四・改正）

この規則は、平成二十年七月一日から施行する。

附 則（平二五, 八・改正）

この規則は、平成二十六年四月一日から施行する。

別表（第七条関係）

(平二〇, 四・追加)

区分		金額（一人につき）
個人利用	一般	三, 〇〇〇円
	高校生	一, 八〇〇円
	中学生・小学生	一, 二〇〇円

3 仙台市天文台望遠鏡機材占有利用に関する規約

第1章 総則

第1条（目的）

この規約は、仙台市天文台市民観察室に設置する観察用望遠鏡及び望遠鏡機材の利用（以下「占有利用」という。）に関して必要な事項を定め、占有利用の円滑な運用を行うことを目的とする。

第2条（定義）

この規約において「望遠鏡機材」とは、仙台市天文台（以下「天文台」という。）が所有する次のものをいう。

（1）市民観察室設置観察用望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥、）鏡筒及び架台（以下「望遠鏡」という。）

① 40cm 反射赤道儀 ② 15cm 屈折赤道儀 ③ アストロカメラ（ハイパーポラロイド）

④ アストロカメラ（BRC） ⑤ 15cm 大型双眼鏡（15×40） ⑥ 15cm 大型双眼鏡（15×25）

（2）望遠鏡制御機器

（3）望遠鏡に装着して用いることができるカメラ、観測装置等すべての機材

第2章 望遠鏡利用資格

第3条（望遠鏡を利用できる者）

望遠鏡を利用できる者は、満20歳以上で、屈折望遠鏡及び反射望遠鏡の基本的な仕組み（経緯台・赤道儀等の架台形式を含む）を理解し、組み立て操作できる者であって、仙台市天文台長（以下「天文台長」という。）が認定する次のいずれかの望遠鏡利用ライセンス所持者とする。

（1）望遠鏡利用ライセンスA（以下「ライセンスA」という。）

（2）望遠鏡利用ライセンスB（以下「ライセンスB」という。）

第4条（ライセンスA）

1 前条のライセンスAは、次に掲げる目的で利用できる資格とする。

（1）天体観望

（2）望遠鏡本体に取り付けたカメラ（CCDカメラを除く）を用いた天体撮影

2 ライセンスA所持者が利用できる望遠鏡機材は、次のとおりとする。

（1）市民観察室設置望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥）

（2）各望遠鏡用接眼鏡（アイピース）一式

（3）各望遠鏡用移動式制御装置

（4）カメラボディ

（5）カメラレンズ

（6）各望遠鏡撮影用機材（アダプター・アタッチメント・フィルター）等一式

第5条（ライセンスB）

1 第3条のライセンスBは、次に掲げる目的で利用できる資格とする。

（1）前条第1項に掲げる目的

（2）望遠鏡本体に取り付けた冷却CCDカメラを用いた天体撮影

2 ライセンスB所持者が利用できる望遠鏡機材は、次のとおりとする。

（1）市民観察室設置望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥）

（2）各望遠鏡用接眼鏡（アイピース）一式

（3）各望遠鏡用移動式制御装置

（4）カメラボディ

（5）カメラレンズ

（6）各望遠鏡撮影用機材（アダプター・アタッチメント・フィルター）等一式

（7）冷却CCDカメラ機材一式

第6条（望遠鏡利用ライセンスの取得条件）

1 望遠鏡利用ライセンスを取得するための条件は、次の各号に掲げるものとする。

（1）ライセンスA

（ア）仙台市天文台が実施する「望遠鏡利用資格講習会（ライセンスA）（以下「講習会A」という。）を受講し、実技試験に合格すること

（イ）本規約を遵守することについて同意すること

（2）ライセンスB

（ア）ライセンスAを所持していること

（イ）冷却CCDの基本的な仕組みを理解し、組み立て操作ができること

（ウ）仙台市天文台が実施する「望遠鏡利用資格講習会（ライセンスB）（以下「講習会B」という。）を受講し、実技試験に合格すること

（エ）本規約を遵守することについて同意すること

2 前項各号に規定する講習会の開催日及び内容は、天文台長が別に定める。

第7条（望遠鏡利用ライセンス証の交付）

天文台長は、前条第1項に規定する条件を満たした者に、該当する望遠鏡利用ライセンス証を交付する。

第8条（望遠鏡利用ライセンスの登録）

望遠鏡利用ライセンス証を交付された者は、望遠鏡利用ライセンス登録カードに必要事項を記入し、登録を受けなければならない。また、登録内容に変更が生じた場合は、天文台長に速やかに変更を届け出なければならない。

第9条（望遠鏡利用ライセンスの更新）

望遠鏡利用ライセンスの更新は、望遠鏡利用ライセンス取得日から1年の間ごとに、1回以上、第22条に規定する望遠鏡利用者連絡会（以下「ユーザーズミーティング」という。）に参加した場合に有効期限の一年延長を認める。

第10条（望遠鏡利用ライセンスの停止）

天文台長は、次のいずれかの場合、望遠鏡利用ライセンスを6か月間停止することができる。

（1）第12条第3項に反した場合

（2）所持する望遠鏡利用ライセンスで利用を認められていない望遠鏡機材を利用した場合

（3）他の利用者に対して迷惑行為を行った場合

（4）望遠鏡機材を紛失又は故意に故障若しくは破損させた場合

（5）望遠鏡機材及び利用者の安全に関する天文台職員の指示に反する行為を行った場合

第11条（望遠鏡利用ライセンスの取消）

天文台長は、次のいずれかに該当する場合は、望遠鏡利用ライセンスを取り消すことができる。

（1）第10条の各号に掲げる行為を重ねて行った場合

（2）第9条に規定する望遠鏡利用ライセンスの更新手続きを行わなかった場合

（3）望遠鏡利用ライセンス所持者自らが取り消しを申し出た場合

第3章 占有利用

第12条（占有利用の条件）

1 占有利用できる者は、仙台市天文台条例（以下「条例」という。）第5条第1項に規定する使用許可（以下「使用許可」という。）を受け、且つ、本規約を遵守することに同意した者とする。

2 占有利用に際しては、利用者の中に望遠鏡利用ライセンス所持者がいなければならない。

3 望遠鏡機材の操作は、望遠鏡利用ライセンス所持者が必ずこれを行わなければならない。望遠鏡利用ライセンスを有しない者が操作しようとした場合、利用を共に行う望遠鏡利用ライセンス所持者は、これを制止しなければならない。

4 前条の規定にかかわらず、望遠鏡への冷却CCDカメラの着脱は、天文台職員が行うものとし、天文台職員以外の者にはこれを認めない。

第13条（占有利用日等）

- 1 占有利用日は、毎週土曜日及び天文台長が指定する日とする。
- 2 占有利用することができる時間は、貸出日の17:00～22:15とする。
- 3 天文台長は、特別の事由があると認められる場合は、前項に規定する時間以外の占有利用を認めることができる。

第14条（占有利用の人数）

- 1 占有利用の人数は、利用申請者を含めて望遠鏡1台につき3名までとする。
- 2 天文台長は、特別の事由があると認められる場合は、前項の規定を超える利用人数を認めることができる。

第15条（観察時の居室の利用）

- 1 占有利用を行う者は、観察時に仙台市天文台3階の「観察室」、「制御室」、「観察デッキ」、「観察待機室」、「男女トイレ」及び「給湯室」を利用できるものとする。
- 2 前項に規定する各室の利用時間は、使用許可を受けた時間帯とする。
- 3 第1項に規定する各室の利用にあたっては、室内及び備品に汚損等のないようにし、退室時に利用者が利用開始時の状態に復するものとする。

第16条（占有利用の予約）

- 1 占有利用の予約は、望遠鏡利用ライセンス所持者のみがこれを行うことができる。
- 2 占有利用の予約の手続は、天文台長が別に定める。

第17条（占有利用の申込・審査・許可）

- 1 占有利用の予約者は、仙台市天文台条例施行規則（以下「規則」という。）第8条第1項及び2項の規定に基づき、占有利用日当日に占有利用の申込を行うものとする。
- 2 天文台長は、前項の申込があった場合に、次の項目を審査する。
 - (1) 望遠鏡利用ライセンス所持の状況
 - (2) 利用日時
 - (3) 利用設備及び機器
 - (4) 利用人数
- 3 天文台長は、前項の審査の結果、適当と認める場合は規則第8条第3項に規定する使用許可証を交付するものとする。
- 4 使用許可を受けた者は、使用許可を受けた範囲において占有利用ができる。

第18条（使用責任）

- 1 占有利用者は、その終了にあたり、望遠鏡機材を原状回復するとともに、天文台職員による占有利用終了確認を受けなければならない。
- 2 占有利用時における望遠鏡機材の破損、紛失等の事故については、使用許可を受けた者がその責を負うものとする。ただし、占有利用者の責めに帰すべき事由に該当しないと認められる場合はこの限りでない。

第19条（占有利用の中止）

- 1 次のいずれかの場合、占有利用を直ちに中止し、天文台職員の指示に従わなければならない。
 - (1) 降雨又は降雪が始まった場合
 - (2) 雪や雨などが嵐に乗って飛ばされてきた場合
 - (3) 湿度が95%を超えた場合
 - (4) 風速が15m/秒を超えた場合
 - (5) 落雷の危険がある場合
 - (6) その他、天文台職員から占有利用の中止の指示があった場合
- 2 スライディングルーフを開けて観測準備を行った場合は、その日の占有利用は行われたものとみなす。また、悪天候等の理由で占有利用が行えなかった日についての振替日の設定は行わない。
- 3 突発的な天文現象が起きた場合に、占有利用時間の一部又は全部を、天文台の観測のために使用する場合は、占有利用者と天文台が協議の上、占有利用日を振替えるものとする。

第20条（使用料）

- 占有利用の使用料については条例別表第二に規定するとおりとする。
- 使用料の減免については、仙台市天文台管理運営要綱第7条に規定するとおりとする。

第21条（著作権）

- 占有利用者が望遠鏡機材で撮影した写真・映像・画像等は、撮影者及び仙台市が著作権を有し、仙台市及び仙台市天文台が教育や市民へのサービス提供を目的として利用する場合は、作者の個別の承諾なく、当該著作物を無償で使用する事ができるものとする。
- 占有利用者は、望遠鏡機材で撮影した写真・映像・画像等の使用にあたっては、次の基準に従わなければならない。

使用方法	使用の可否	使用条件
私的かつ著作権を失わない範囲で利用する。	可	天文台のクレジットを表記すること
私的だが、著作権を失う可能性のある利用をする。	不可	
研究目的で利用する。	可	天文台のクレジットを表記すること
営利を目的として利用する。	不可	

- 前項表中の天文台のクレジットの表記方法は、原則として「写真提供：仙台市天文台」とする。

第4章 望遠鏡利用者連絡会（ユーザーズミーティング）

第24条（ユーザーズミーティング）

- 望遠鏡利用ライセンス所持者の望遠鏡に関する技術向上等を図るため、ユーザーズミーティングを開催する。
- ユーザーズミーティングの内容は主として次のようなものとする。
 - 望遠鏡機材の現状
 - 望遠鏡機材の利用方法に関する変更事項等
 - 仙台市天文台に対する要望、意見等の交換
 - その他、望遠鏡利用ライセンス所持者に周知すべき事項
 - 望遠鏡機材の利用に関する技術研修
- ユーザーズミーティングは、年間4回開催する。ただし、必要があると認める場合はこの限りでない。
- ユーザーズミーティングの開催日については、天文台長が別に定める。

第23条（実施細目）

この規約の実施細目は、天文台長が別に定める。

附 則

この規約は、平成20年12月6日から施行する。

平成26年9月12日一部修正。

4 仙台市天文台望遠鏡活用指針

仙台市天文台のミッションを前提とし、市民に開かれた天文台としての伝統と、新天文台の望遠鏡利用を促進するために、社会教育施設としての啓発レベルから、学術研究にも耐えうるレベルまでの幅広い観測要望に応じられるようにする。

具体的な活用内容等は下表の通り。

なお、仙台市天文台における「観測」を以下のように定義する。

『観測とは、天体や宇宙の理解を深めるために、目的と計画を持って天体データ（画像等）を取得し、解析や科学的な考察を加えた結果を報告・発表・公開する一連の作業をいう。』

【利用者分類凡例】

- ・市民A→一般的な関心を持つ市民。マスコミ報道によって関心を持った市民。
- ・市民B→継続的な関心を持つ市民。初心者から愛好者までの天文ファン。
- ・市民C→高い関心を持ち、自主的に活動をしている市民。サークル・天文クラブ員。
- ・市民D→指導者、研究者。

※新天文台望遠鏡仕様等検討委員会作成「新天文台大型望遠鏡の仕様等に関する報告書（2003年8月）」より引用

【望遠鏡分類凡例】

- ・小望遠鏡→移動可能な汎用型望遠鏡。仙台市天文台には高橋製作所製10cm屈折望遠鏡がある。
- ・中望遠鏡→設置型望遠鏡。仙台市天文台では市民観察室及び移動天文車ベガ号設置の望遠鏡を想定する。
- ・ひとみ望遠鏡→口径1.3mの反射式望遠鏡。

利用者分類別の望遠鏡活用事例

		機 材	事業事例	対 象	活用内容例	場 所
市民A	要	ひとみ望遠鏡	一般観望会(サタ☆スタ)	一 般	天体観望	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	大型望遠鏡案内	一 般	ひとみ望遠鏡の見学	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	幼児団体向け望遠鏡案内	保育園・所、幼稚園	ひとみ望遠鏡の見学	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	小学校4年生天文台学習(望遠鏡案内)	小学校	ひとみ望遠鏡見学・晴天時天体観望	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	小学校6年生天文台学習(望遠鏡案内)	小学校	ひとみ望遠鏡見学・晴天時天体観望	観測室
	要	小中望遠鏡	移動天文台(ベガ号観望会)	一 般	公園等の地域出張観望会	地域(天文台外)
	要	小中望遠鏡	特別観望会	一 般	天文現象の観望	天文台各室
	要	中望遠鏡	中学校天文台学習(望遠鏡学習)	中学校	観察室での太陽観察等	観察室
	付	小望遠鏡	サポーター/連携団体観望会	一 般	サタ☆スタ時のキャノピー前観望会	キャノピー前
	付	小望遠鏡	初心者のための望遠鏡講座	児童(親子)	小型望遠鏡の操作・観望	学習室等
市民B	要	ひとみ望遠鏡	ひとみ望遠鏡体験観測会	中学生、高校生、一般	ひとみ望遠鏡での観望・記念撮像	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	インターネット観測体験会	小学校、中学校	インターネット操作(年1校程度)	観測室
	要	中望遠鏡	観察室望遠鏡貸出(講習)	ライセンスAユーザー	中型(観察室)望遠鏡講習・貸出	観察室
	要	中望遠鏡	学生望遠鏡貸出	小学生、中学生、高校生	ライセンスAユーザー同伴での観察	観察室
	要	小望遠鏡	小型望遠鏡貸出	許可者	講習修了者への小型望遠鏡貸出	地域(天文台外)
	要	小中望遠鏡	小中学校教員養成講習	教職員	望遠鏡取り扱い操作講習	観察室等
市民C	要	ひとみ望遠鏡	市民観測員育成講習(観測提案講習等)	市民観測員希望者	大型望遠鏡操作・観測提案書講習等	観測室等
	付	ひとみ望遠鏡等	天文学者体験観測「もし天」等	大学(高校生)	東北大・天文専攻等との企画	天文台各室
	要	中望遠鏡	望遠鏡+冷却CCDカメラ貸出(講習)	ライセンスBユーザー	中型(観察室)望遠鏡貸出	観察室
市民D	要	ひとみ望遠鏡	市民観測員観測	プロポーザル提案認定者	プロポーザル内容に基づく観測	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	共同研究観測	プロポーザル提案認定者	プロポーザル内容に基づく観測	観測室
連携	要	ひとみ望遠鏡	委託観測(提案共同観測)	認定研究者・団体	提案内容に基づく観測	観測室
	付	ひとみ望遠鏡他	開発研究(提案共同開発・測定)	認定団体・企業	提案内容に基づく観測	観測室等
独自	要	ひとみ望遠鏡他	天文台スタッフ観測	スタッフ	広報、展示、研究、機器開発等	観測室等

↑

※ 要：要求水準で実施(モニタリング)が求められているもの、付：要求にはないが付带的に行うもの

5 仙台市天文台運営協議会委員

平成 26 年 4 月 1 日現在

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

氏 名	所属・役職名	再新の別	備考
きたづめ ひとし 北爪 均	宮城県高等学校教育研究会理科学会地学部会 宮城県白石高等学校 教諭	新	
くどう さとし 工藤 智	(公財) 仙台観光コンベンション協会 事業本部長	再	
しまたに る み こ 島谷 留美子	(株)東北地域環境研究室 専務取締役	新	
たかた としこ 高田 淑子	宮城教育大学理科教育講座 教授	再	
たんの とみお 丹野 富雄	仙台市小学校教育研究会理科学研究部会 副部会長 南光台小学校 校長	再	
ちば まさし 千葉 粧司	東北大学大学院理学研究科 教授	再	
ながせ としろう 長瀬 敏郎	東北大学総合学術博物館 准教授	再	
なかむら ひさこ 中村 尚子	仙台市 P T A 協議会 副会長	新	
ふくしま くにゆき 福島 邦幸	仙台市中学校教育研究会理科学研究部会 部会長 南光台中学校 校長	新	
やぎゅう さとこ 柳生 聡子	フリーアナウンサー	再	

(敬称略・五十音順)

6 株式会社仙台天文サービスについて

仙台市天文台は、仙台市※1が行うPFI※2方式による公共事業として株式会社仙台天文サービスによって整備・維持管理・運営が行われている。

株式会社仙台天文サービスは、このPFI事業を推進するために設置された特別目的会社（SPC※3）である。

※1 仙台市は、仙台市天文台の設置者。

※2 PFI（Private Finance Initiative）方式とは、公共事業を実施するための手法の一つで、地方公共団体が発注者となり民間の資金とノウハウを活用して事業を行うこと

※3 SPC（Special Purpose Company）

SPC構成企業と役割

・伊藤忠商事株式会社（伊藤忠）	⇒代表企業・プロジェクトマネージャー
・株式会社NTTファシリティーズ（NTT-F）	⇒設計・望遠鏡・維持管理
・株式会社五藤光学研究所（五藤光学）	⇒運営・プラネタリウム
・戸田建設株式会社（戸田）	⇒建設
・株式会社トータルメディア開発研究所（トータルメディア）	⇒展示・運営協力
・株式会社橋本店（橋本）	⇒建設

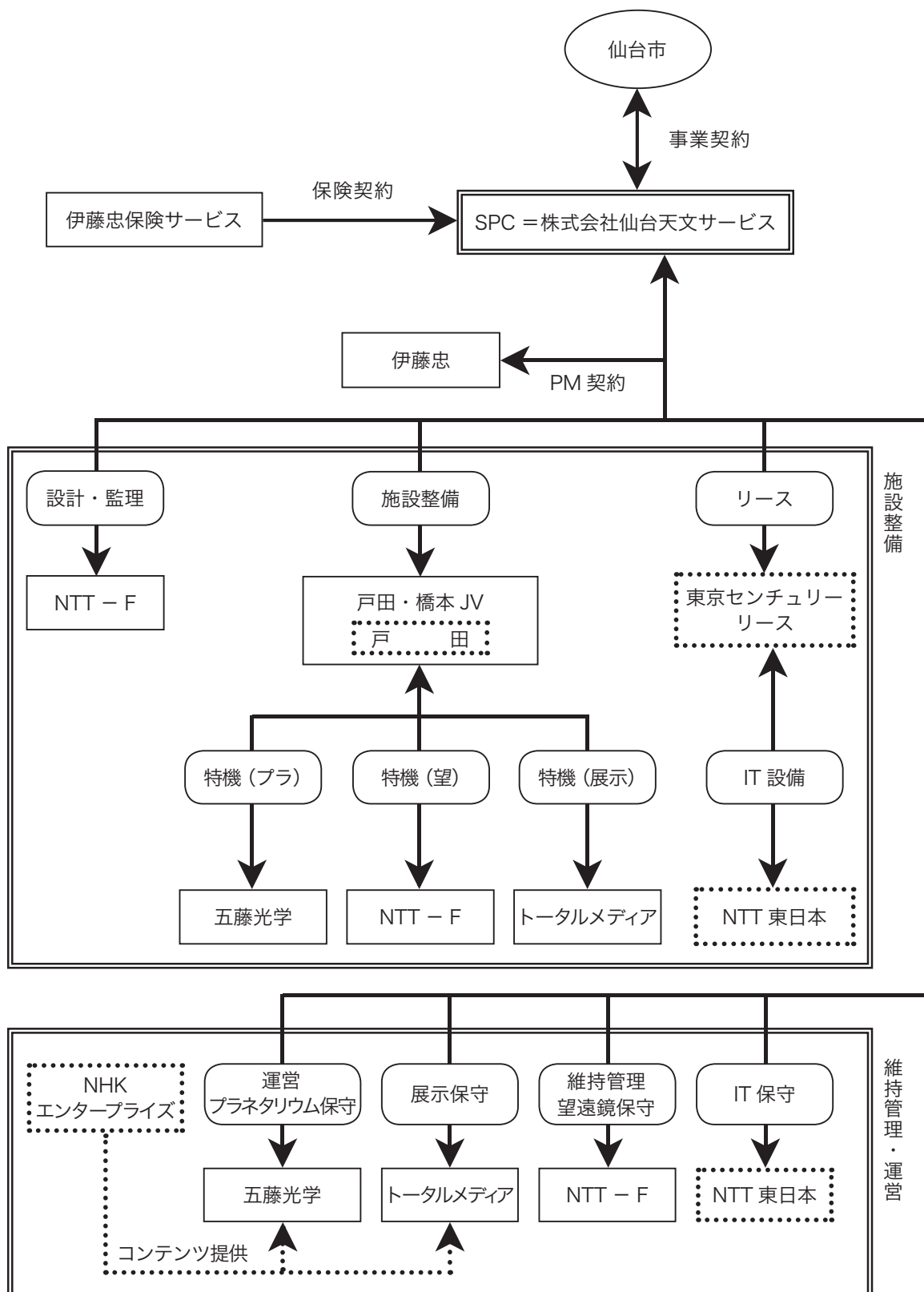
SPC協力企業

- ・東日本電信電話株式会社（NTT東日本）
- ・株式会社NHKエンタープライズ

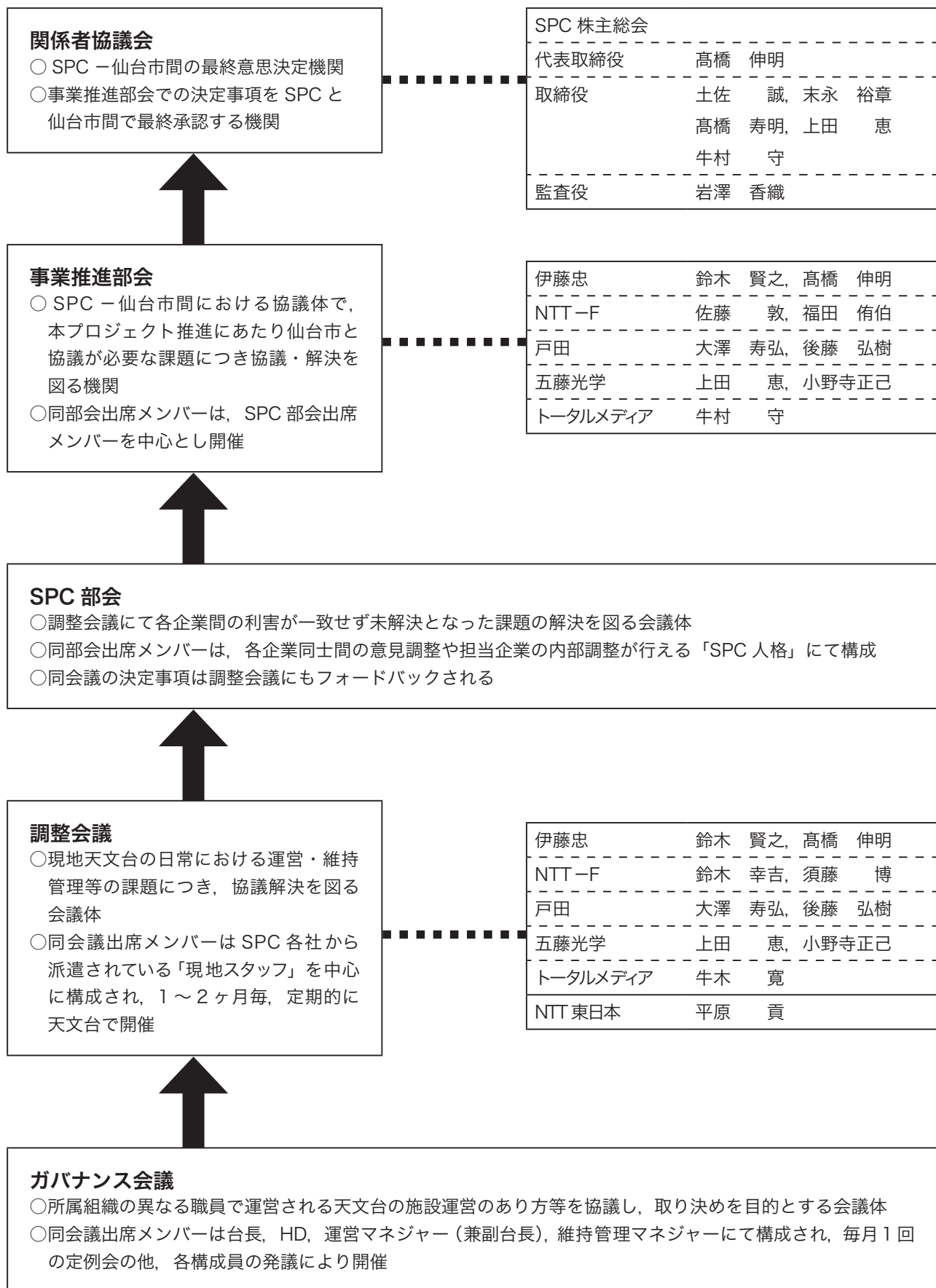
SPC構成員

・代表取締役	高橋 伸明
・取締役	土佐 誠
	末永 裕章
	高橋 寿明
	上田 恵
	牛村 守
・監査役	岩澤 香織
・プロジェクトマネージャー	高橋 伸明（伊藤忠）
・運営担当部長	上田 恵（五藤光学）
・ヘルプデスク	大友 次男（伊藤忠アーバンコミュニティ）

<事業運営形態図>



< SPC 会議体系図 >



仙台市天文台年報 第7号

2015 年 6 月 30 日 発行

編集発行

仙台市天文台

〒989-3123

仙台市青葉区錦ヶ丘9丁目29-32

TEL 022-391-1300 FAX 022-391-1301

URL www.sendai-astro.jp

北緯 38°15'22"99 東経 140°45'18"56

標高 165m

印刷

今野印刷株式会社

SENDAI ASTRONOMICAL OBSERVATORY 2014

